

2026（令和8）年度「学生意識・学習調査（2～4年生）」集計結果

①回答期間：令和8年6月1日～令和8年7月15日

②対象者数：5,108名

③回答数（回答率）：1,454名（28.5%）

④学科別・学年別回答数（上段：回答数、下段：回答率）

	2年	3年	4年	総計
1.経営学科	101名 27.7%	117名 38.4%	129名 29.3%	347名 31.3%
2.ホスピタリティ・マネジメント学科	31名 17.7%	51名 36.7%	37名 21.1%	119名 24.3%
3.データサイエンス学科	20名 22.7%	43名 58.9%	32名 31.7%	95名 36.3%
4.経済学科	105名 34.8%	111名 41.9%	62名 19.9%	278名 31.7%
5.法律学科	49名 13.6%	35名 11.0%	45名 12.5%	129名 12.4%
6.国際関係学科	56名 37.6%	35名 26.5%	46名 26.7%	137名 30.2%
7.多文化コミュニケーション学科	85名 58.2%	100名 64.9%	32名 20.5%	217名 47.6%
8.都市創造学科		44名 37.0%	45名 31.0%	89名 33.7%
9.現代社会学科	43名 27.7%			43名 27.7%
総計	490名 28.1%	536名 35.6%	428名 23.0%	1,454名 28.5%

⑤目的：

亜細亜大学2～4年生を対象に、これまでの学習生活や学習面などについてアンケート調査を実施し、今後の教育・学生生活の充実に活用するため。

⑥備考：

設問11～15は文部科学省が実施する2026（令和8）年度「全国学生調査」の設問である。

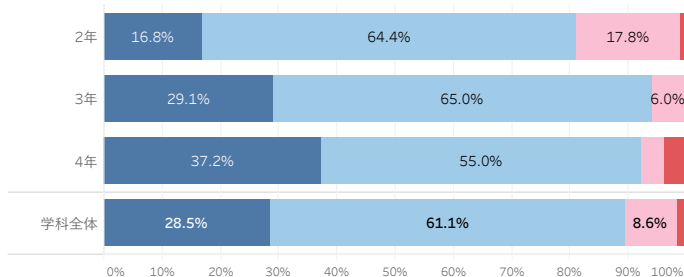
設問2. 所属学部・学科の教育を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

選択肢 ■ 4. 身につけることができた ■ 3. やや身につけることができた ■ 2. あまり身につけることができなかった ■ 1. 身につけることができなかった

<経営学科>

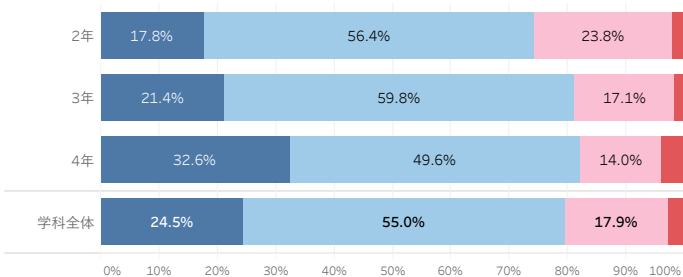
DP1

企業や社会のしくみやあり方に関心を持ち、経営・会計・マーケティング領域を中心とした専門知識とともに幅広い教養を身につけ、ものごとを総合的に判断できる能力



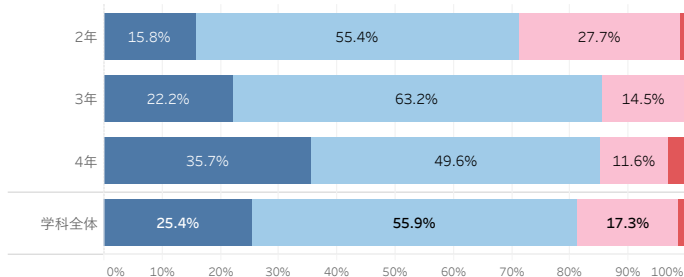
DP2

グローバルな環境において多様性の尊重と共感を念頭にコミュニケーションできる能力



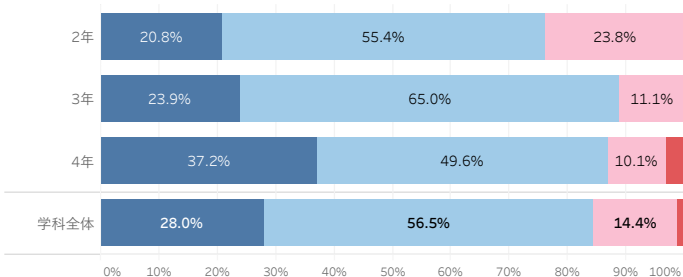
DP3

情報リテラシーや数量的分析技術を身につけ、実践的に活用することにより問題の発見や解決に向け、能動的に社会に貢献できる力



DP4

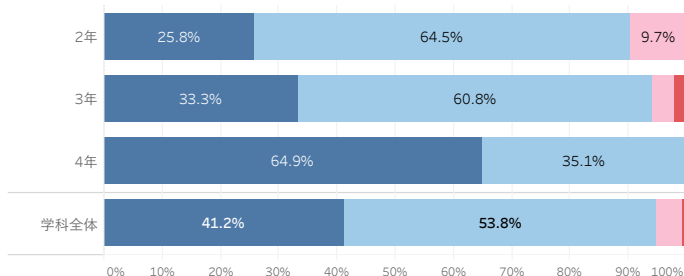
経営学ならびにマネジメント能力は理論と実践により培われることを自覚し、自らのキャリア形成に努めるとともに生涯にわたって学びの姿勢を持続できる力



<ホスピタリティ・マネジメント学科>

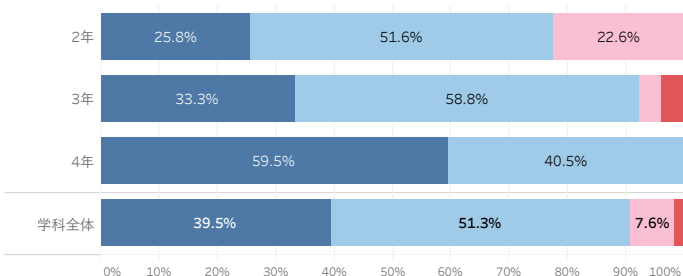
DP1

ホスピタリティ及びスポーツホスピタリティ・ビジネスの実務現場において、即戦力となる高度な専門知識と技能及び幅広い教養を修得し活用できる能力



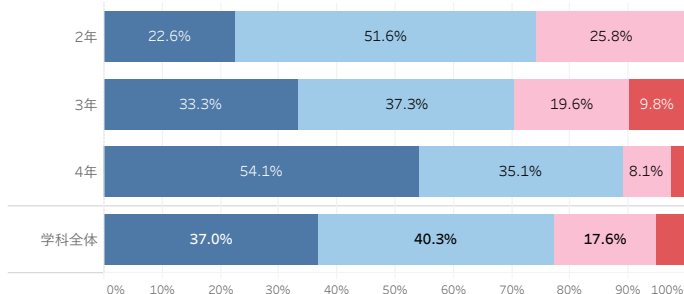
DP2

経営学・会計学・マーケティング等のマネジメントの知識と技能及びホスピタリティマインドを有し活用できる能力



DP3

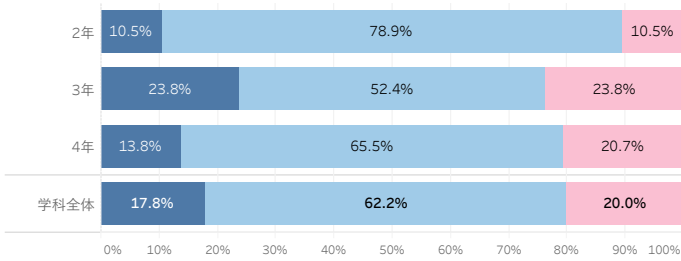
グローバルな視点から高いコミュニケーション能力を有し、かつ多様な文化を尊重し、広く国際社会に貢献できる力



<データサイエンス学科>

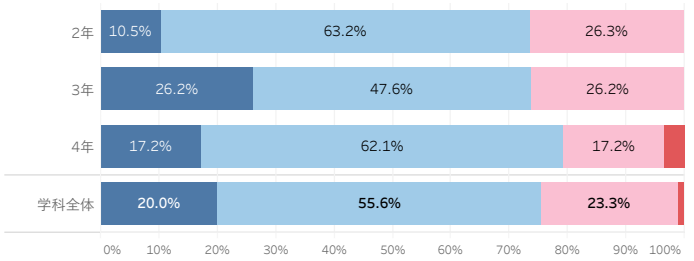
DP1

情報技術と社会の関わりや古典的自然科学の基本的理解と、数理・データサイエンス・A I を原理から理解できる数学・統計学の基礎力をもち、社会課題の解決に活用できる。



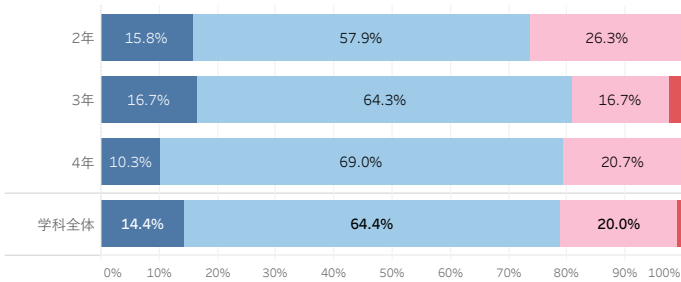
DP2

A I ・機械学習に関して、データ収集と実装と可視化等を実行できるプログラミングの基礎的力量、ディープラーニングの事業活用を提案できる基礎知識、将来的にこれらの業務を英語で行える英語の基礎力をもち、社会の課題解決に活用できる。



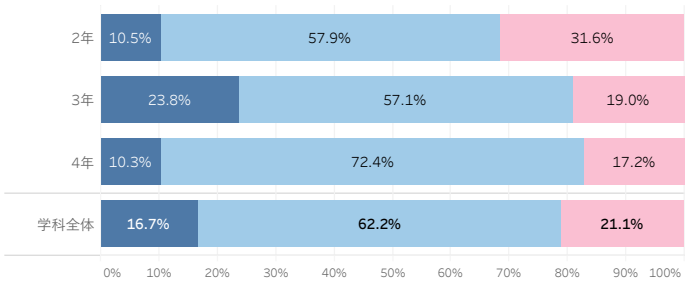
DP3

未知のデータから新たな知見を引き出し実社会の問題解決に結びつけるマインドをもち、社会の課題解決に活用できる。



DP4

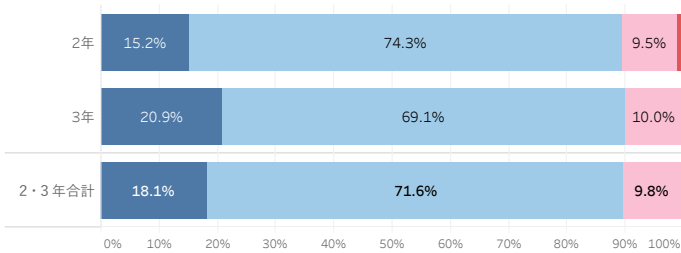
企業経営やビジネスに関する基礎的な知識を有し、社会課題の背景の理解並びに研究成果の現場への実装あるいは実践に関して洞察できる。



<経済学科（2024年度以降入学）>

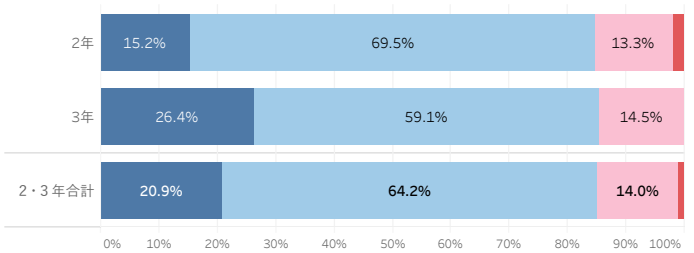
DP1

経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている



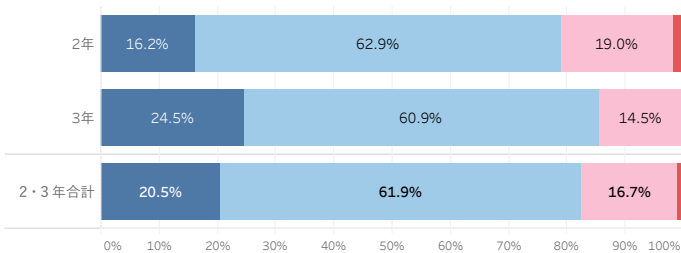
DP2

多様な視点から経済社会を総合的に理解するために必要な幅広い知識と教養を身につけている



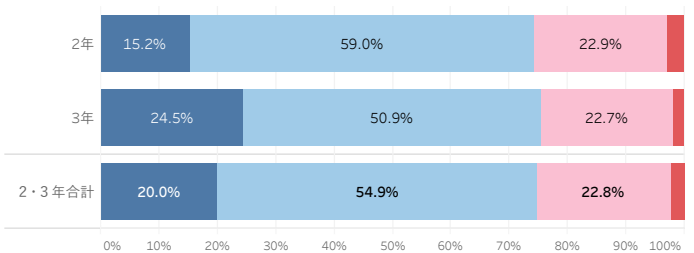
DP3

将来のキャリア形成に向け、経済学の実践的な知識・思考やデータ分析能力を身につけている



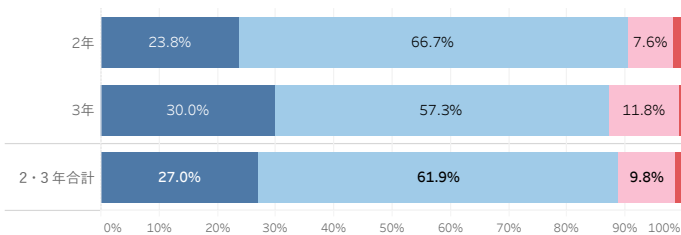
DP4

アジアを始めとするグローバル社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている



DP5

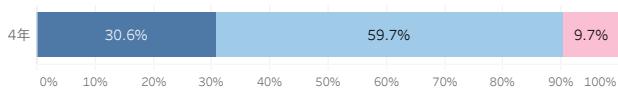
他者を尊重しつつ自分の考えを的確に表明し、協働しながらより良い社会の形成に貢献する意欲と能力を身につけている



<経済学科（2023年度以前入学）>

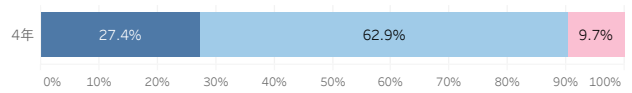
DP1

経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている



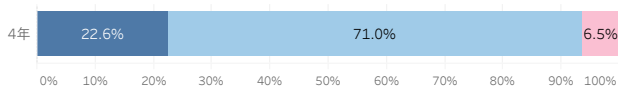
DP2

グローバルな視点を含めて、さまざまな視点から経済社会を総合的に理解するために必要な社会科学の幅広い知識と教養を身につけている



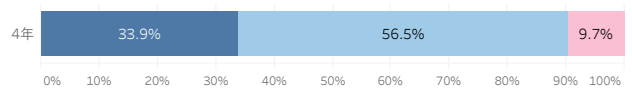
DP3

アジアを始めとする国際社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている



DP4

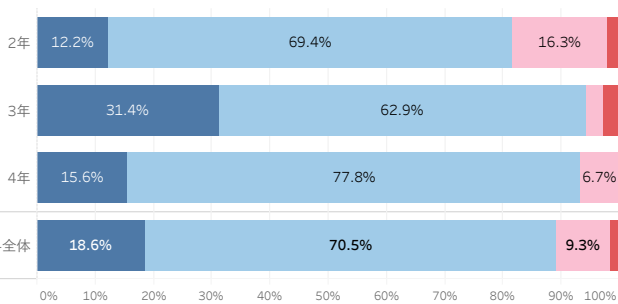
他者を尊重しつつ自分の考えを表明し、周囲とコミュニケーションできる能力を身につけている



<法律学科>

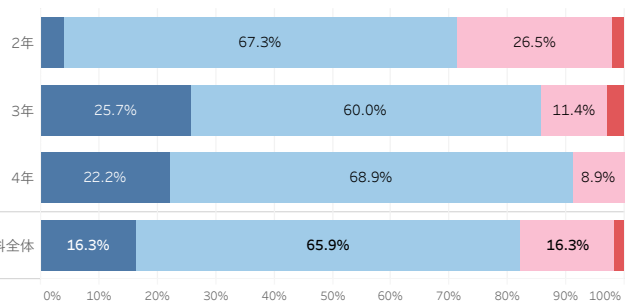
DP1

法学・政治学の基礎的知識を習得し、法的・政治的な問題点を発見する能力



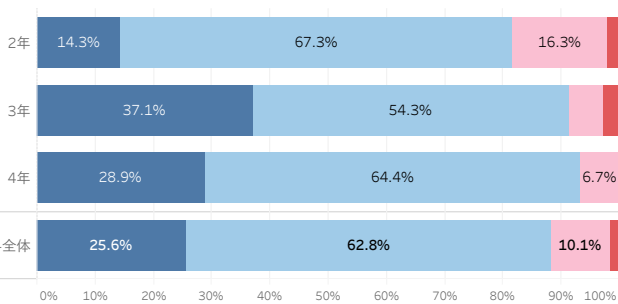
DP2

論理的な思考力・構成力を基に、合理的かつ適正な手続過程によって問題を解決する能力



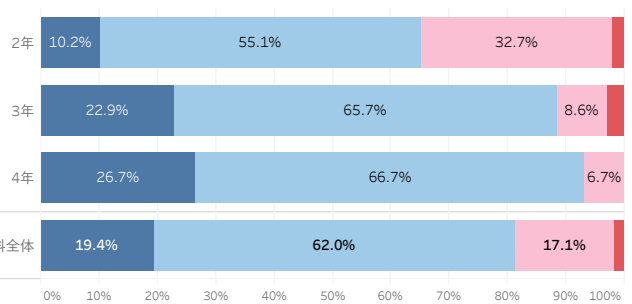
DP3

正義・自由・平等といった法的・政治的な感覚



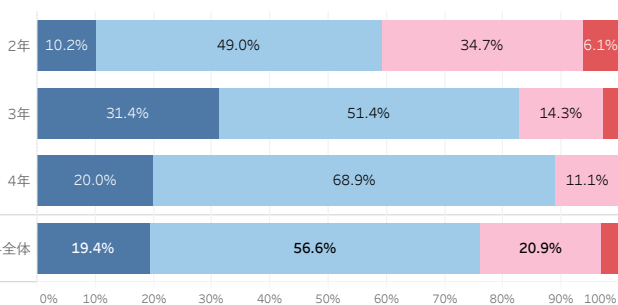
DP4

立場の異なる者の主張する諸利益を的確に衡量し、バランス感覚に富んだ判断をする能力



DP5

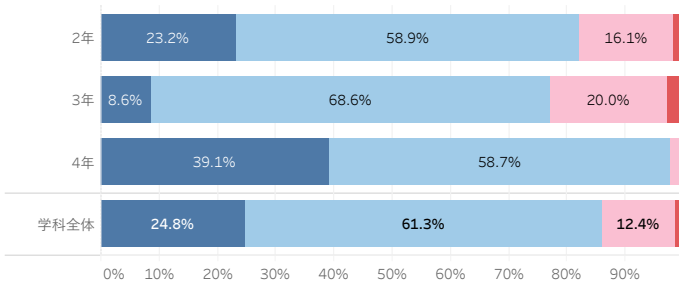
自己の主張を他者に対して説明し説得する能力など、自ら積極的に社会参加できる資質



<国際関係学科>

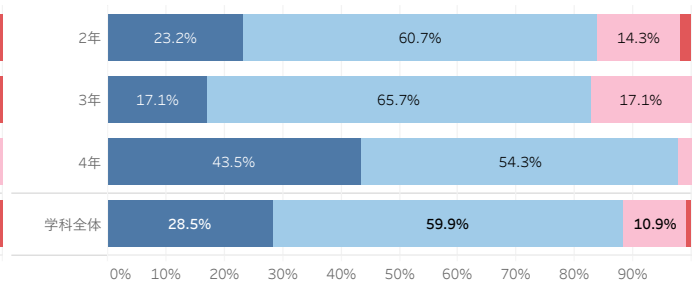
DP1

政治・法律・経済・社会にわたる社会科学諸領域の基礎知識の修得



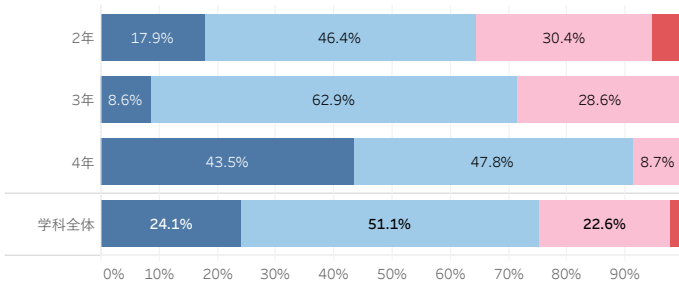
DP2

この基礎知識を応用し国際社会の諸問題を考察することを通じて、国際関係への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力



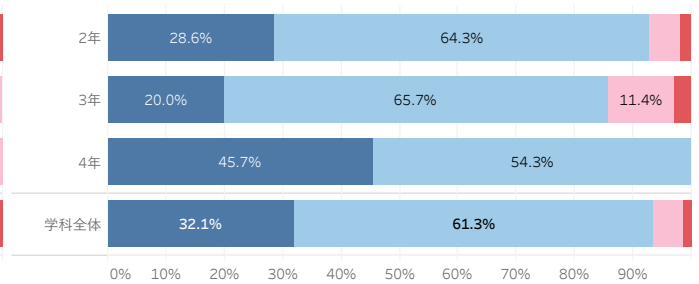
DP3

一定水準の英語運用能力



DP4

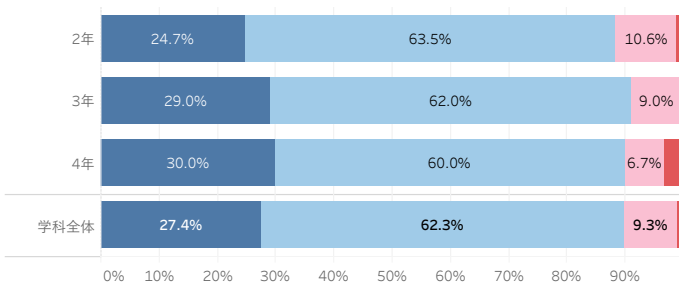
国際社会の一員としての倫理観を持ち、国際社会の平和と協力促進のために自ら積極的に貢献する姿勢



<多文化コミュニケーション学科>

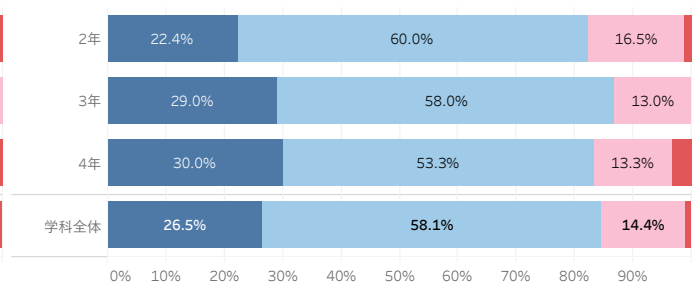
DP1

国境を越える多文化間交流の歴史と現状について基礎知識の習得



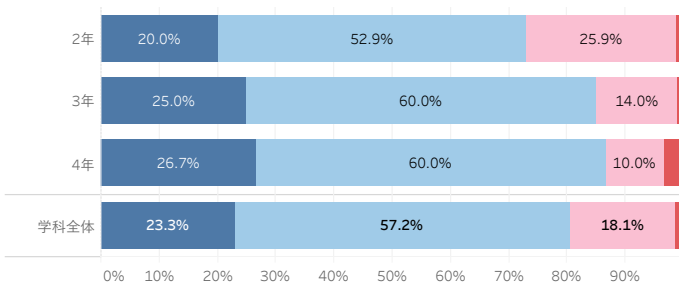
DP2

一定水準の英語力及びアジア諸言語能力を備えている。また、これを基礎に、多様な文化背景を持つ人々をつなぐコミュニケーション能力



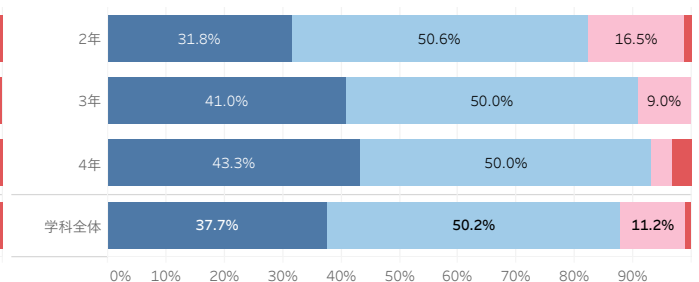
DP3

多様な文化の現場での実地調査及び調査結果の分析・報告を通じて、多文化間交流への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）



DP4

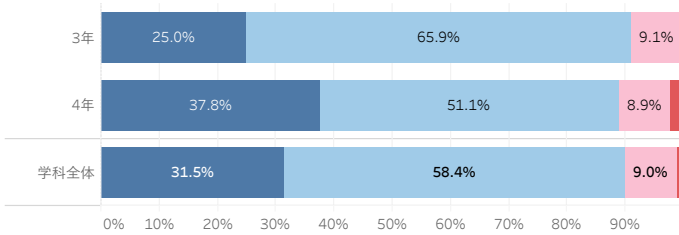
文化の相互尊重の理念に立って、多文化間の交流と対話を促進する積極的な姿勢



<都市創造学科>

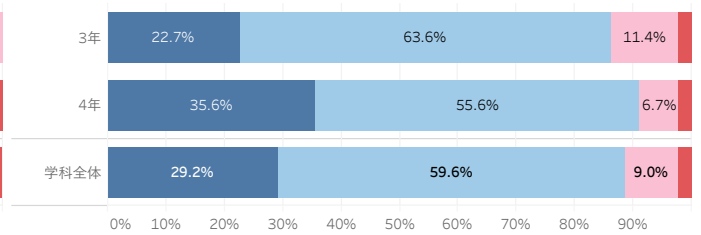
DP1

大きな3つの学びの領域「国際都市と留学」、「都市とビジネス」、「都市と社会」と関連づけながら、幅広い教養と社会学・経営学・ICTに関する高度な専門知識を身につけ、都市創造を理解する力



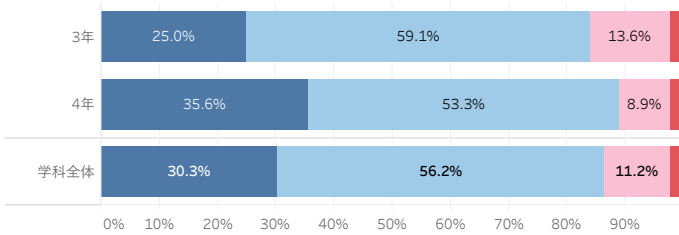
DP2

大きな3つの学びの領域と交わる都市の魅力や課題について、社会学・経営学・ICTの知識を用いて考察する力



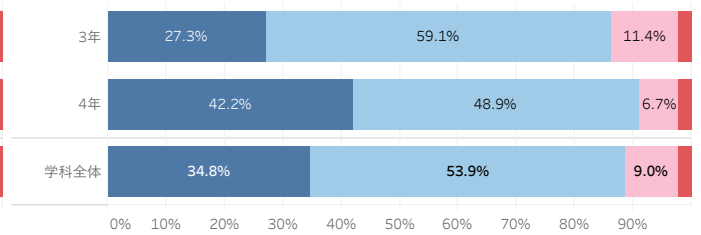
DP3

3つの学びを基礎に、アジア融合の視点から社会学・経営学・ICTの知識を、都市の魅力や課題解決の開発に応用することができる力



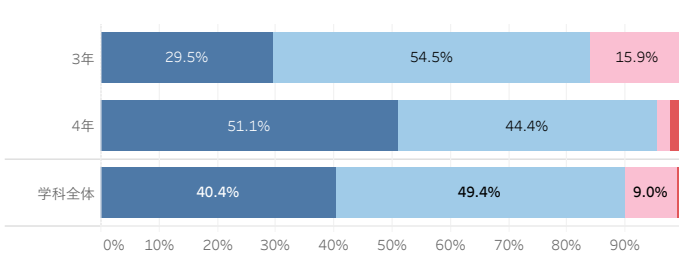
DP4

他者と協力して、より良い都市の創造に能動的に貢献できる力



DP5

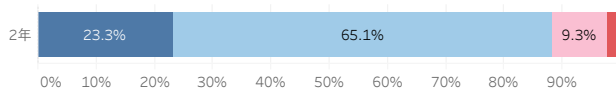
目標を定め、自らのキャリアを体験的に形成し、生涯にわたって学ぶ姿勢を持続できる力



<現代社会学科>

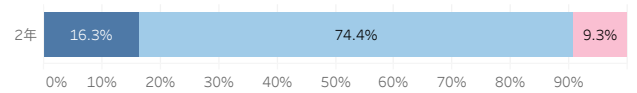
DP1

社会学及び社会調査の知識を十分に修得している



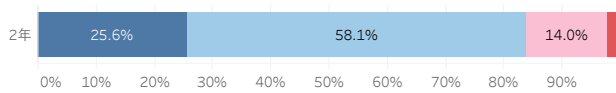
DP2

グローバルな視点をもって、より広範に現代社会を理解し、その課題解決の基礎となる、社会諸科学の基礎知識を修得している



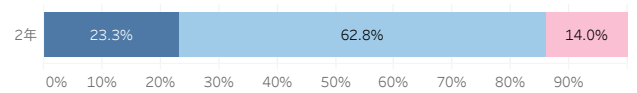
DP3

ICT活用のための基本スキルを備えている



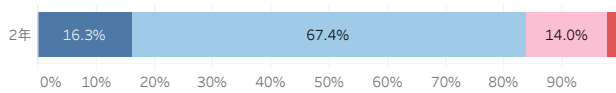
DP4

他者と協力して、より良い現代社会の創出に能動的に貢献できる



DP5

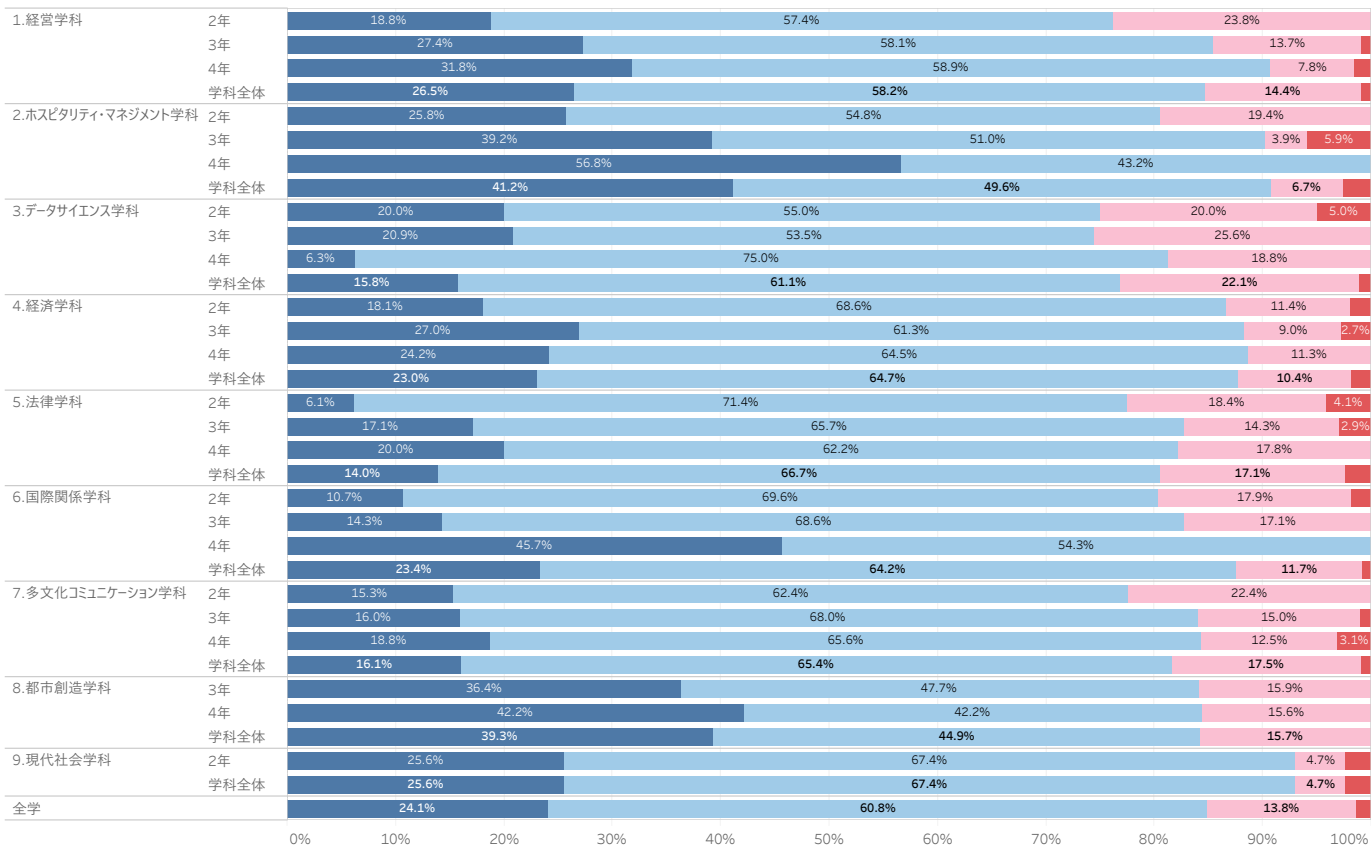
目標を定め、自らのキャリアを体験的に形成し、生涯にわたって学ぶ姿勢を持続できる



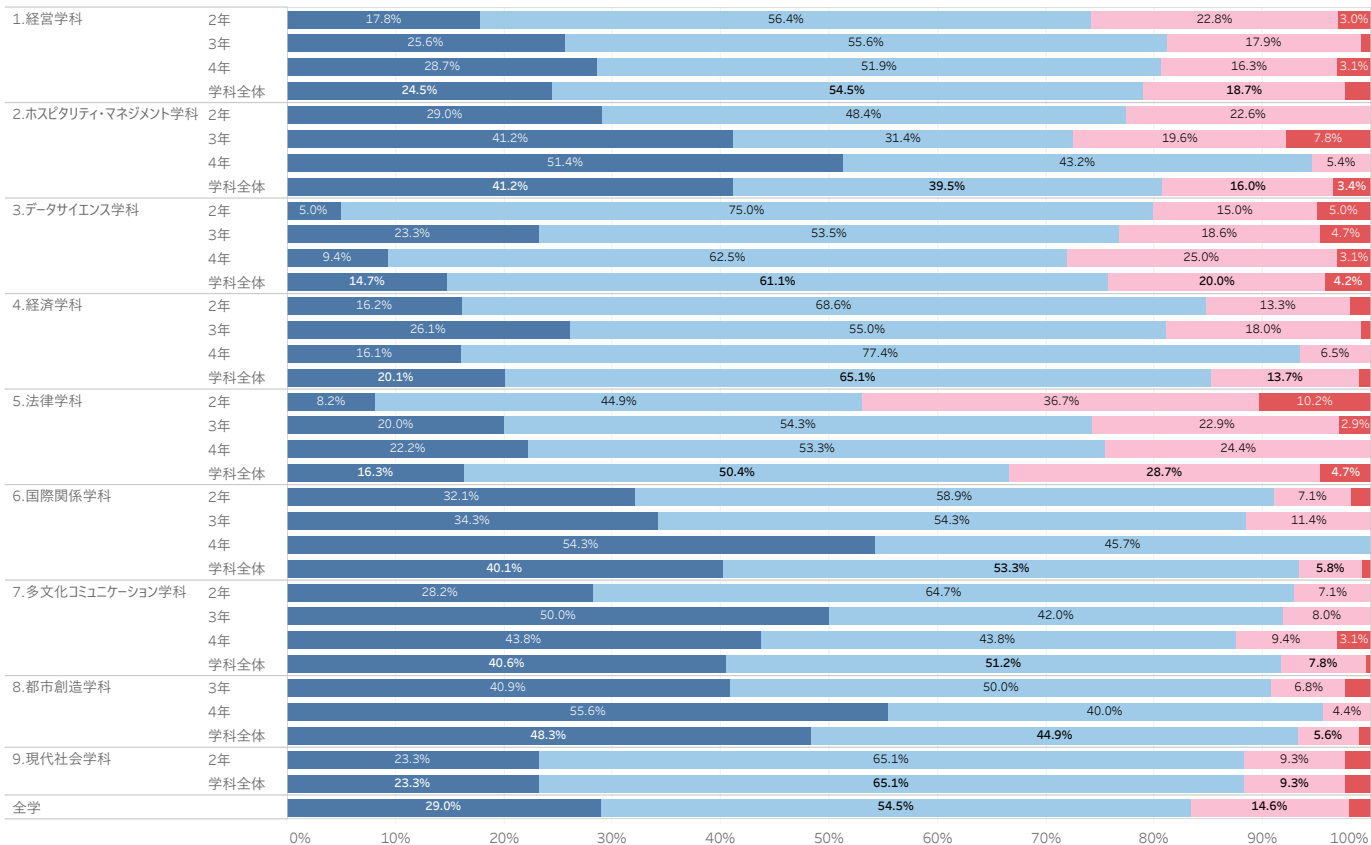
設問3. 大学全体での教育を通じて、次のようなことはどの程度身についたと思いますか。

選択肢 ■ 4. とても身に付いた ■ 3. ある程度身に付いた ■ 2. あまり身に付いていない ■ 1. 全く身に付かなかった

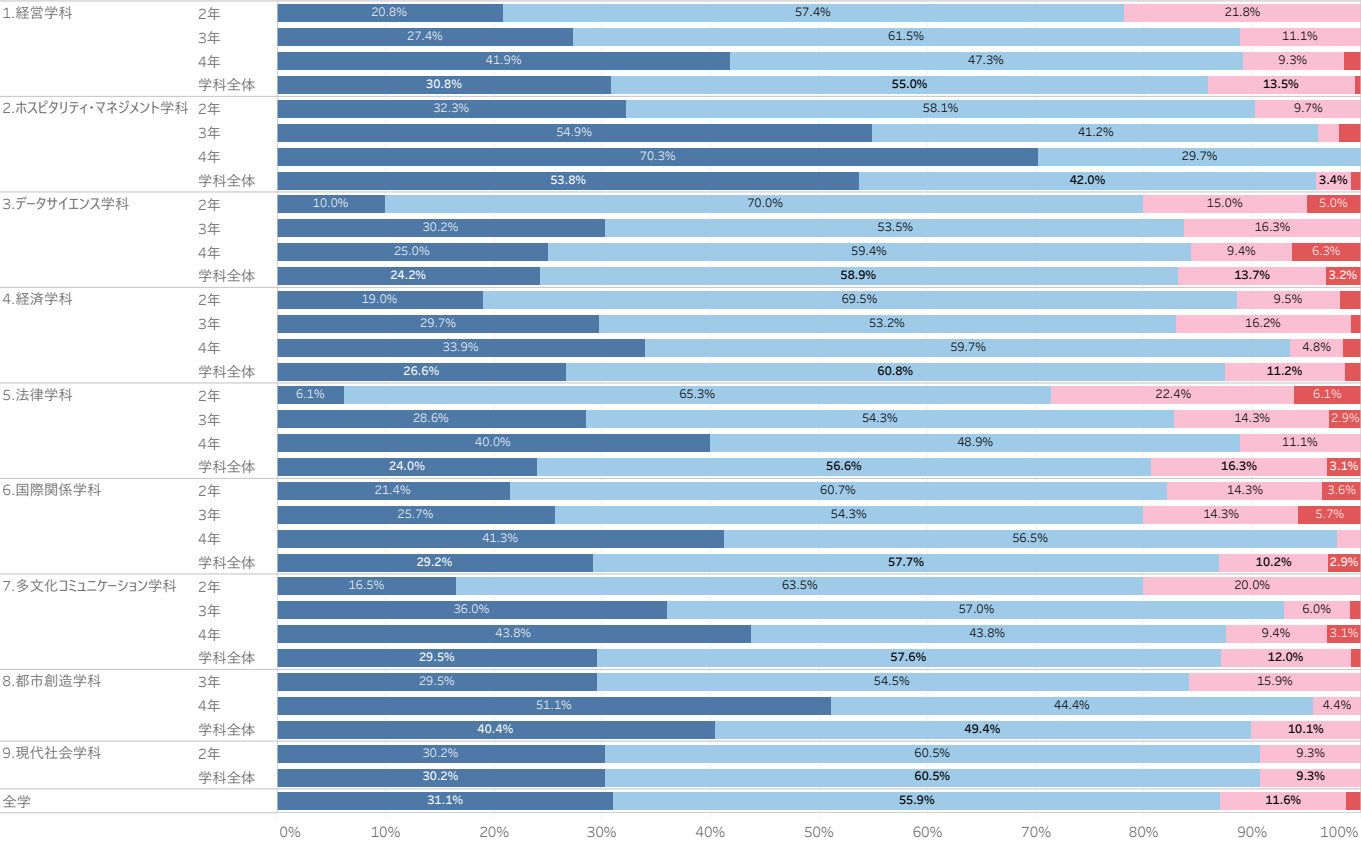
全学DP1. 幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる。



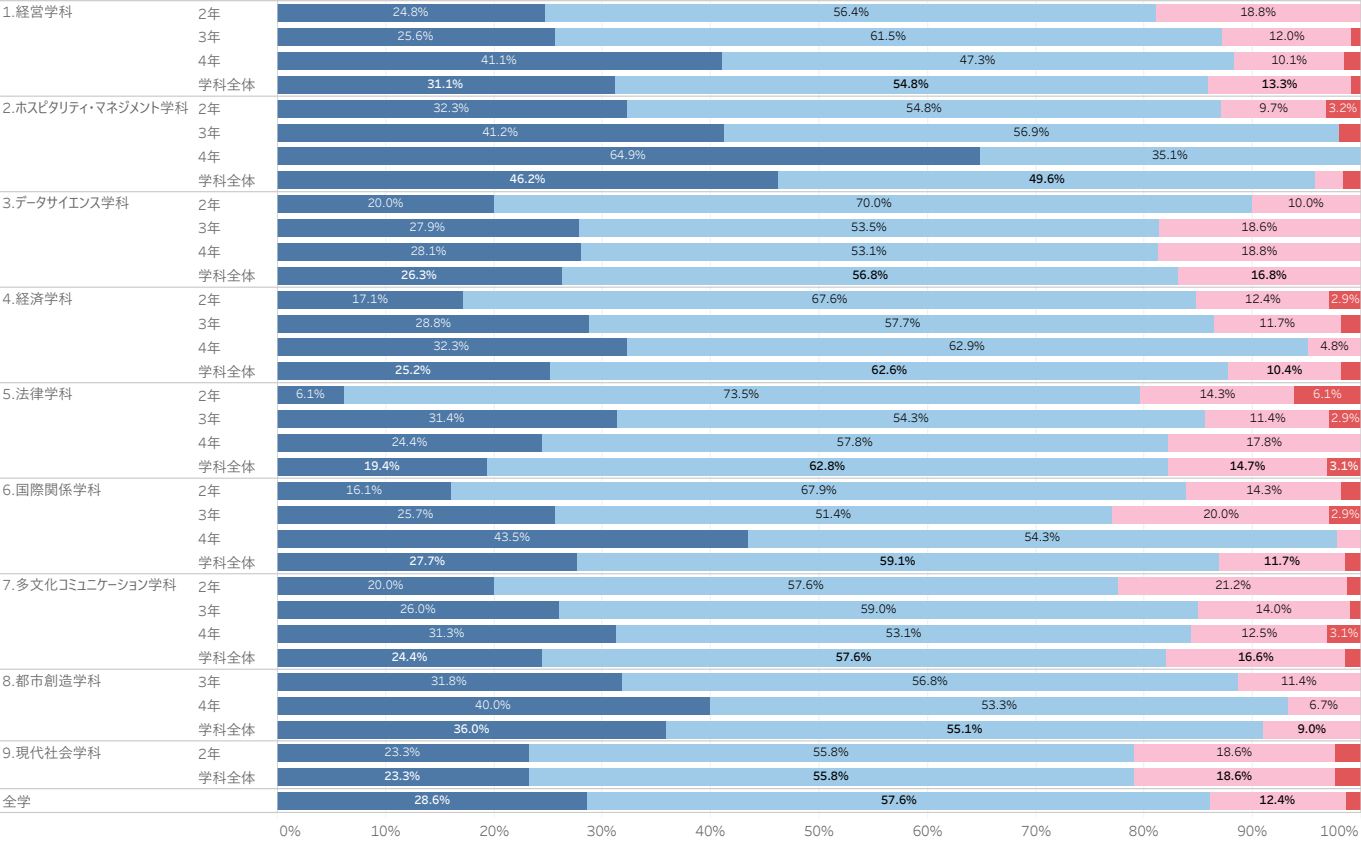
全学DP2. グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる。



全学DP3.他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる。



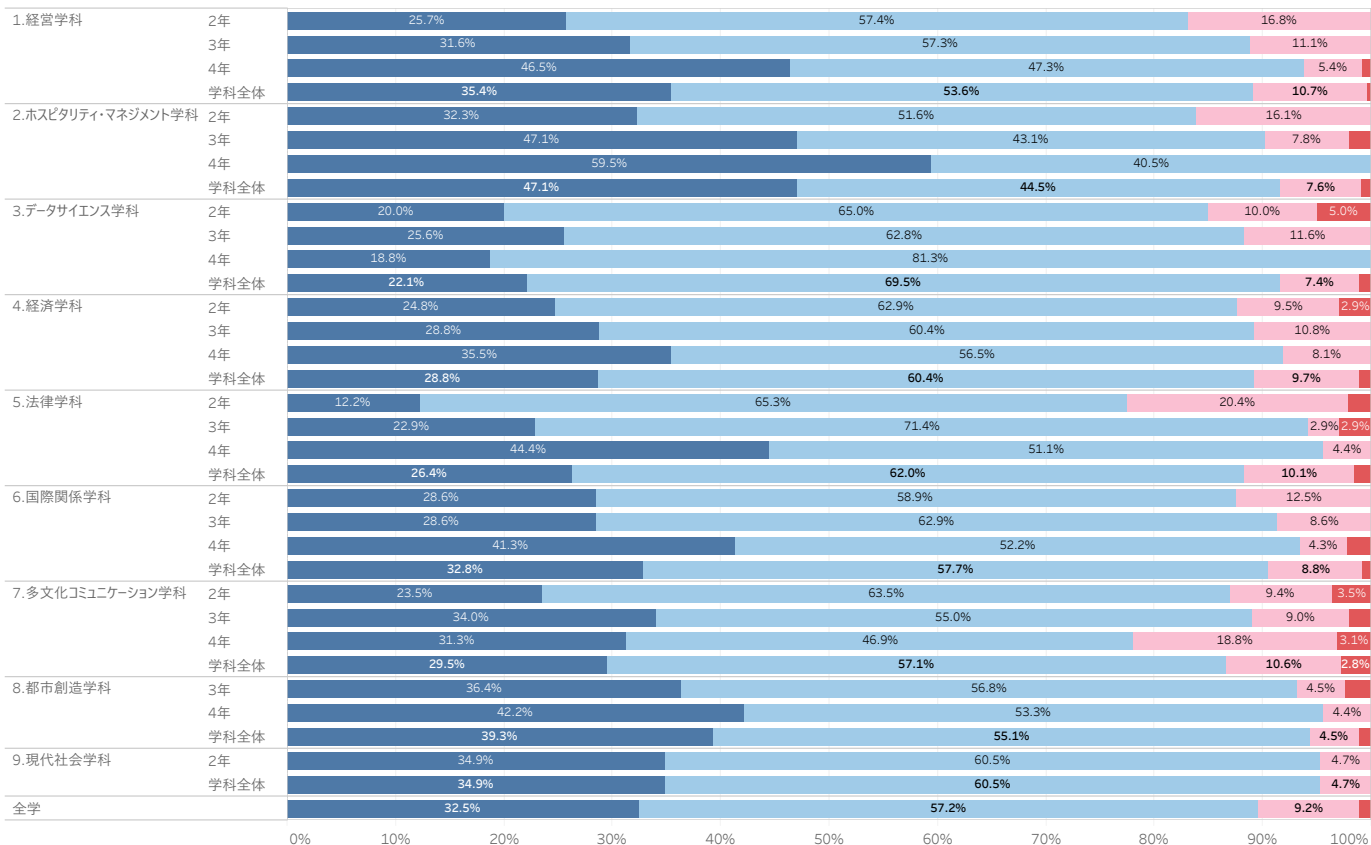
全学DP4. 目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を持続できる。



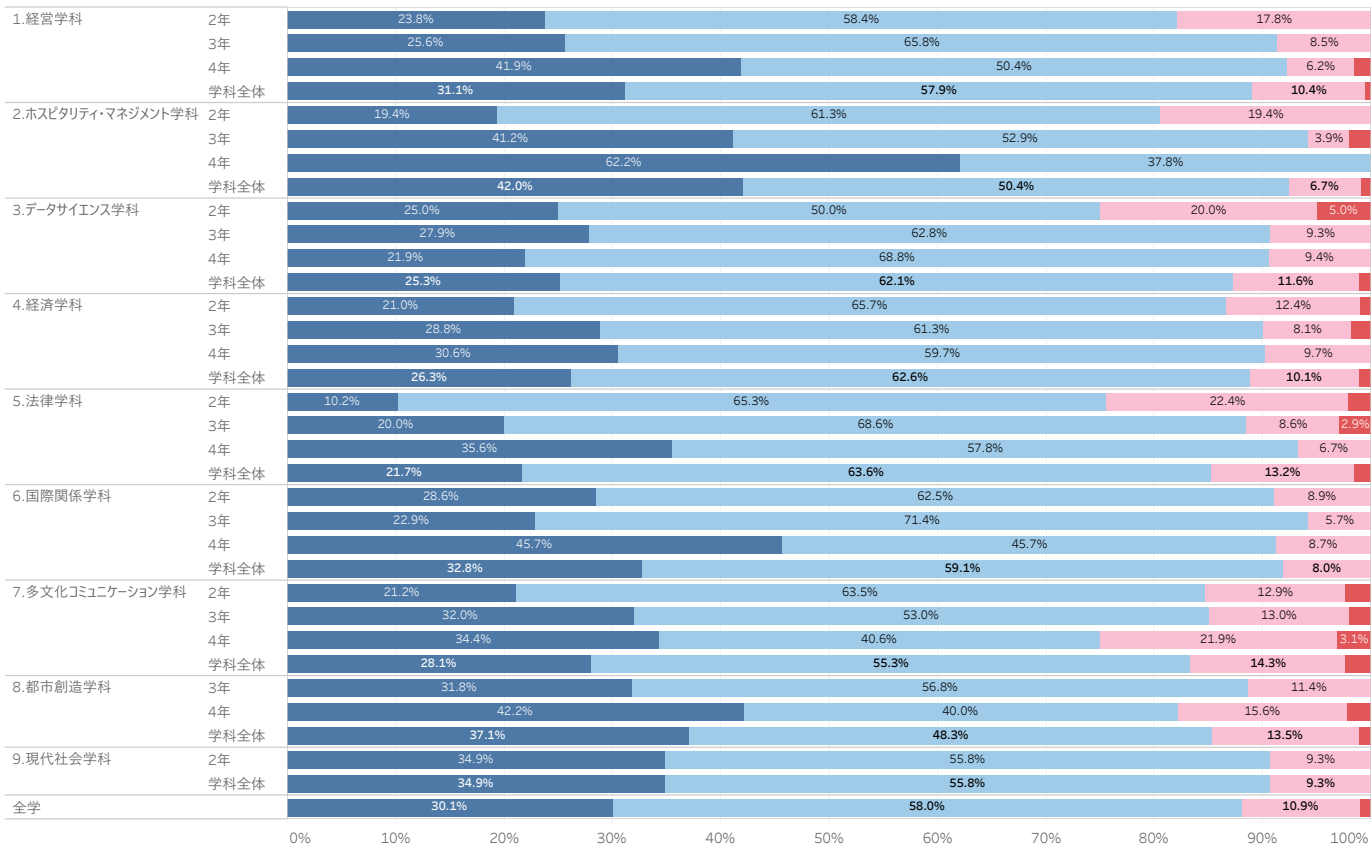
設問4. 大学全体での教育を通じて、次のようなことはどの程度カリキュラムに反映されていると思いますか。

選択肢 ■ 4. とても思う ■ 3. やや思う ■ 2. あまり思わない ■ 1. 思わない

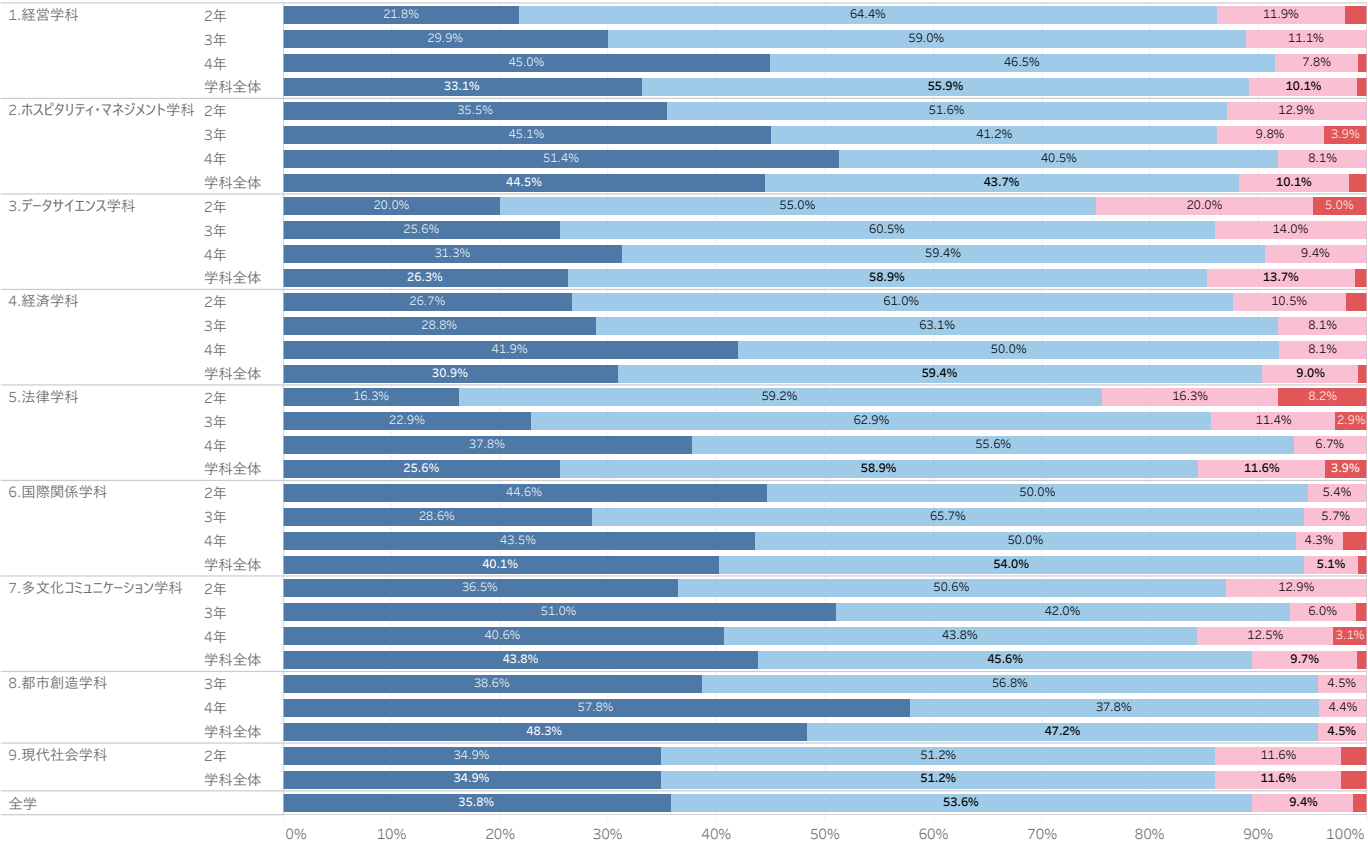
1. 幅広い教養を修得できるように、多様な全学共通教育科目が配置されている。



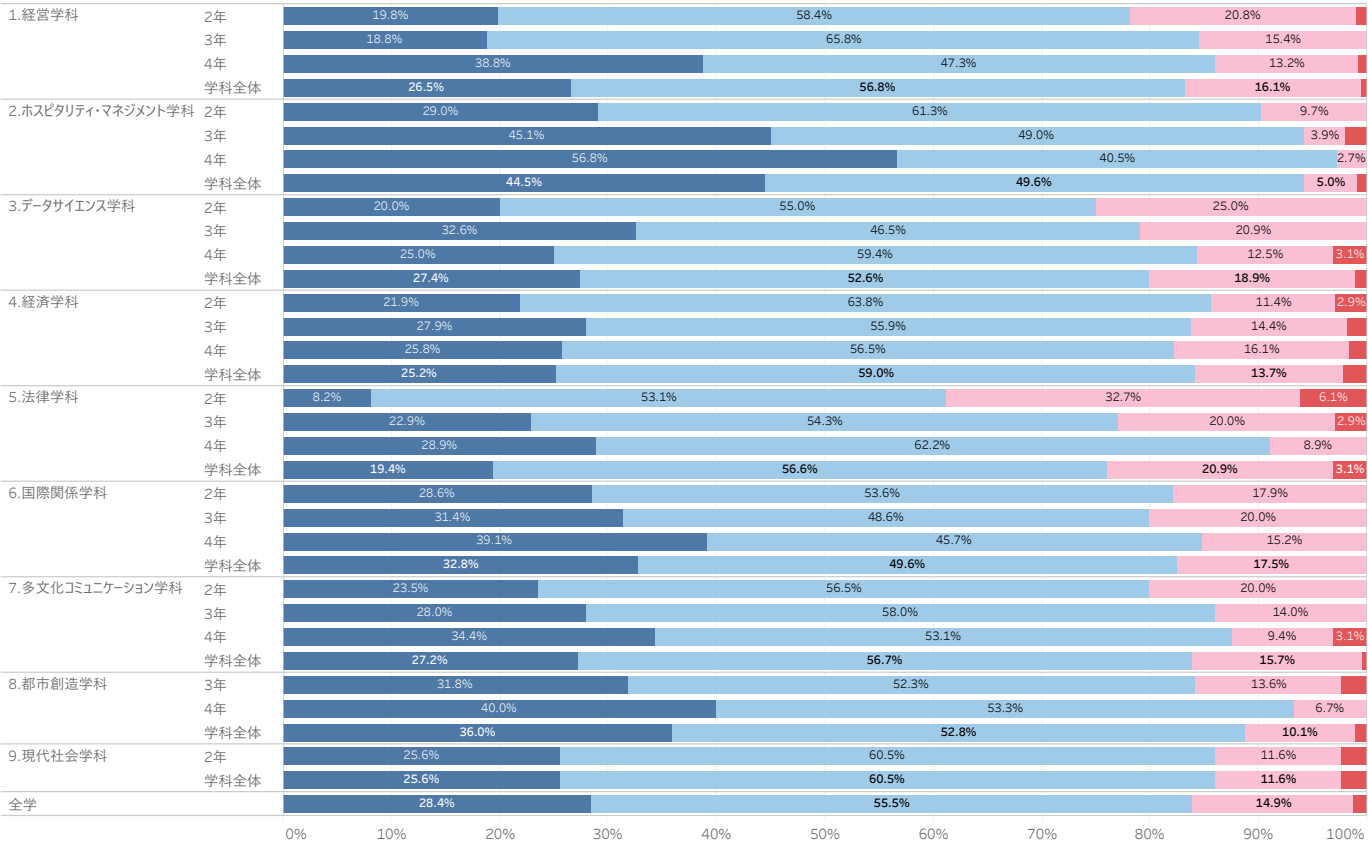
2. 高度な専門知識・技能を修得できるように、各学部・学科の専門分野の体系に基づいて適切に科目が配置されている。



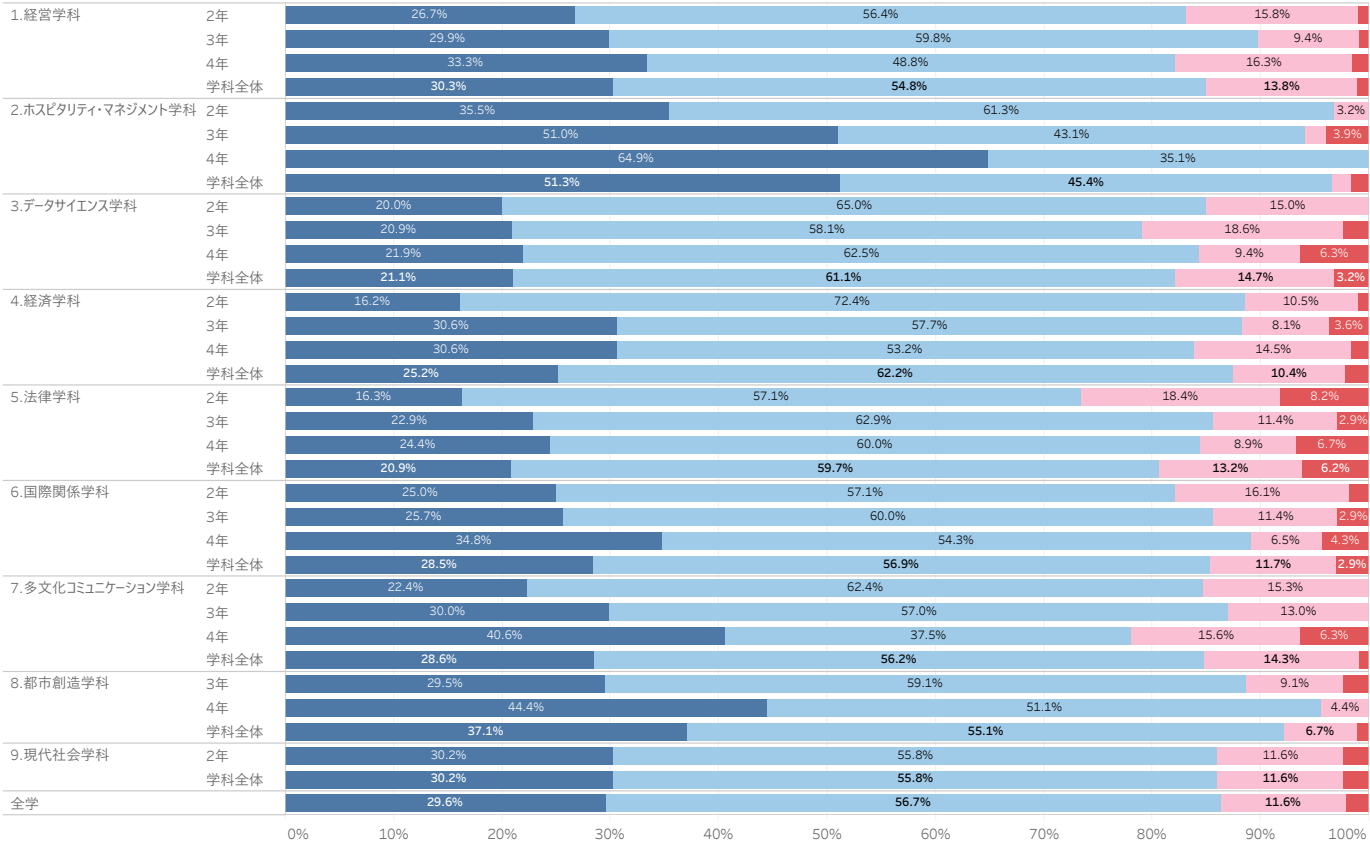
3.世界の諸文化とその多様性を理解するために、多様な言語の学習機会や留学の機会が提供されている。



4.少人数による双方向教育、アクティブ・ラーニングを取り入れ、能動的に他者と協力する機会が提供されている。



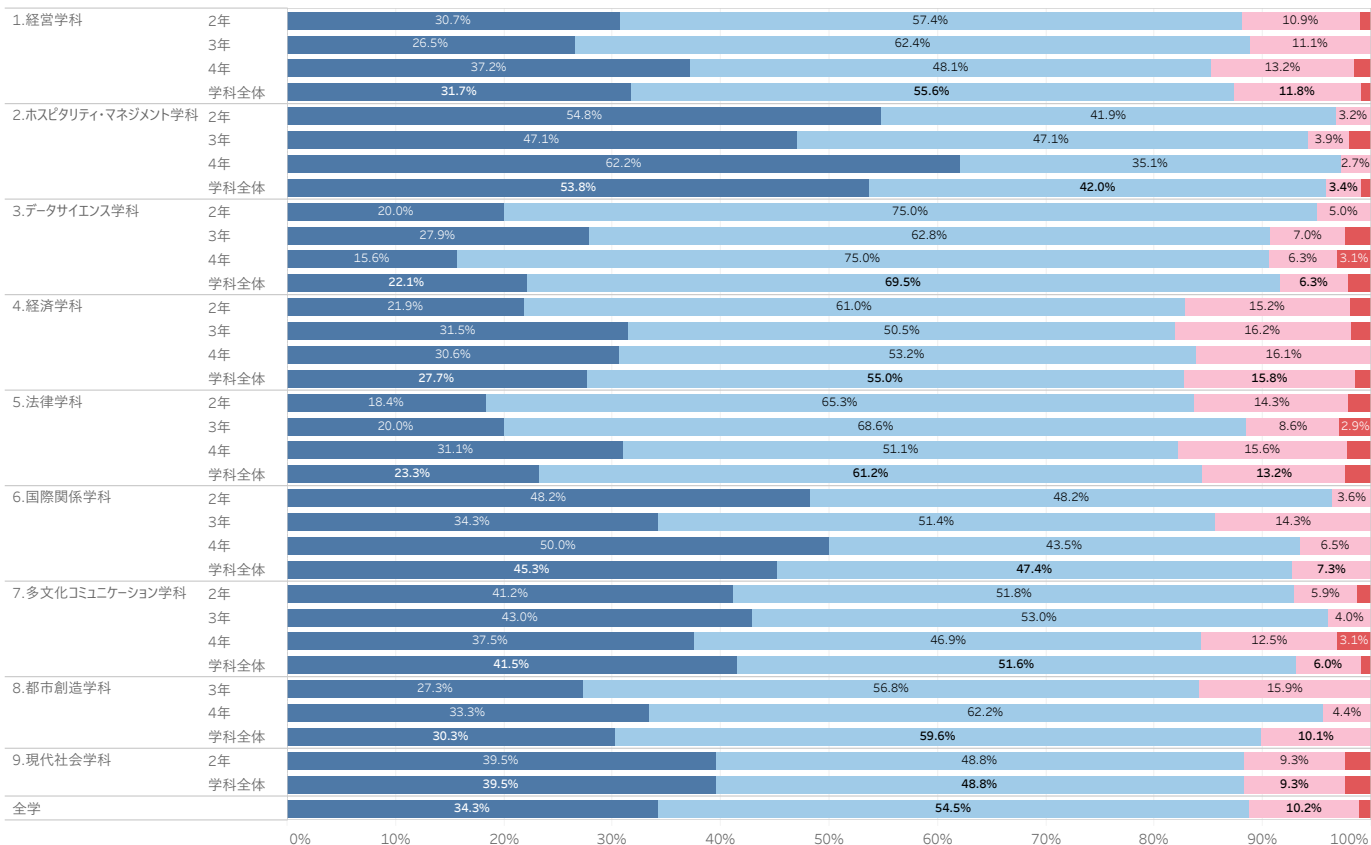
5.キャリア科目や内外でのインターンシップ機会をはじめ、社会での活動体験を得られる機会が提供されている。



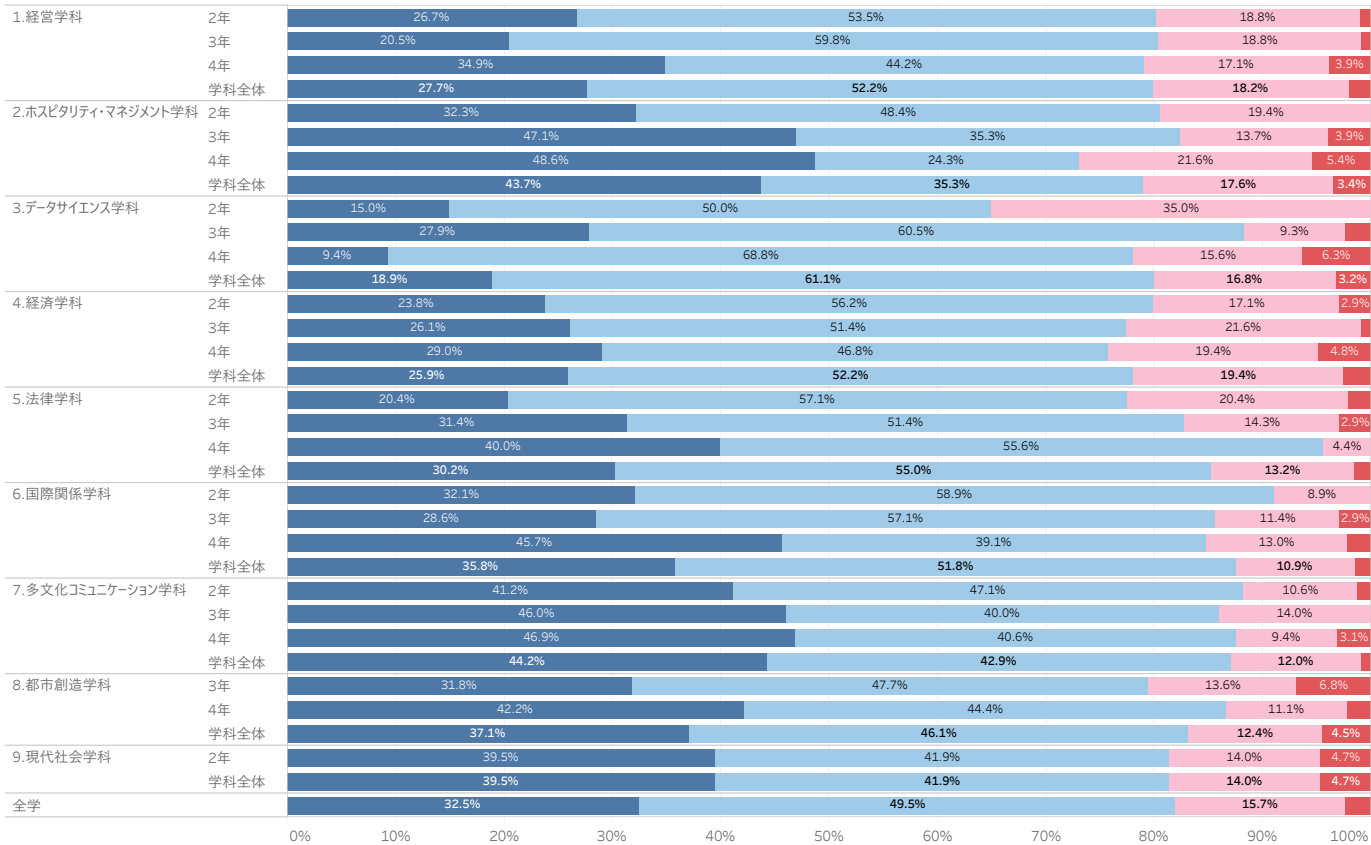
設問5-1. 昨年度受講した授業の中で、以下の授業形態・方法が取られた科目はありましたか。

選択肢 ■ 4. よくあった ■ 3. ある程度あった ■ 2. あまりなかった ■ 1. なかった

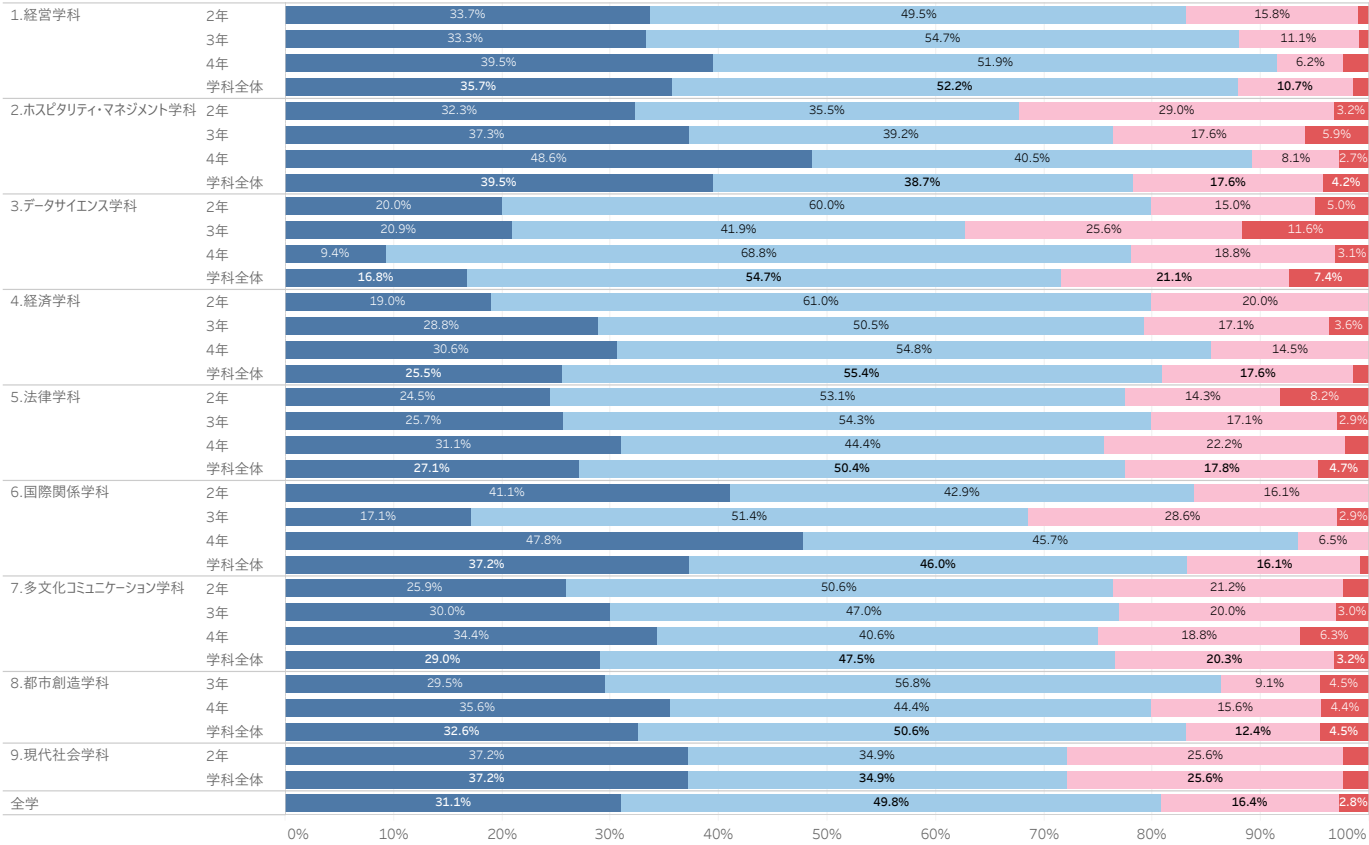
他者との協力やコミュニケーションの体験として、プレゼンテーションやグループワークの機会がある



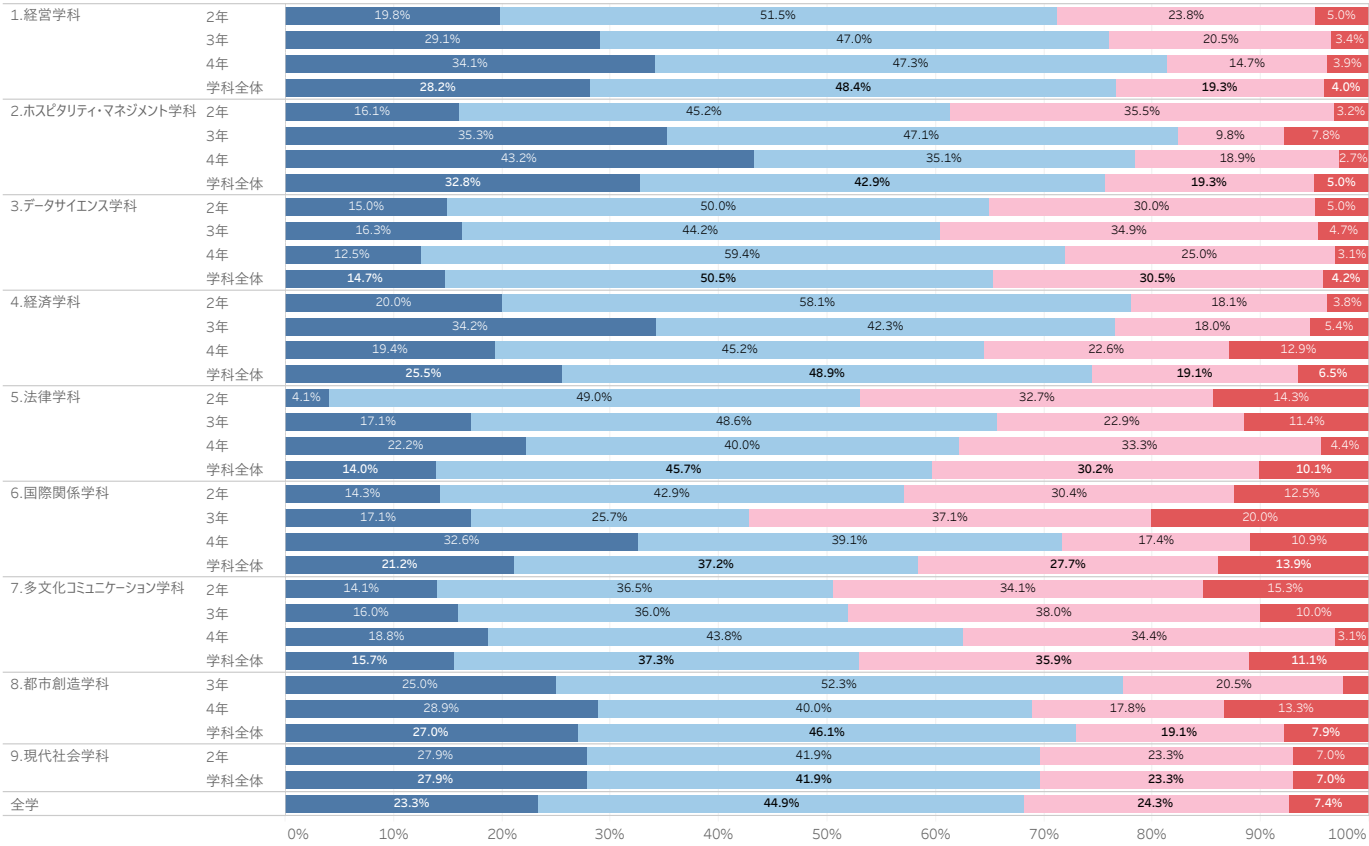
少人数で授業を行う



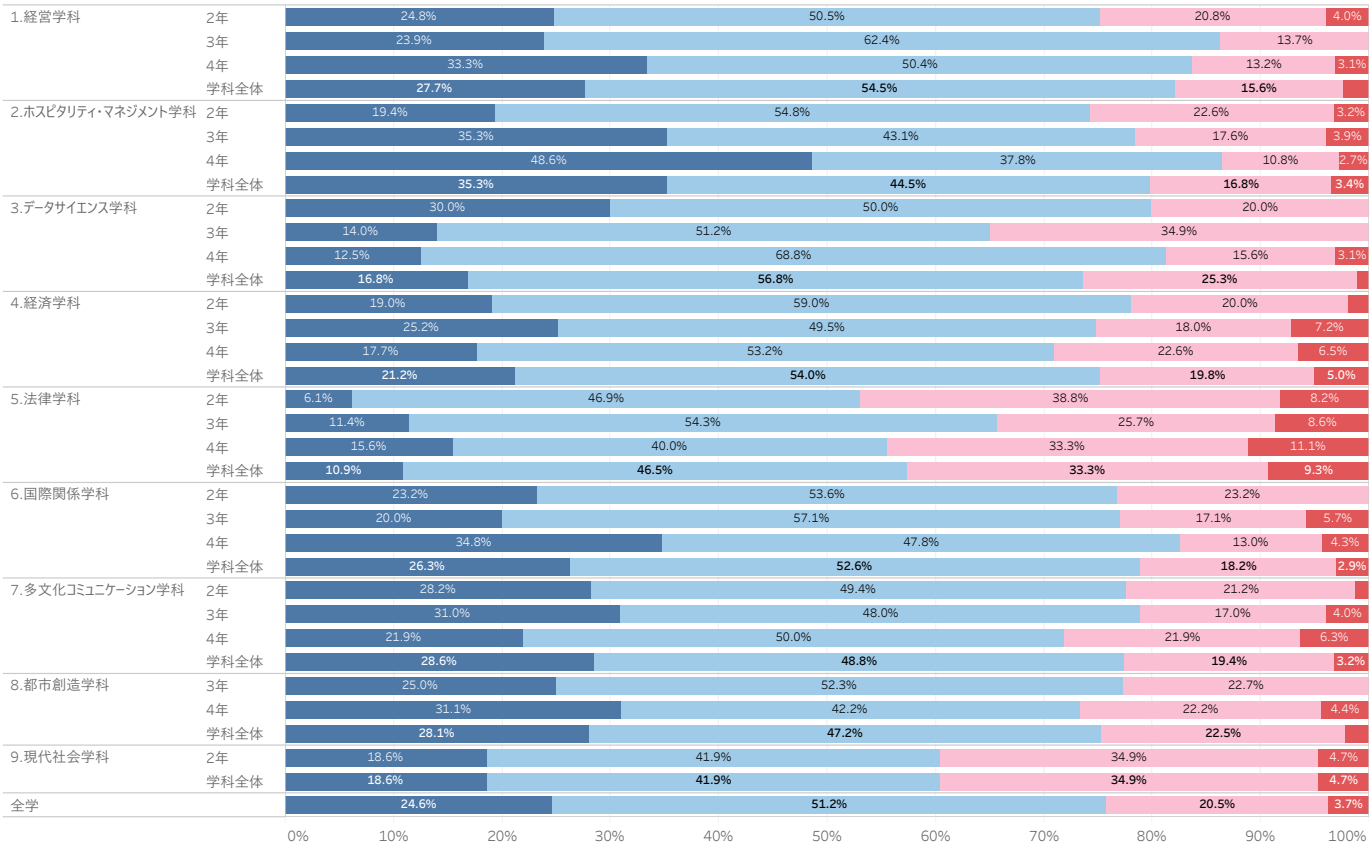
論文やレポートの作成技法を学べる



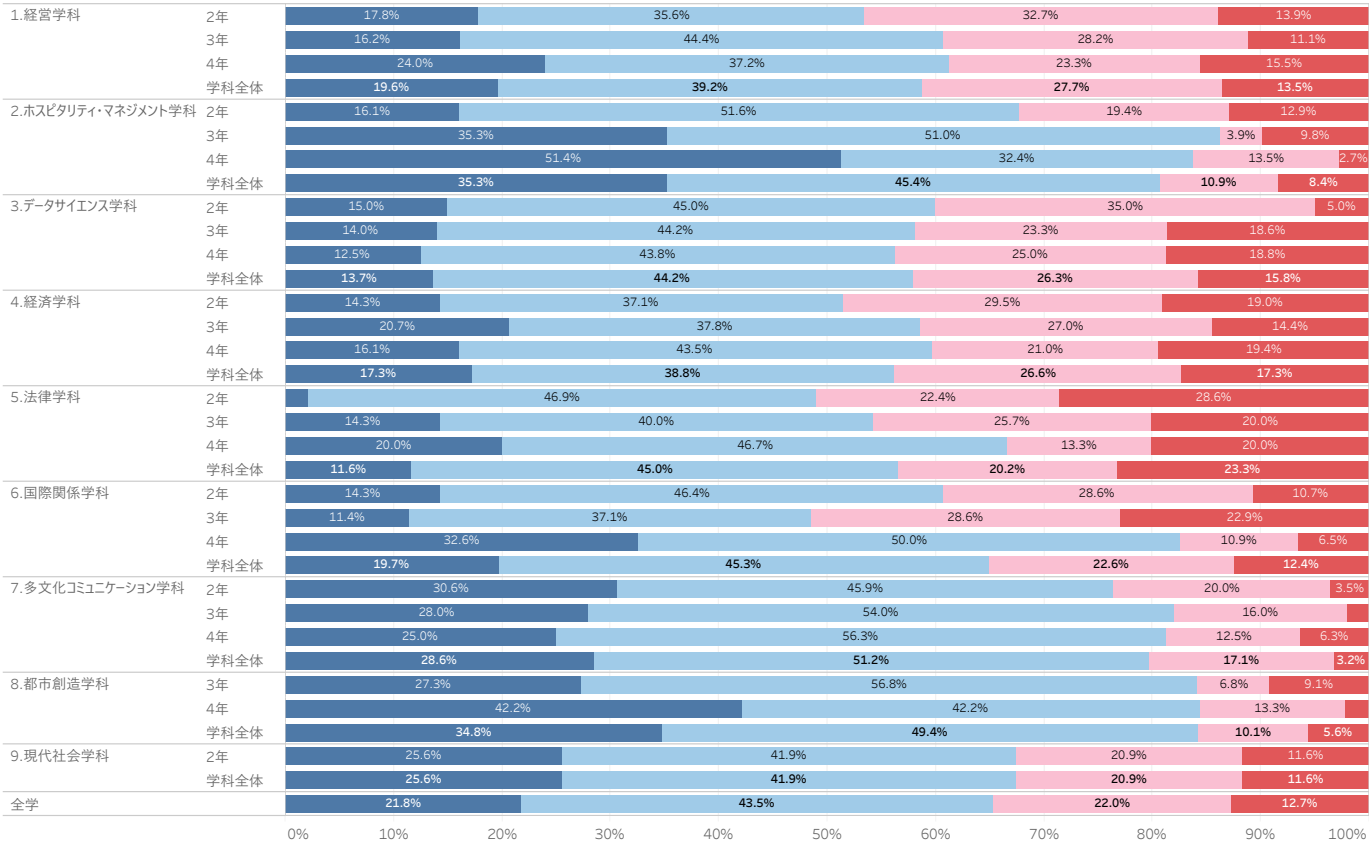
資格に対応した授業を行っている



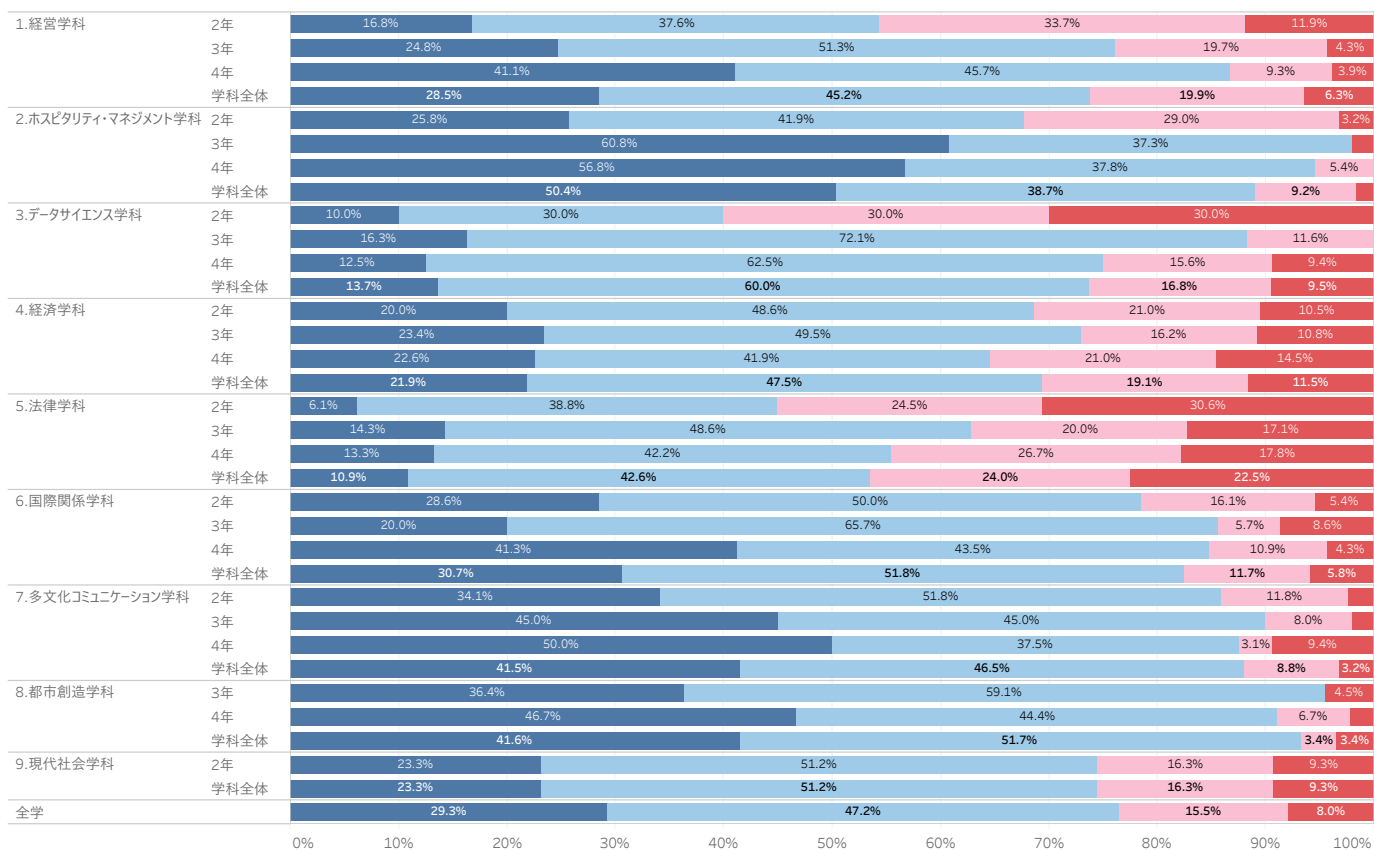
キャリア教育を取り入れている



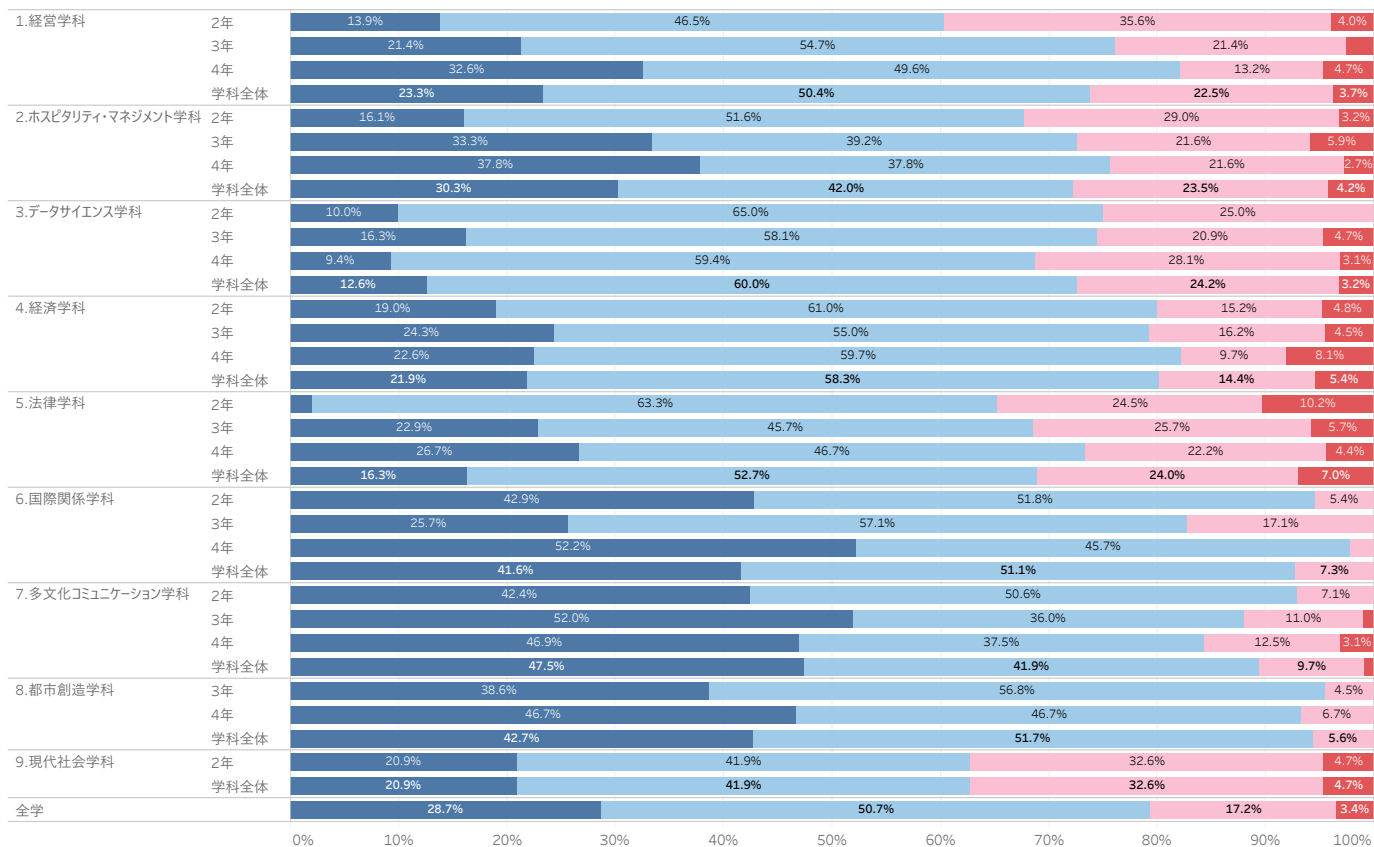
授業の中でフィールドワークやインターンシップの機会がある



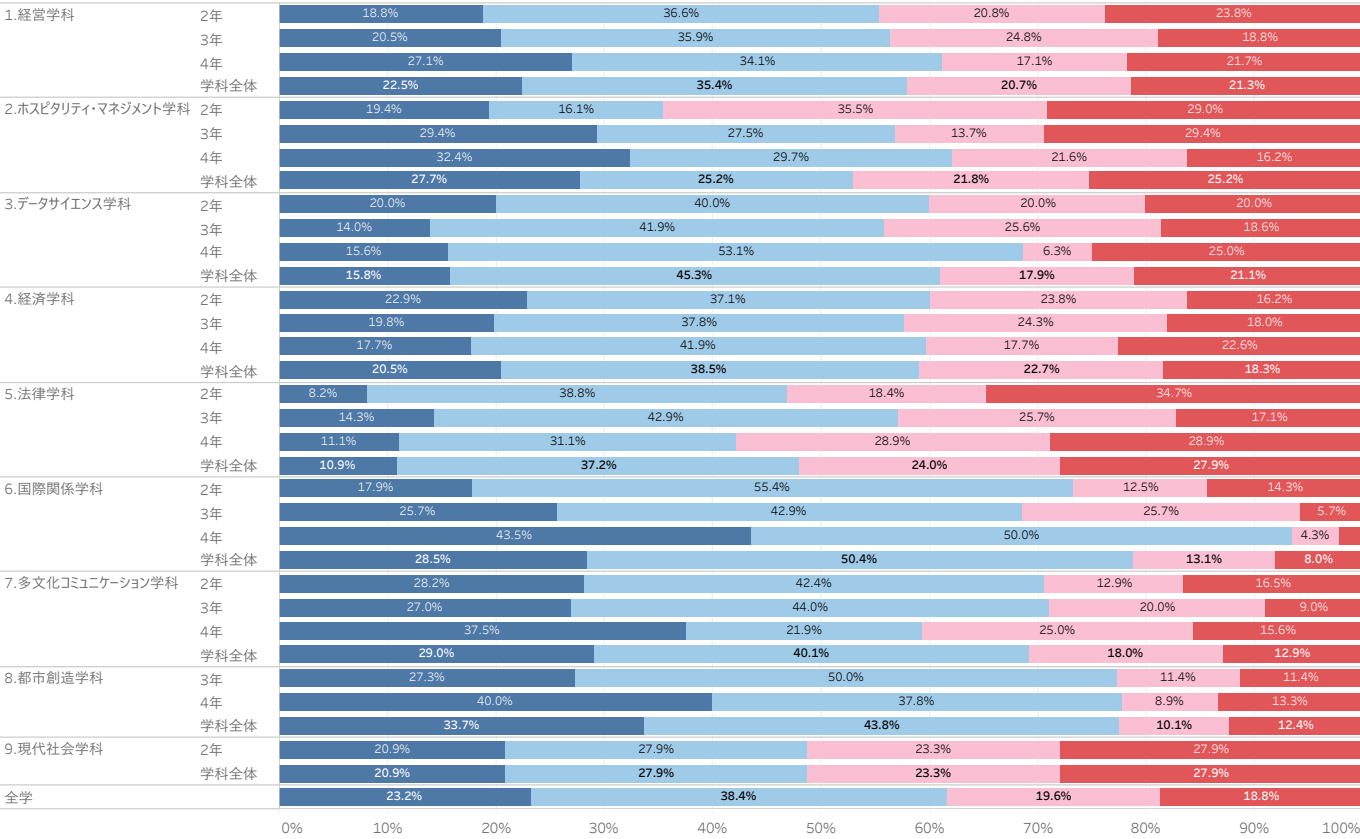
授業の中で外部講師を招聘している



国際的視野を広げる機会がある



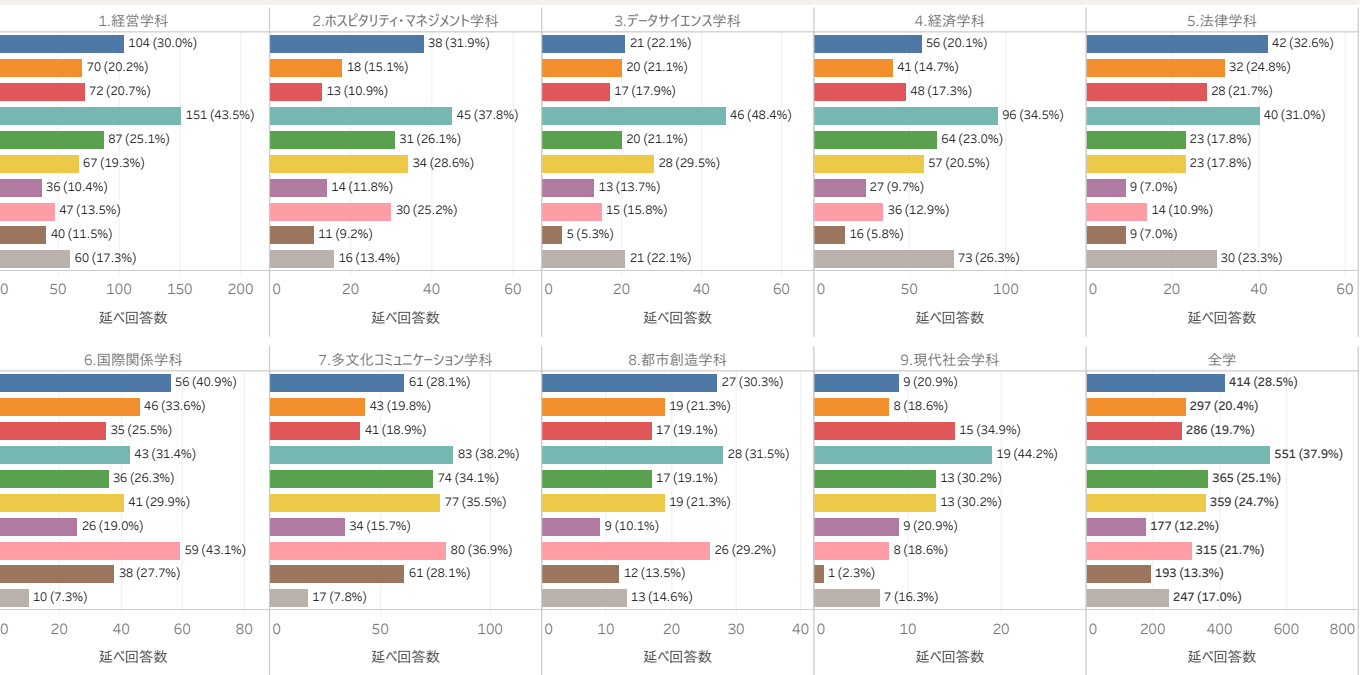
語学以外の授業で、外国語で行われる授業がある



設問5-2.今後履修してみたい、または積極的に取り入れてほしいと考える授業形態・方法はどれですか。（複数選択可）

* 延べ回答数を表示 （）内は各学科の回答数に対する割合

* 学科ごとの回答数によって延べ回答数の軸範囲を調整



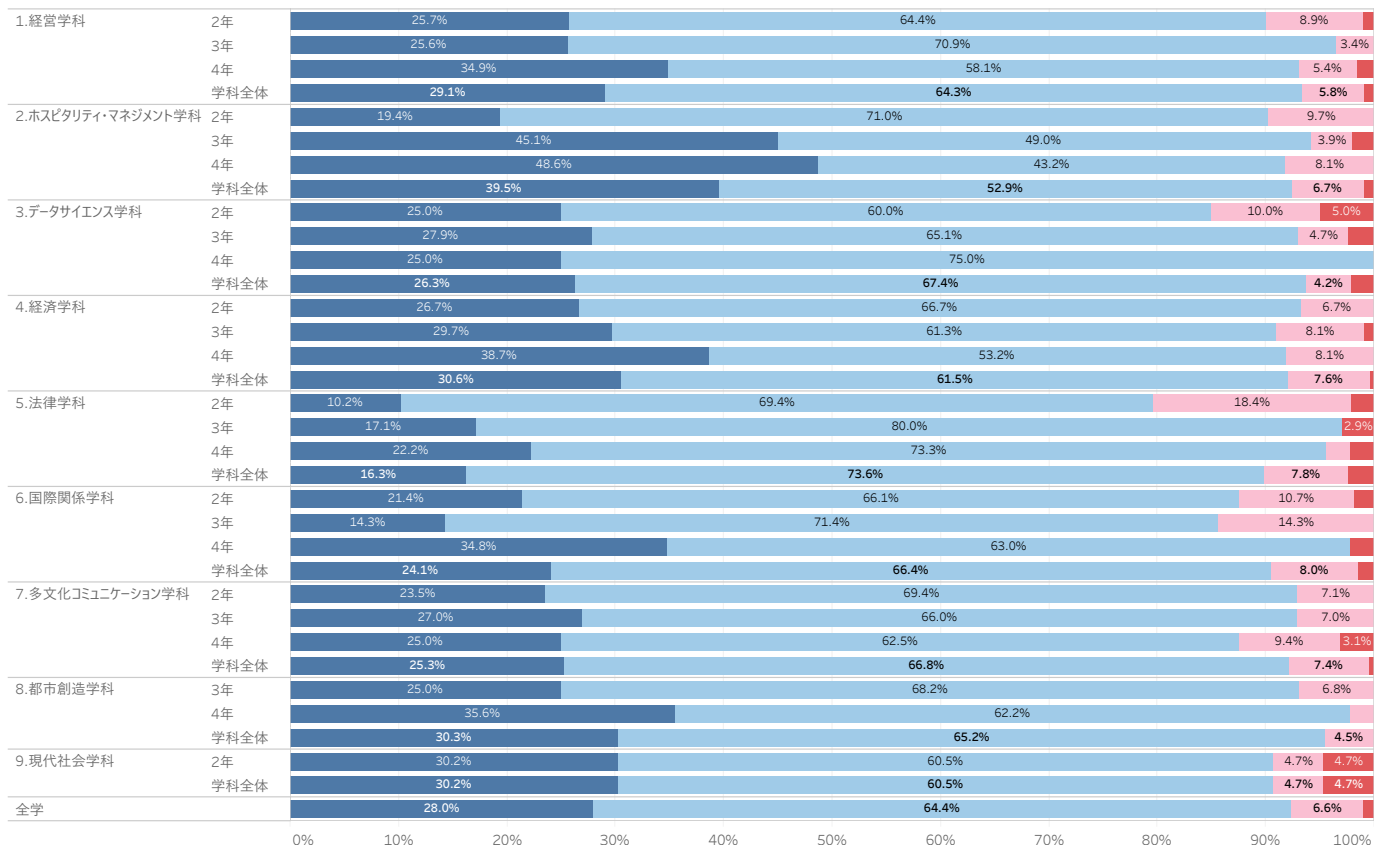
選択肢

- 他者との協力やコミュニケーションの体験として、プレゼンテーションやグループワークの機会がある
- 少人数で授業を行う
- 論文やレポートの作成技法を学べる
- 資格に対応した授業を行っている
- キャリア教育を取り入れている
- 授業の中でフィールドワークやインターンシップの機会がある
- 授業の中で外部講師を招聘している
- 国際的視野を広げる機会がある
- 語学以外の授業で、外国語で行われる授業がある
- 特に希望はない

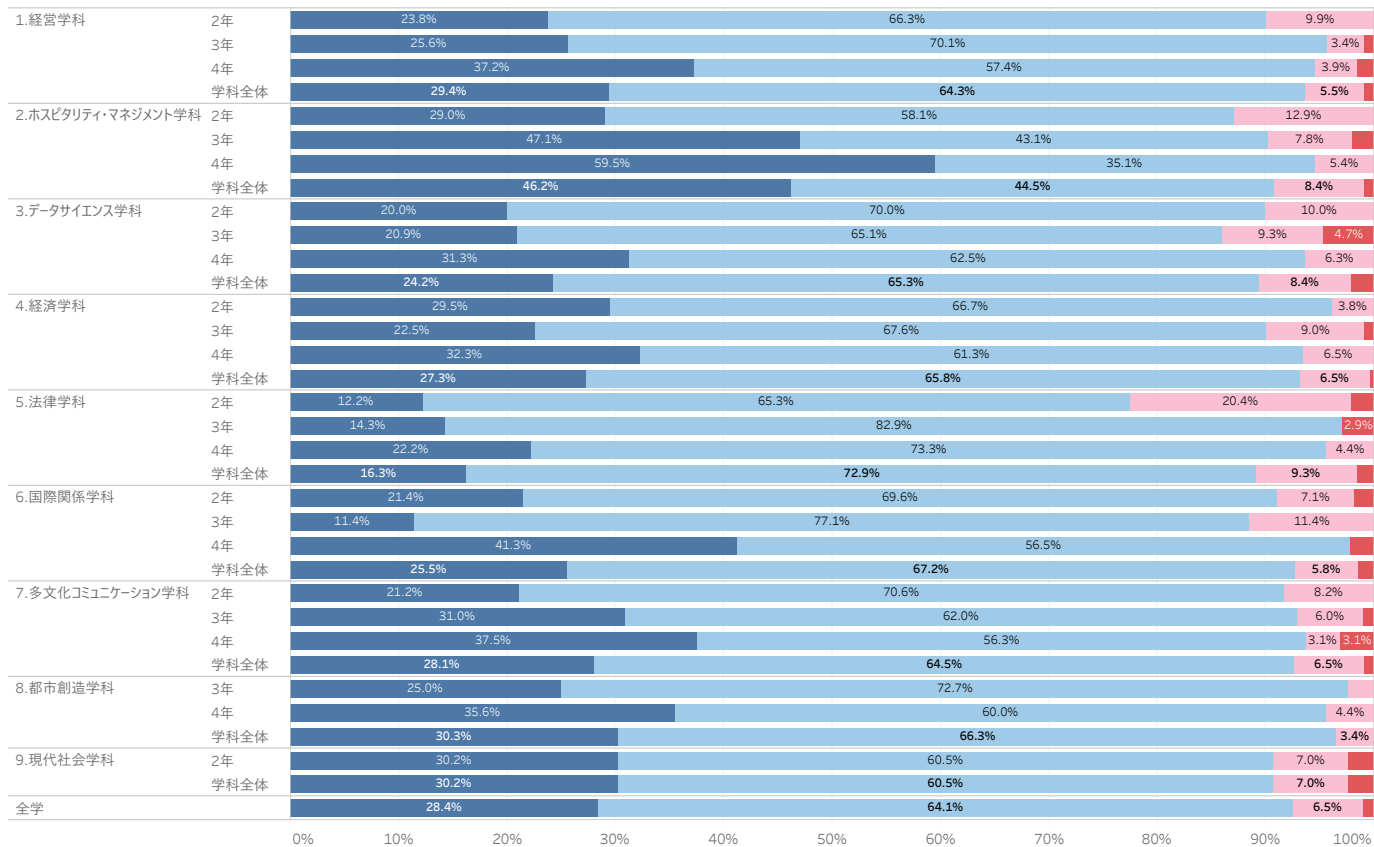
設問7. 昨年度 1 年間に振り返って、授業や大学生活にどの程度満足していますか。

選択肢 ■ 4.とても満足した ■ 3.満足した ■ 2.不満だった ■ 1.とても不満だった

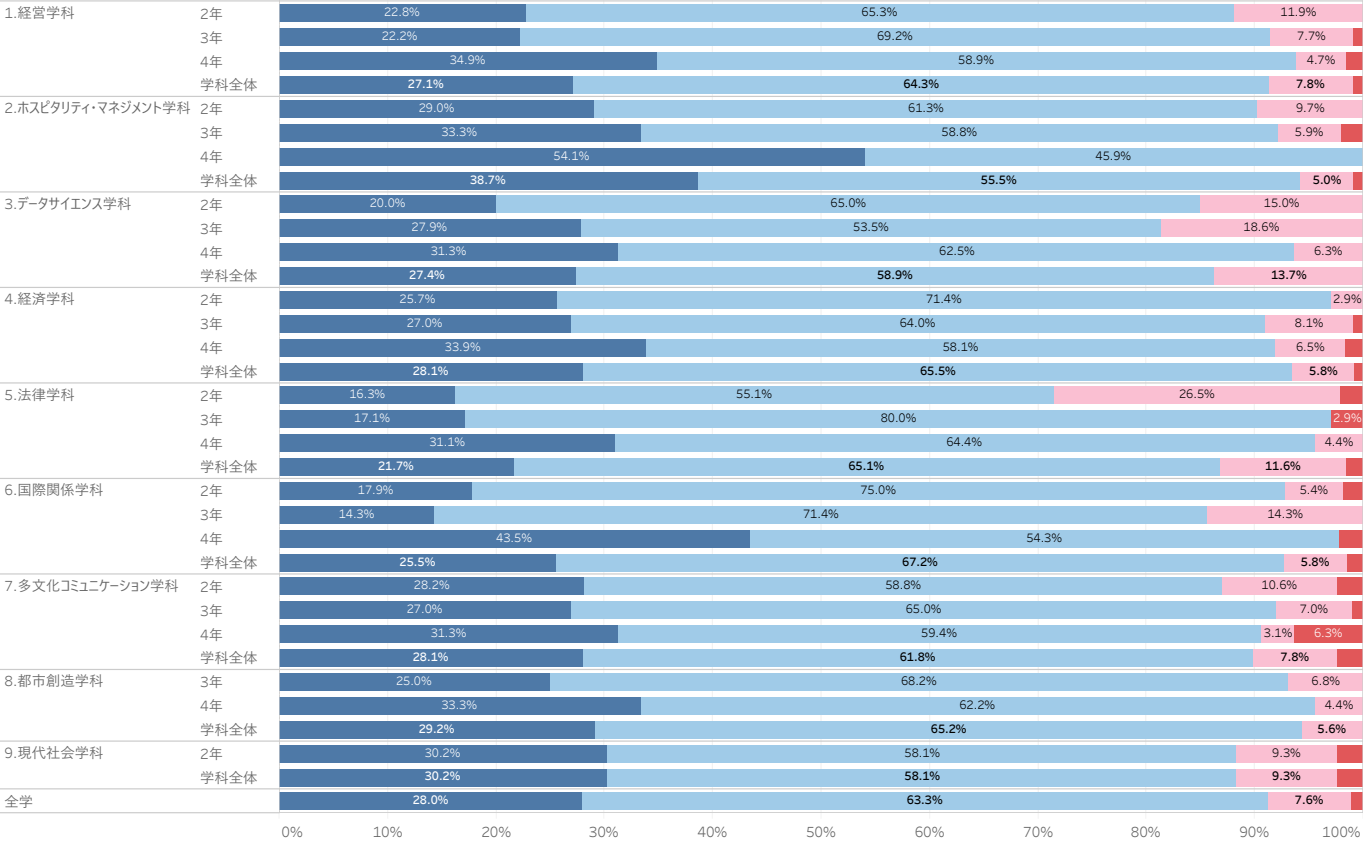
1.大学全般



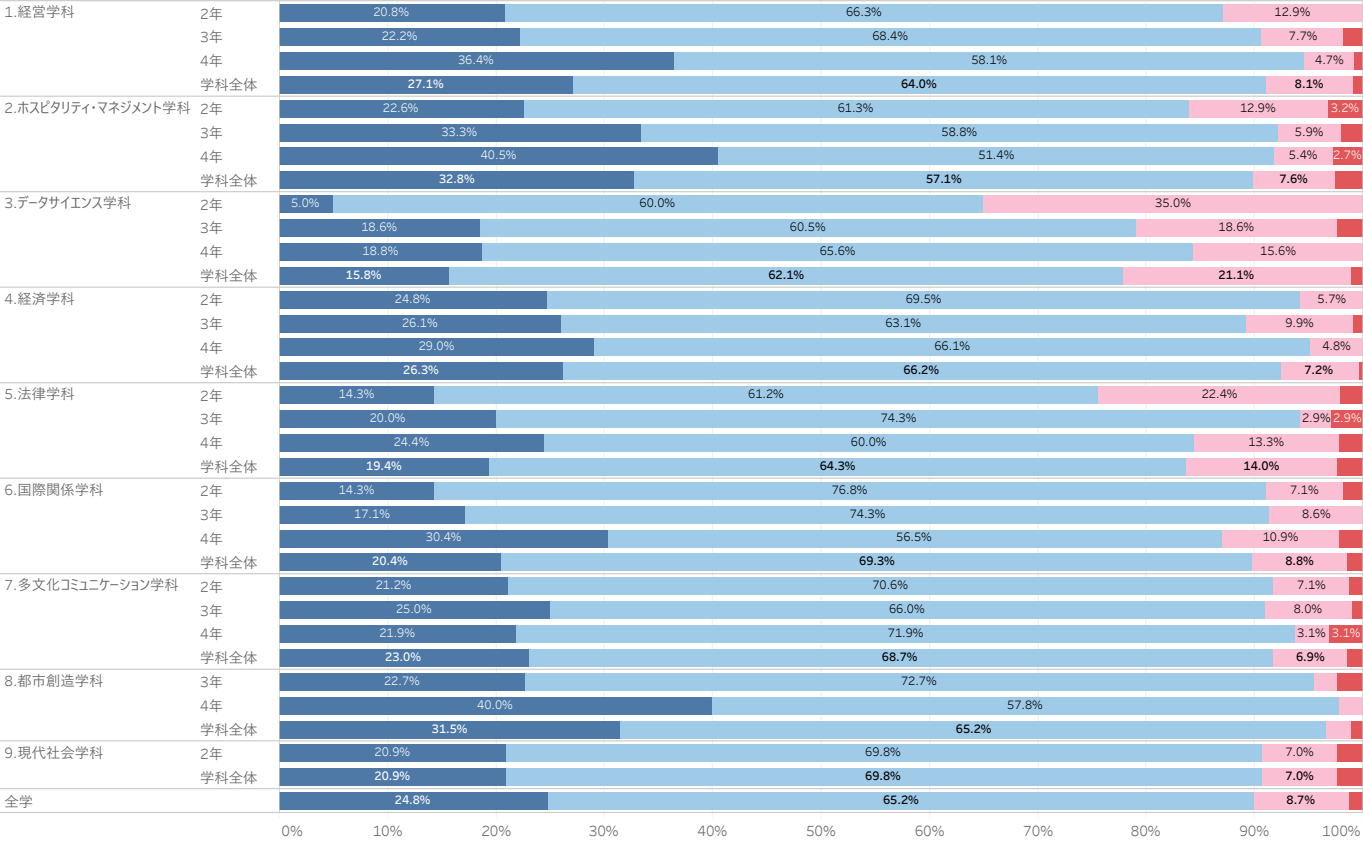
2.所属している学部学科



3.専門科目

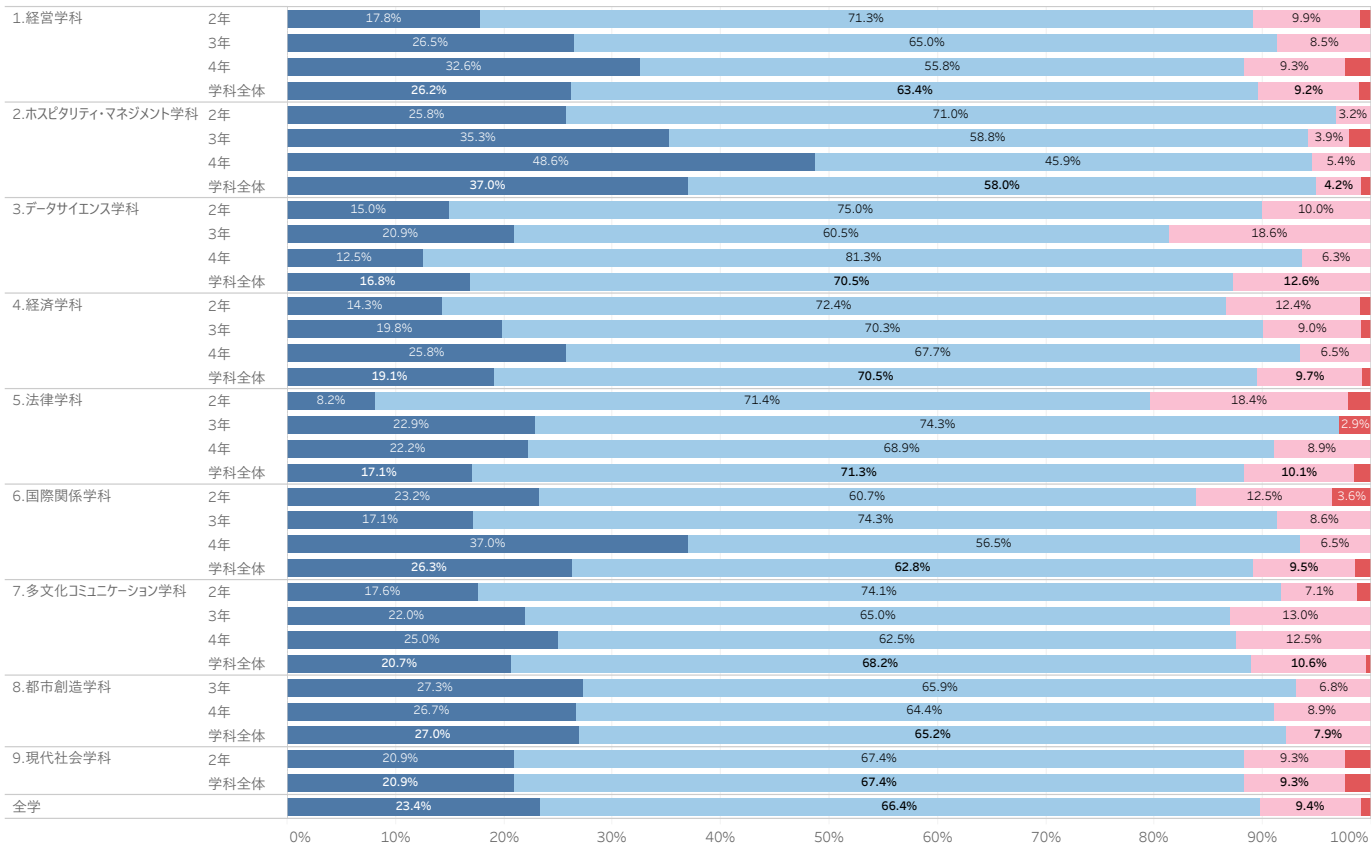


4.全学共通科目



設問9. 昨年度 1 年間を振り返って、学習意欲は高まりましたか。

選択肢 4.とても高まった 3.少し高まった 2.少し下がった 1.とても下がった

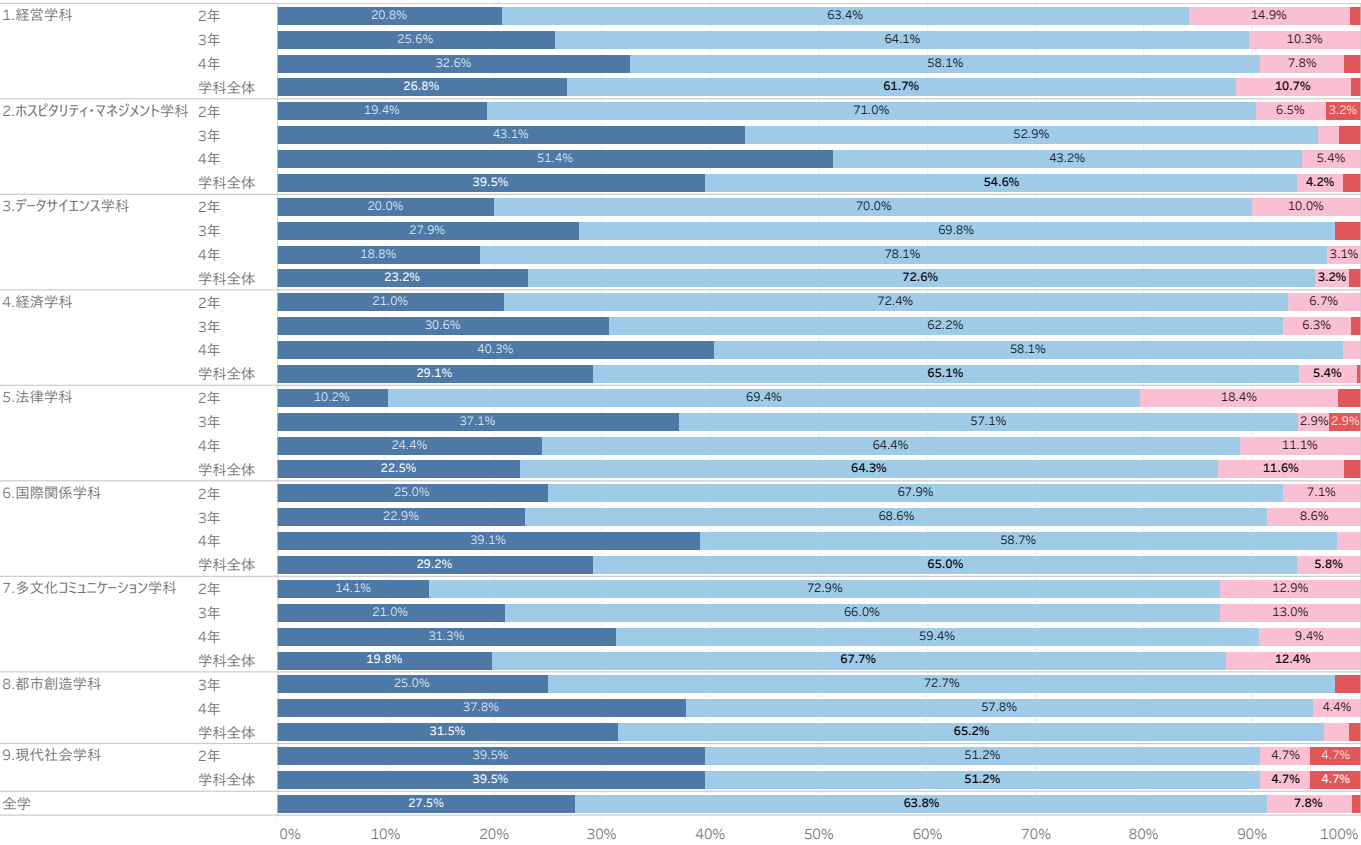


以下の設問11～15は文部科学省が実施する2026（令和8）年度「全国学生調査」の設問である。

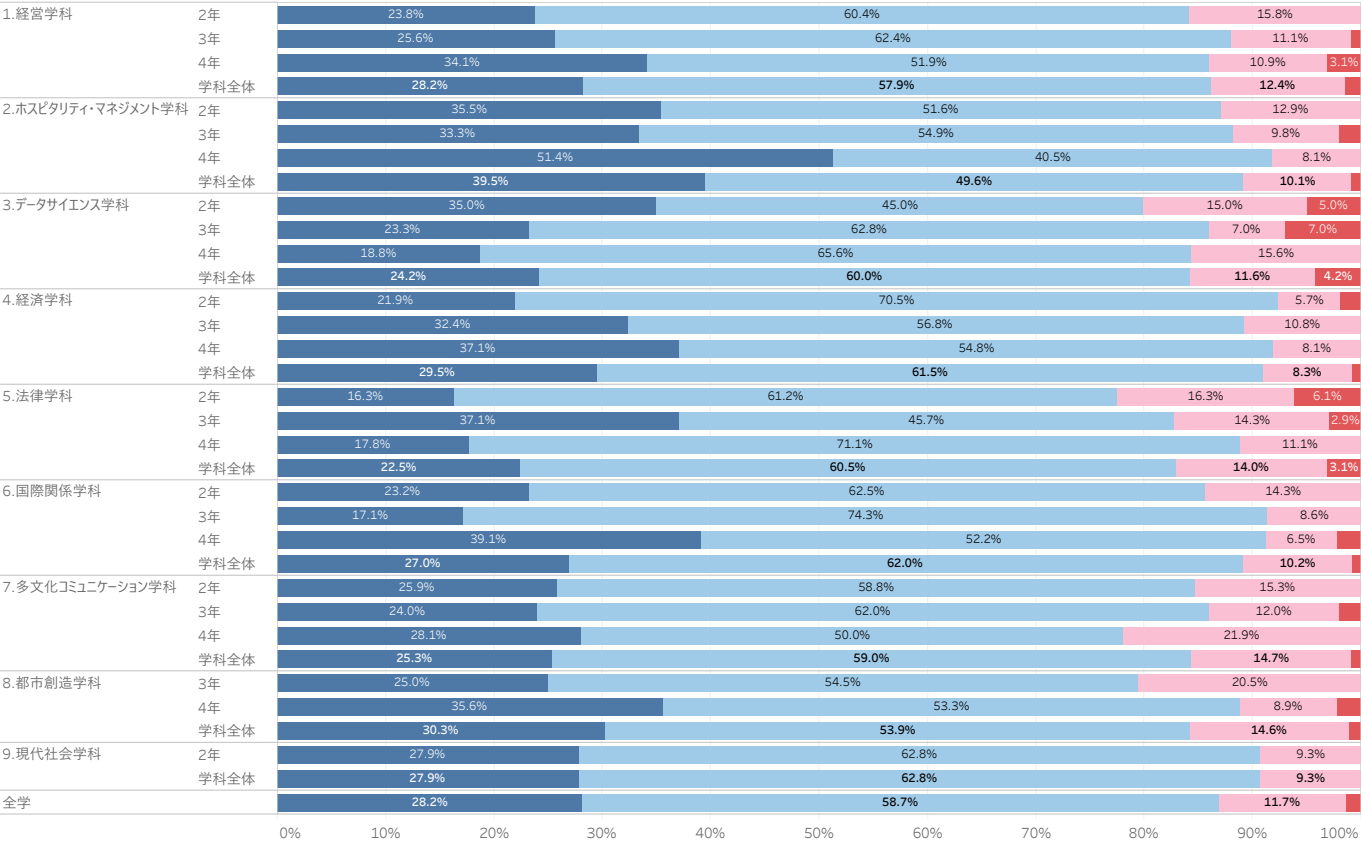
設問11. 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

選択肢 4: よくあった 3: ある程度あった 2: あまりなかった 1: なかった

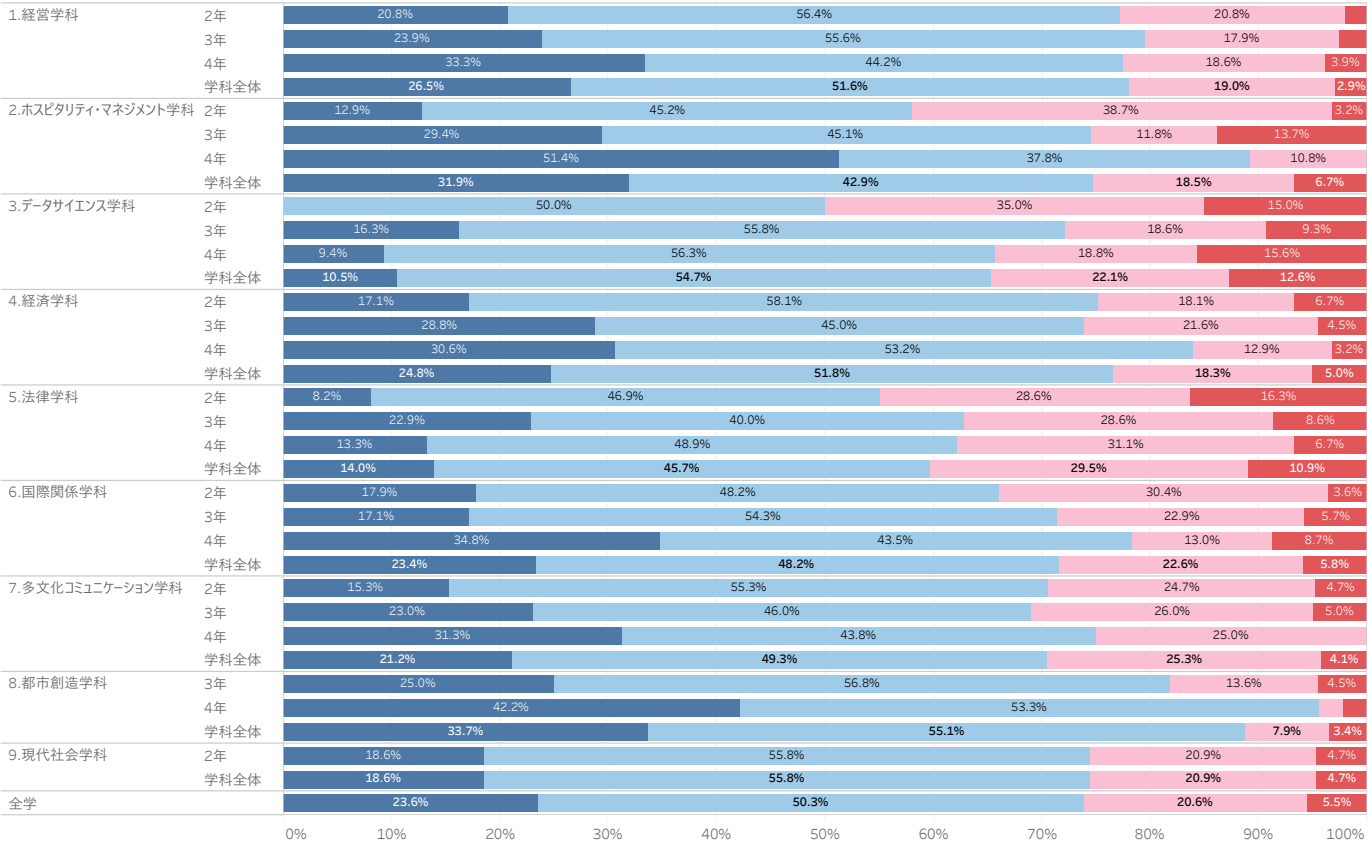
1. 理解がしやすいように教え方が工夫されていた。



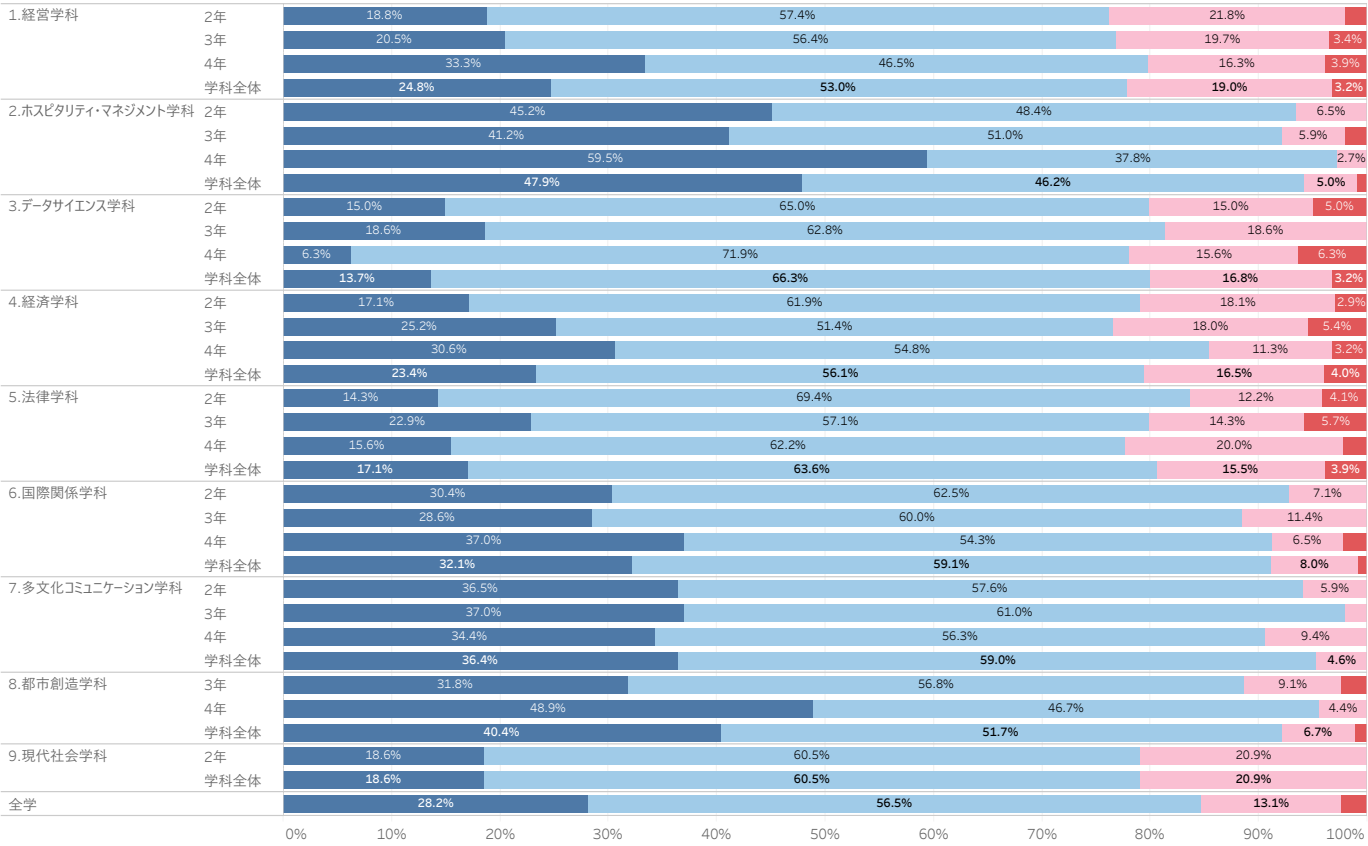
2. 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。



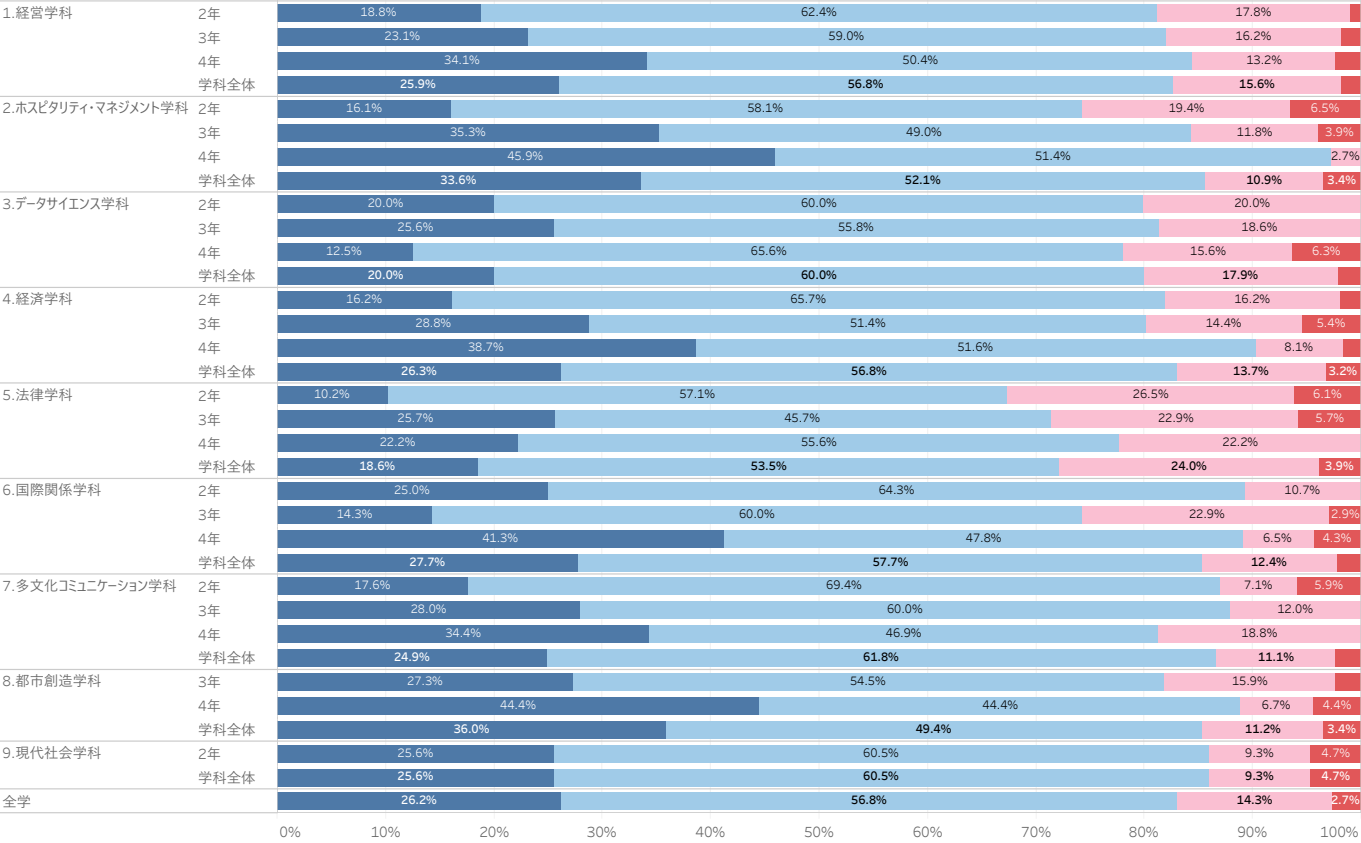
3. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。



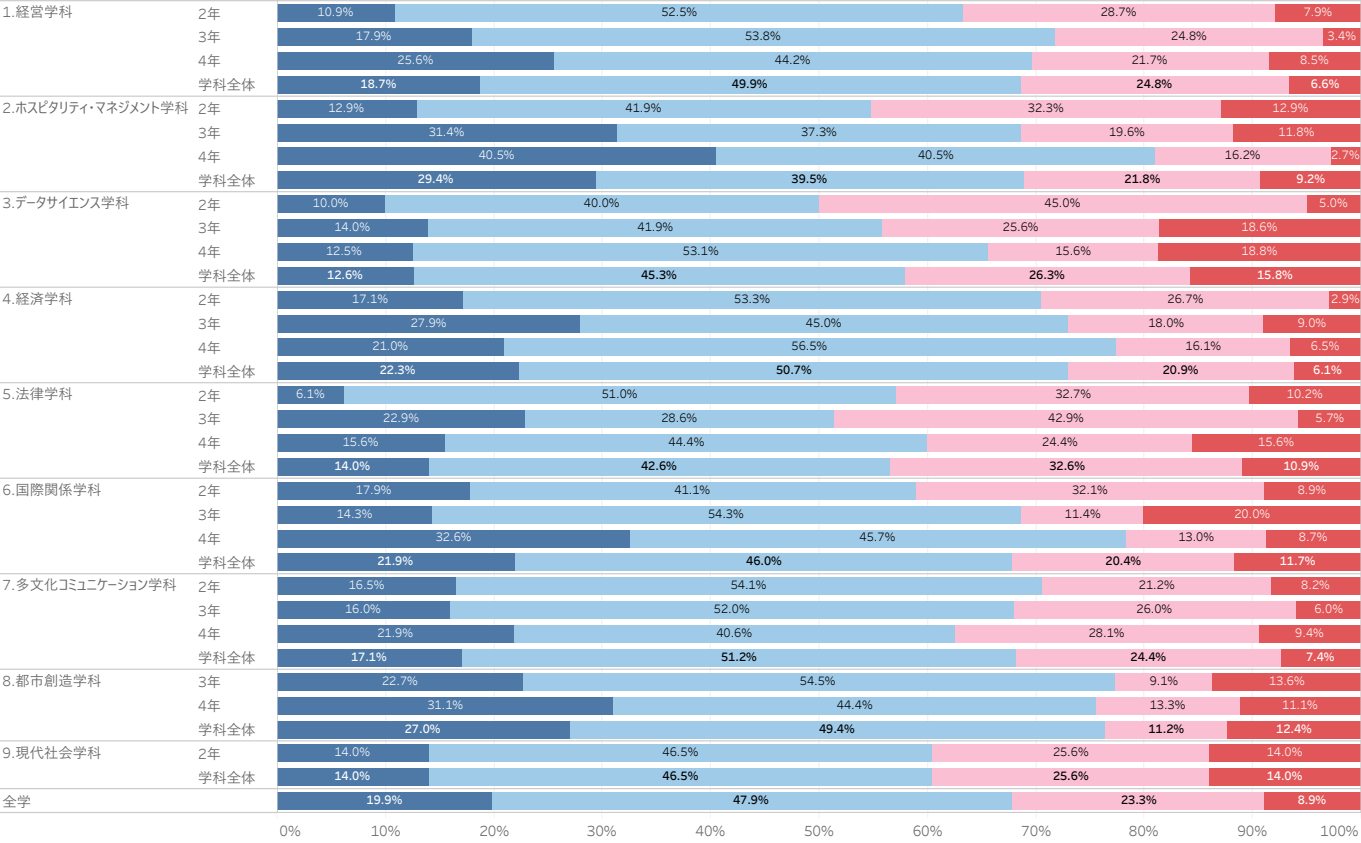
4. グループワークやディスカッションの機会がある。



5. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。



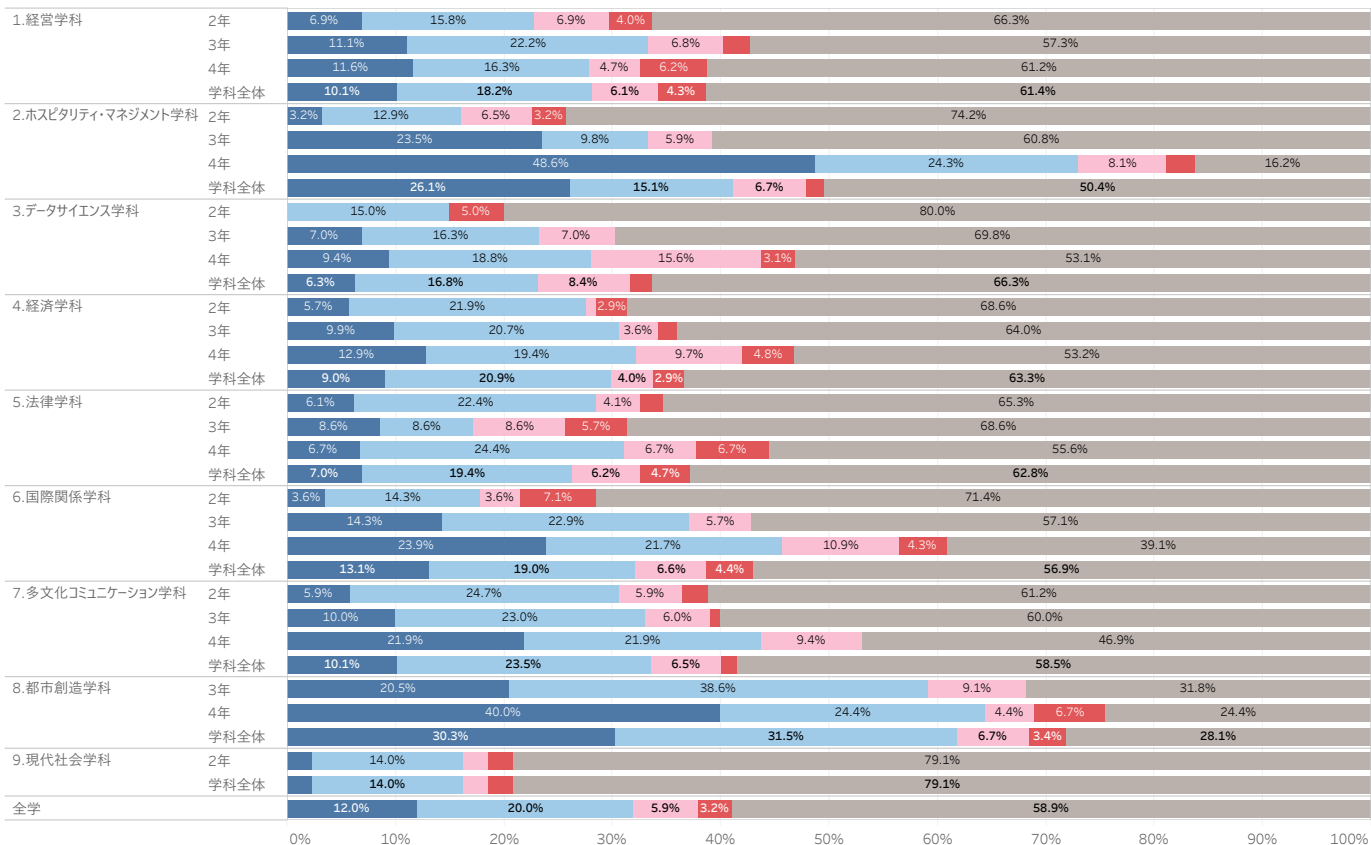
6. ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。



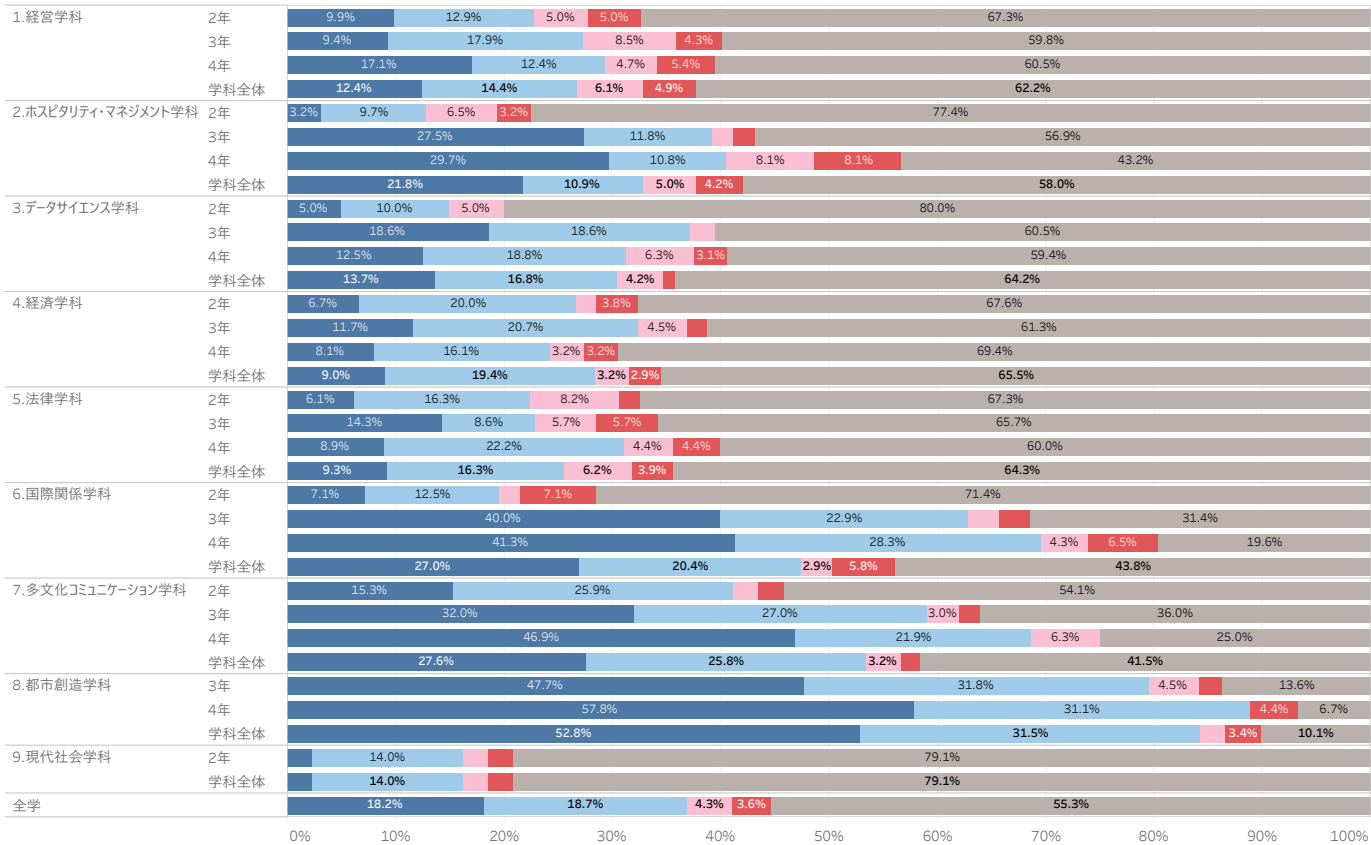
設問12. 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。経験していない場合は0を選択してください。

選択肢 4: 有用だった 3: ある程度有用だった 2: あまり有用ではなかった 1: 有用ではなかった 0: 経験していない

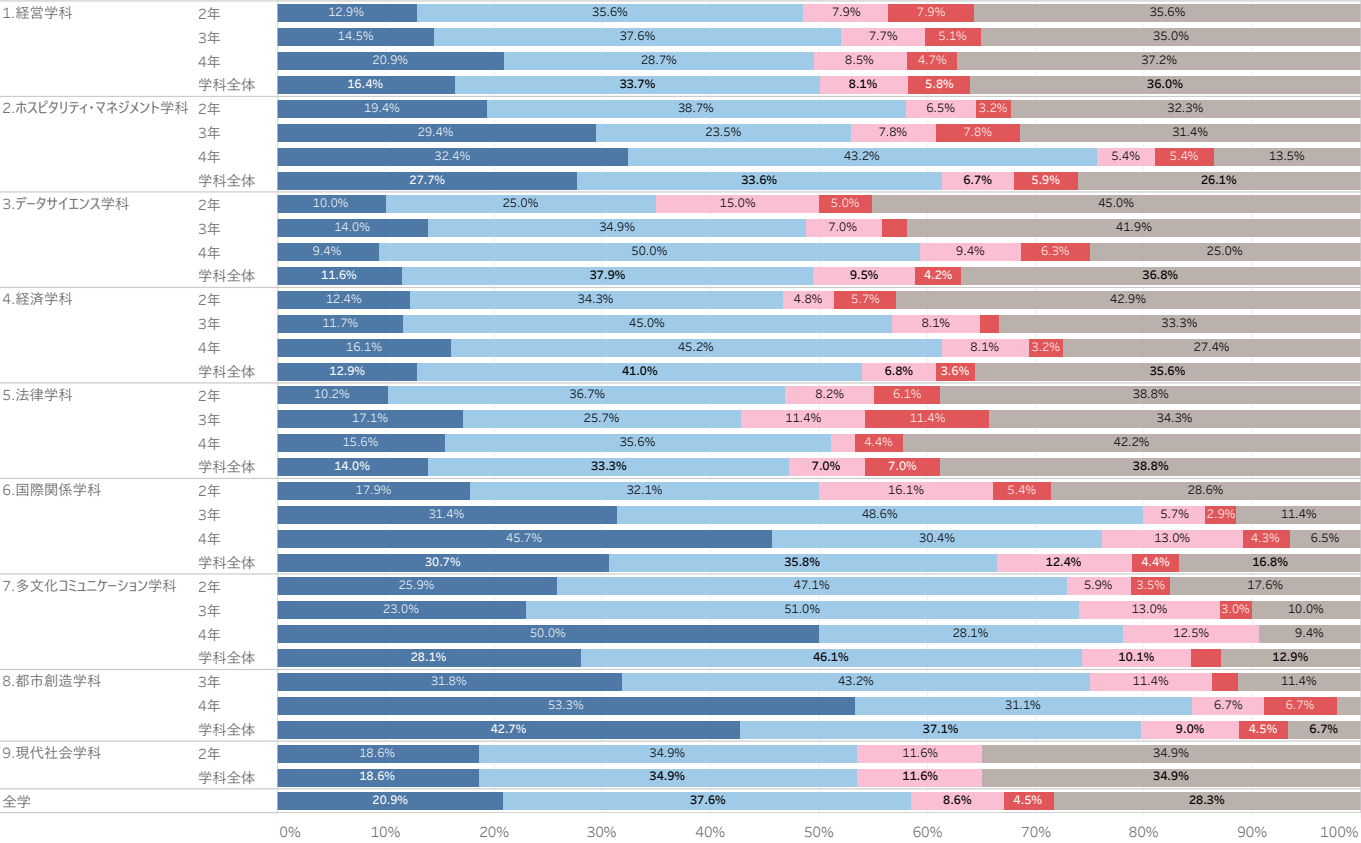
1. インターンシップ（5日間以上）



2. 海外留学・海外研修（短期も含む）



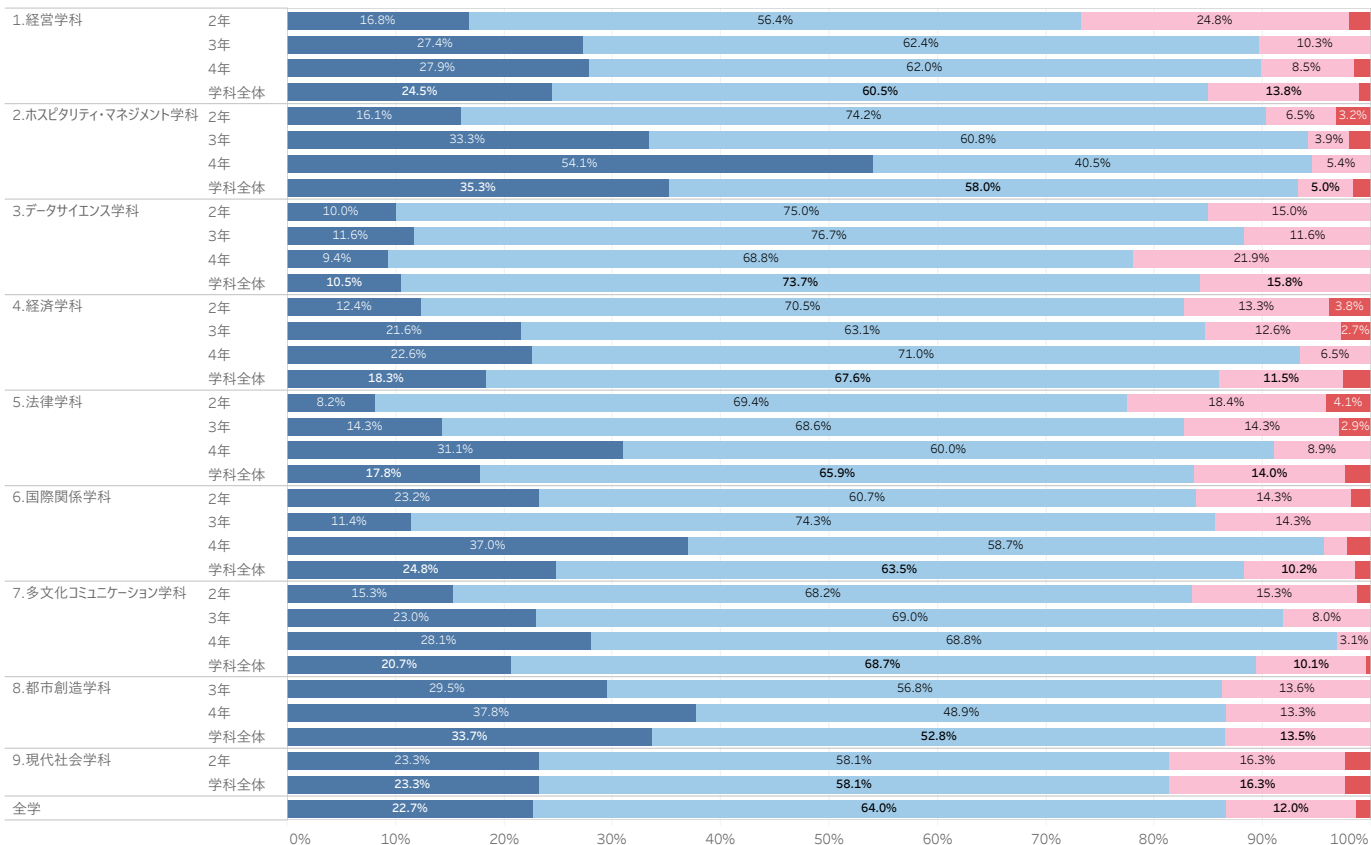
3. 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）



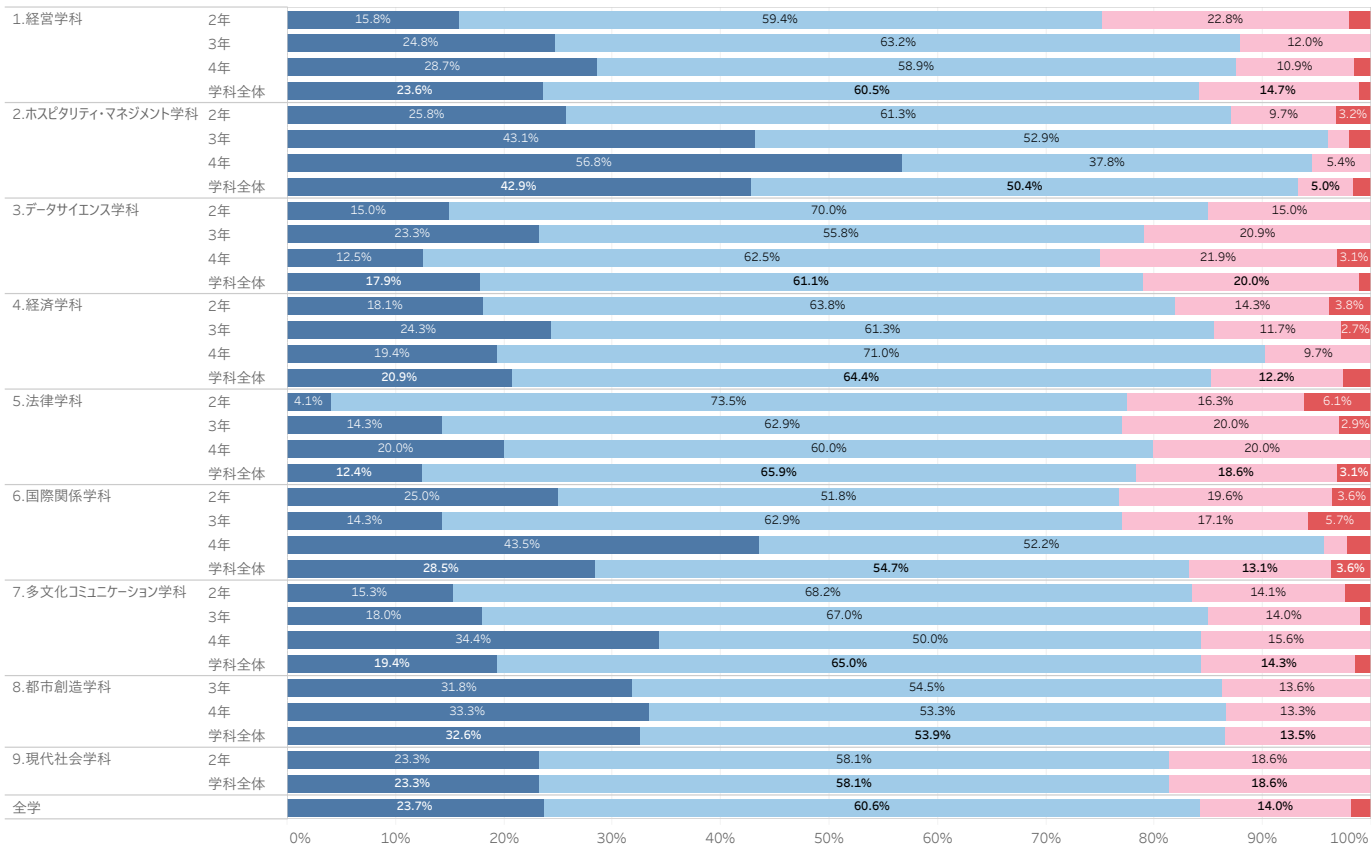
設問13. 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

選択肢 4: 身に付いた 3: ある程度身に付いた 2: あまり身に付いていない 1: 身に付いていない

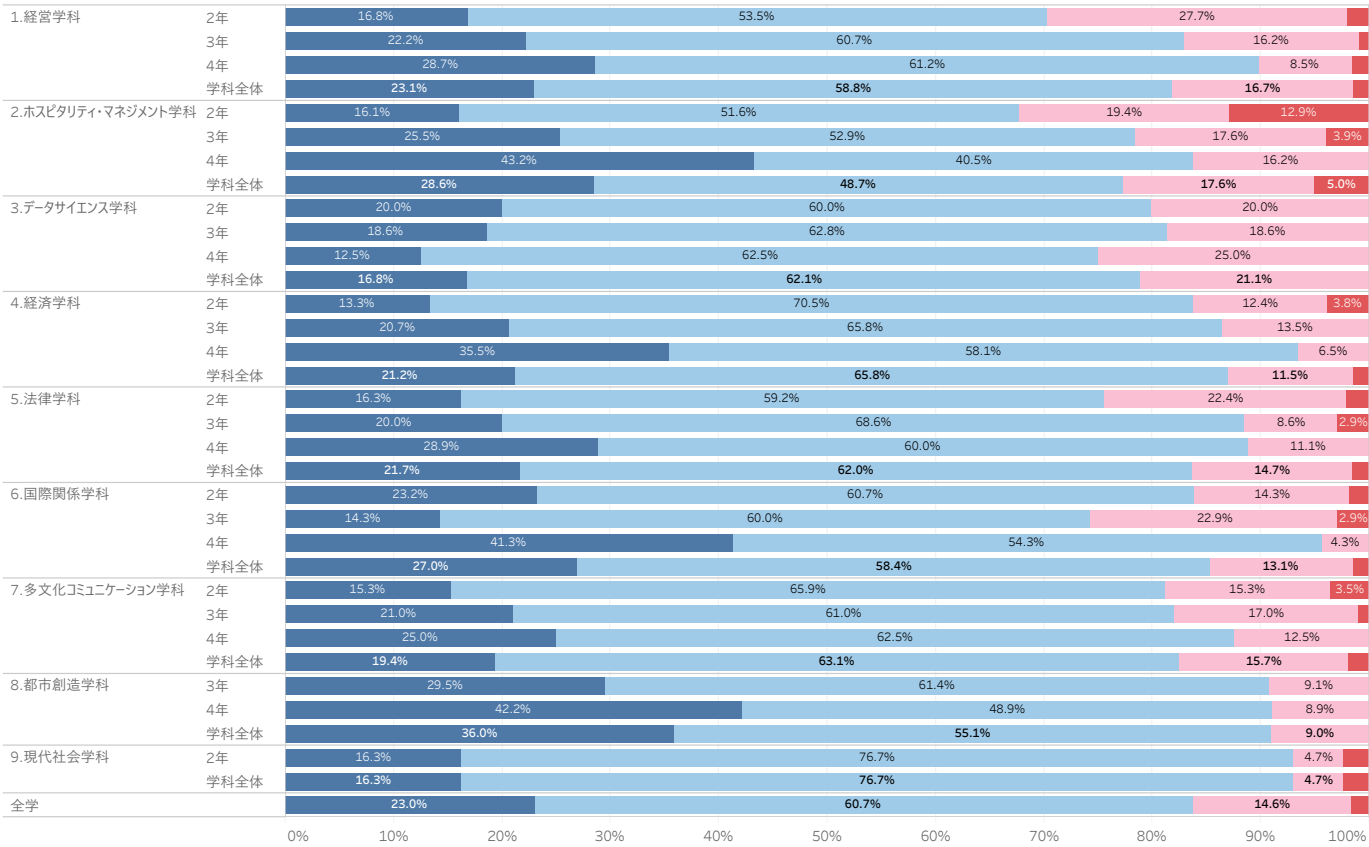
1. 専門分野に関する知識・理解



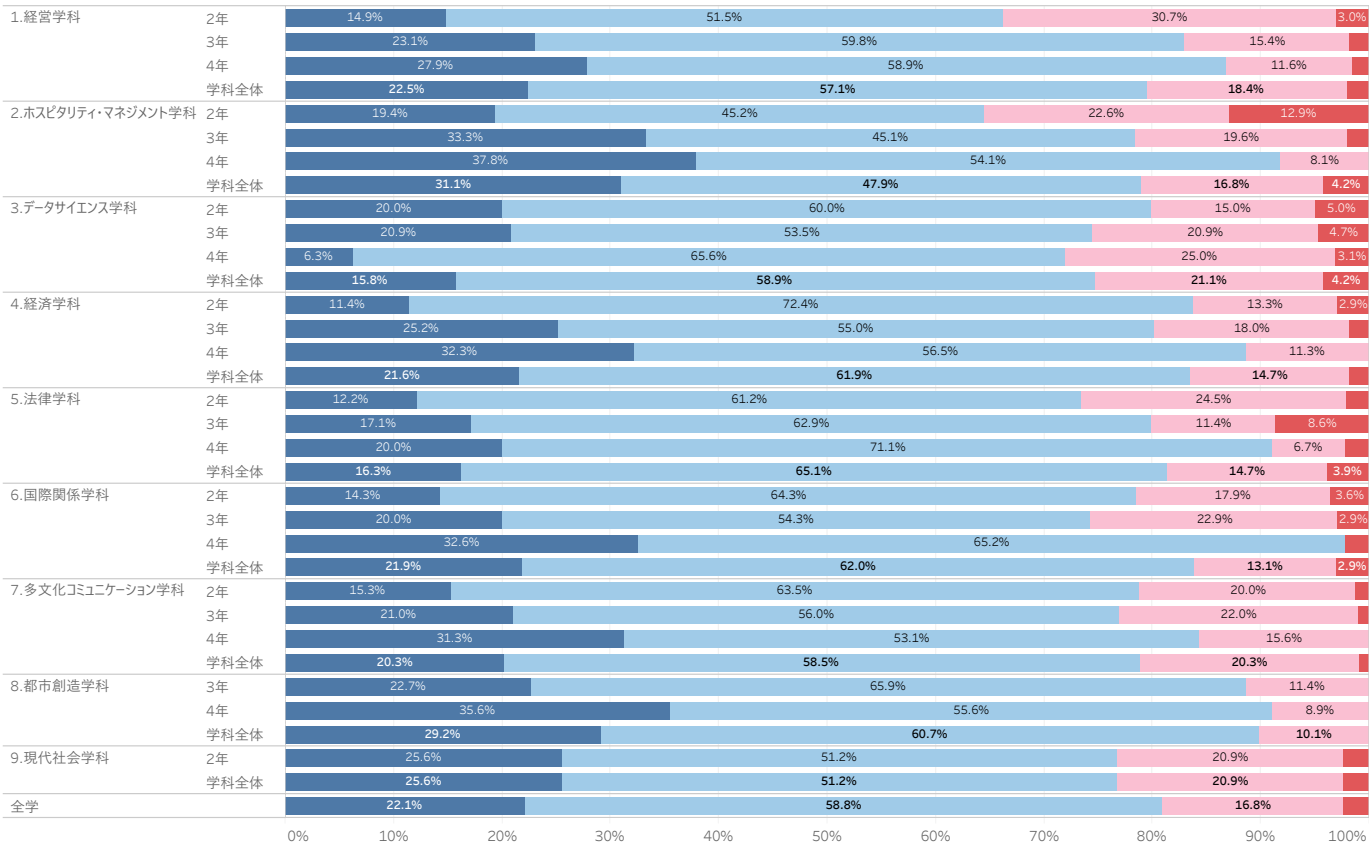
2. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観



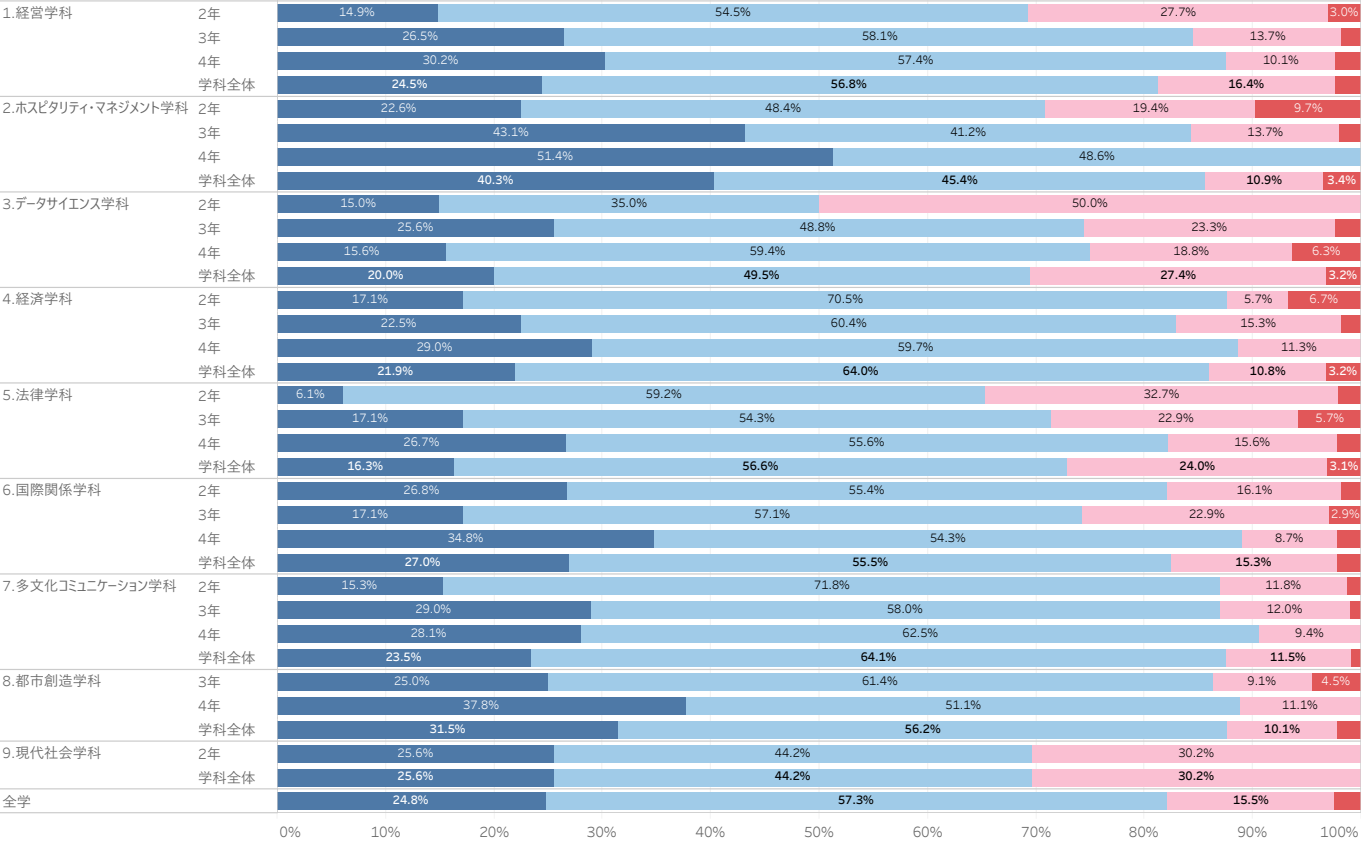
3. 文献・資料を収集・分析する力



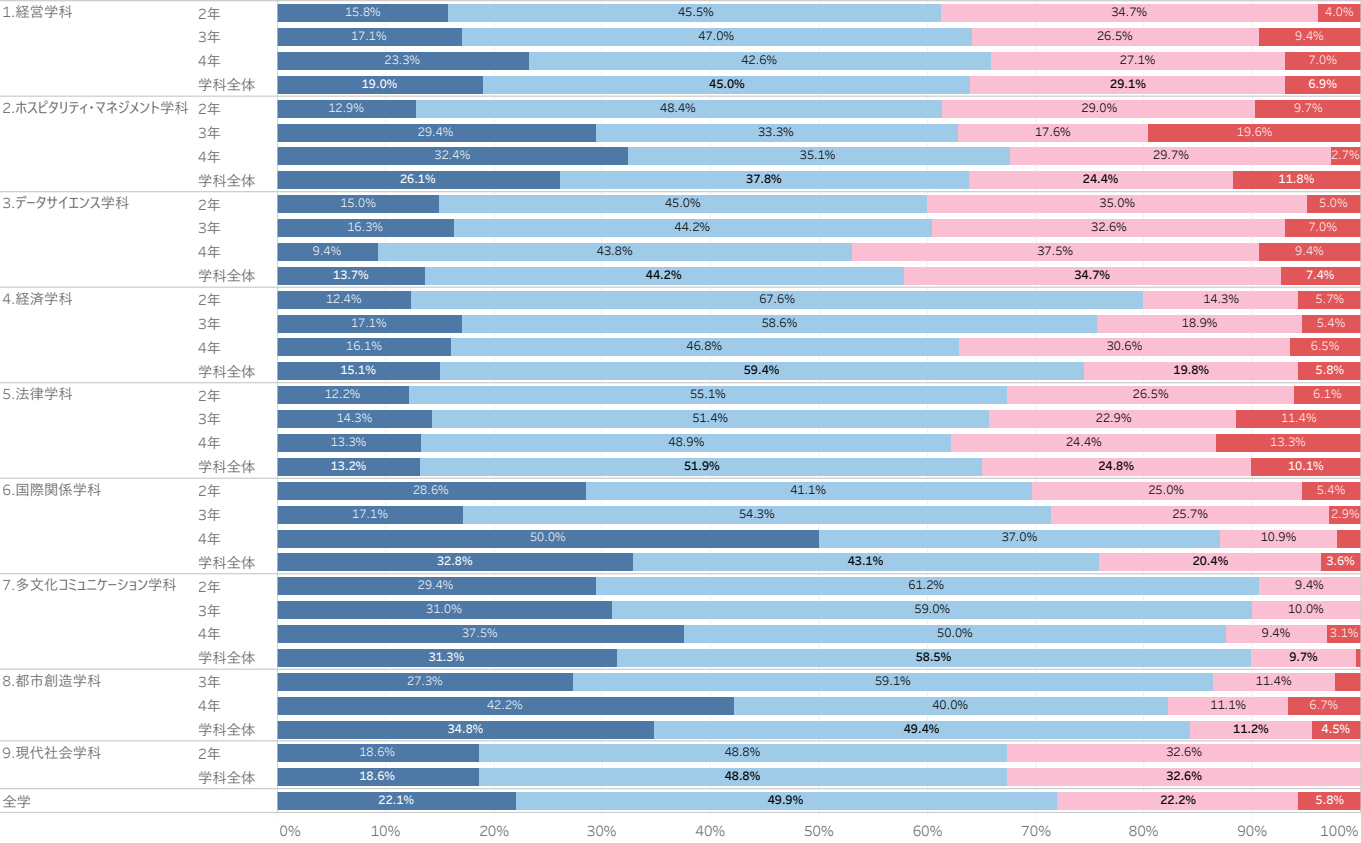
4. 論理的に文章を書く力



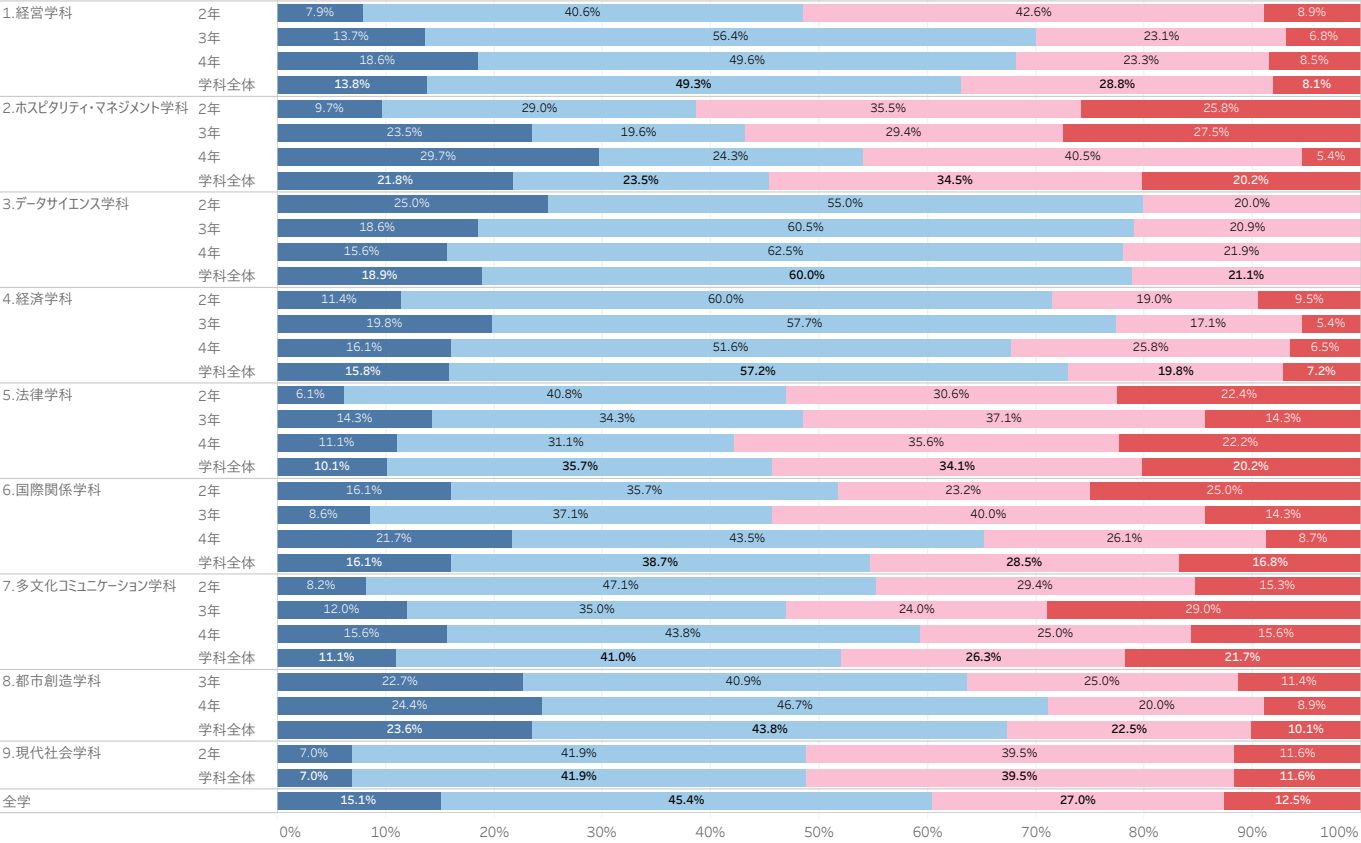
5. 人に分かりやすく話す力



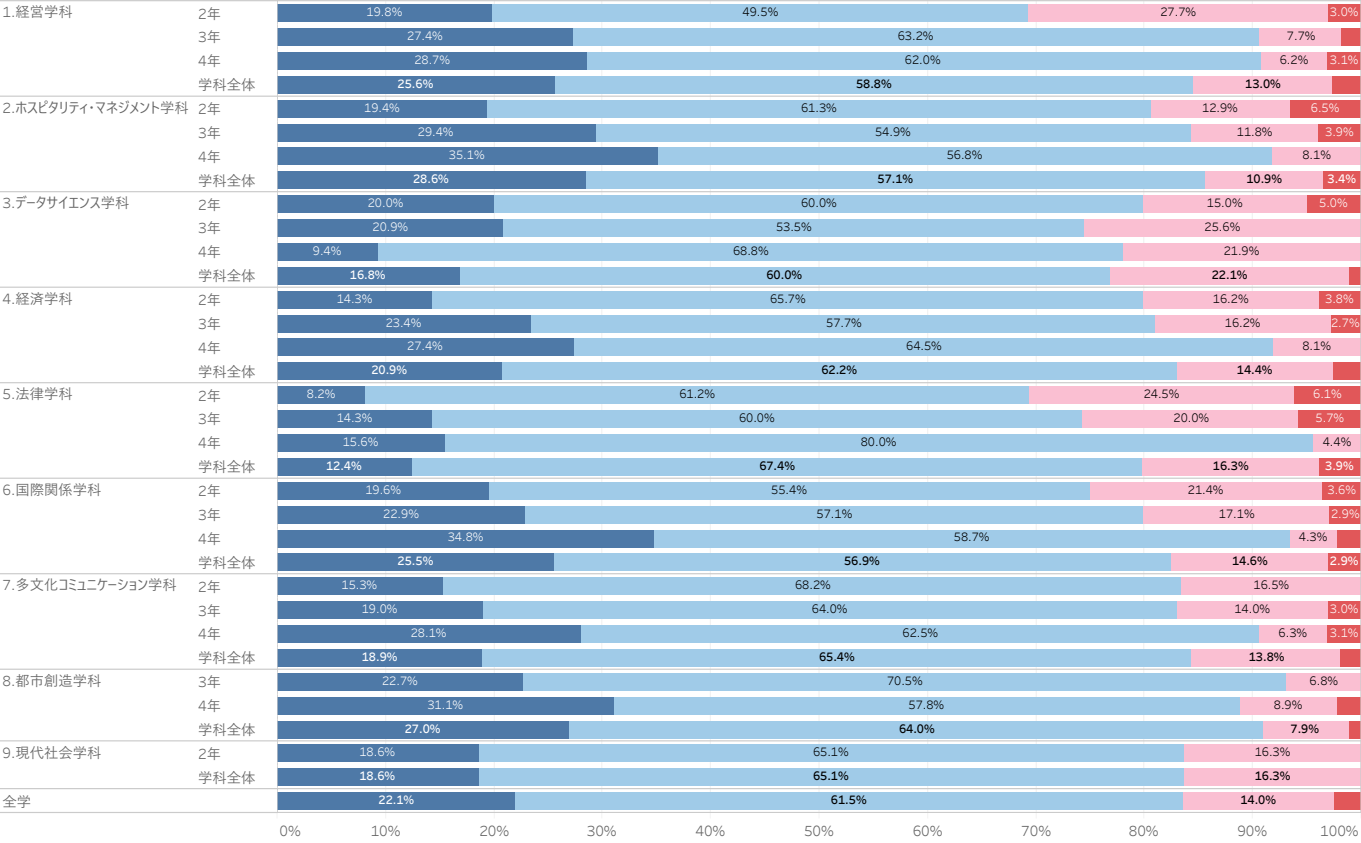
6. 外国語を使う力



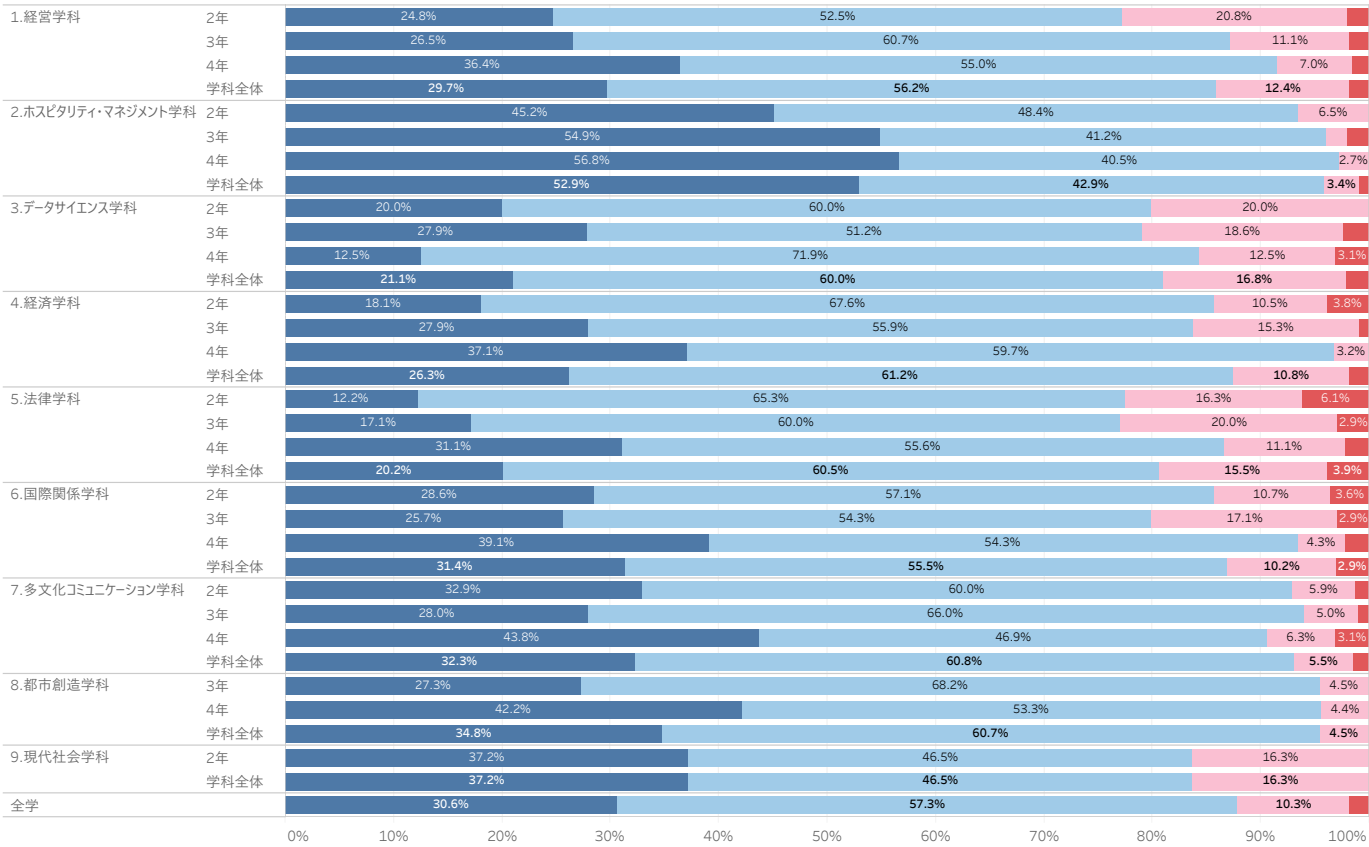
7. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能



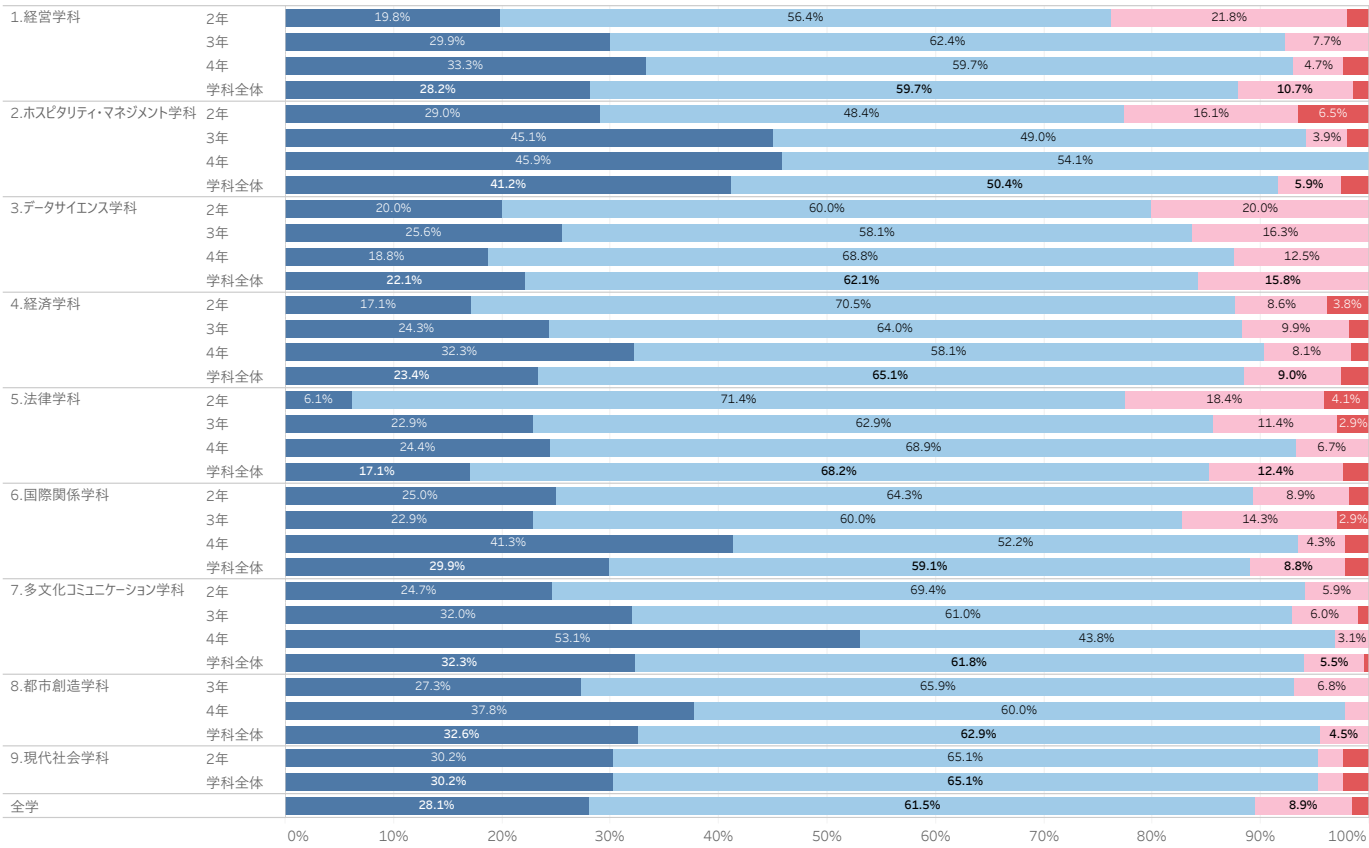
8. 問題を見つけて解決方法を考える力



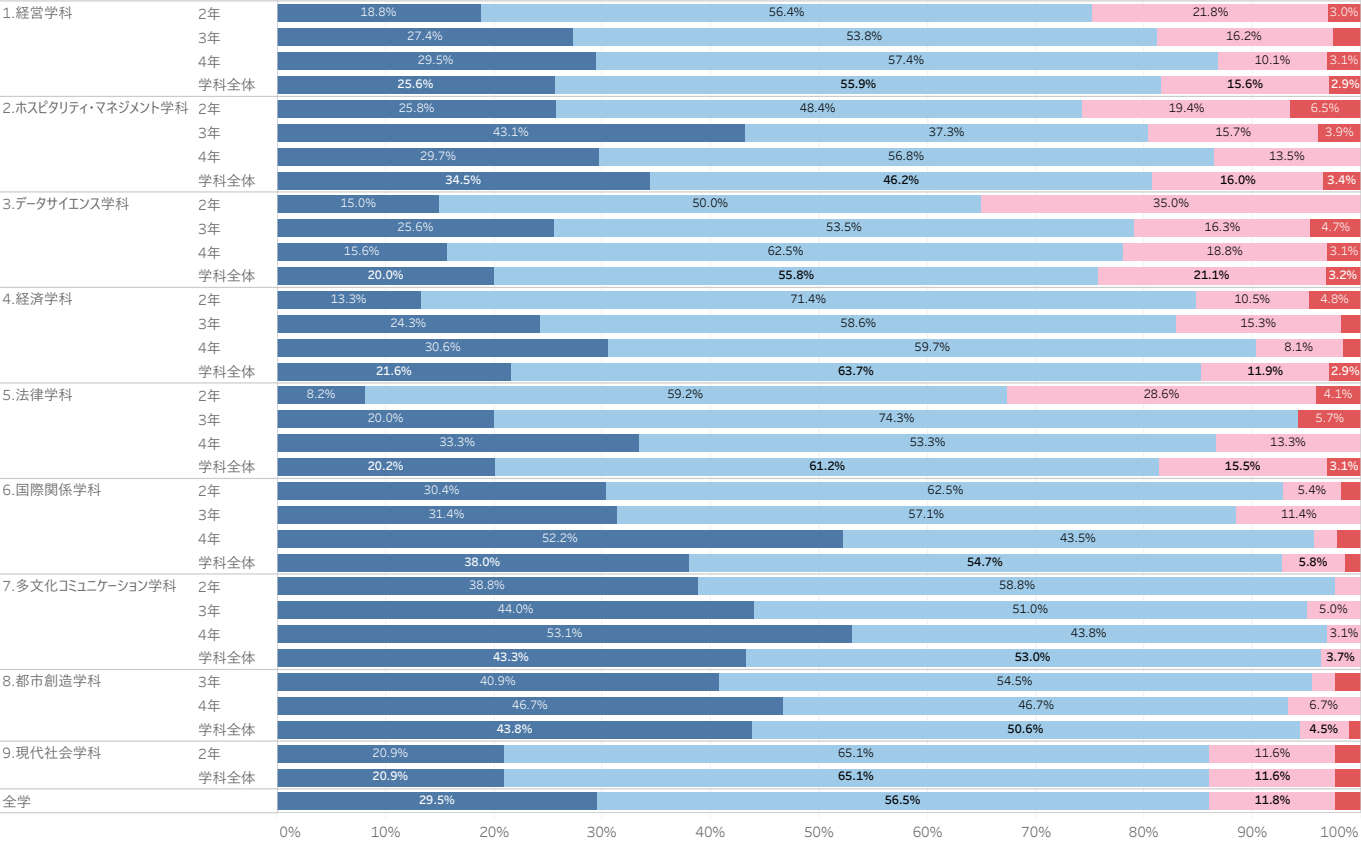
9. 他者と協働する力



10. 幅広い知識、ものの見方



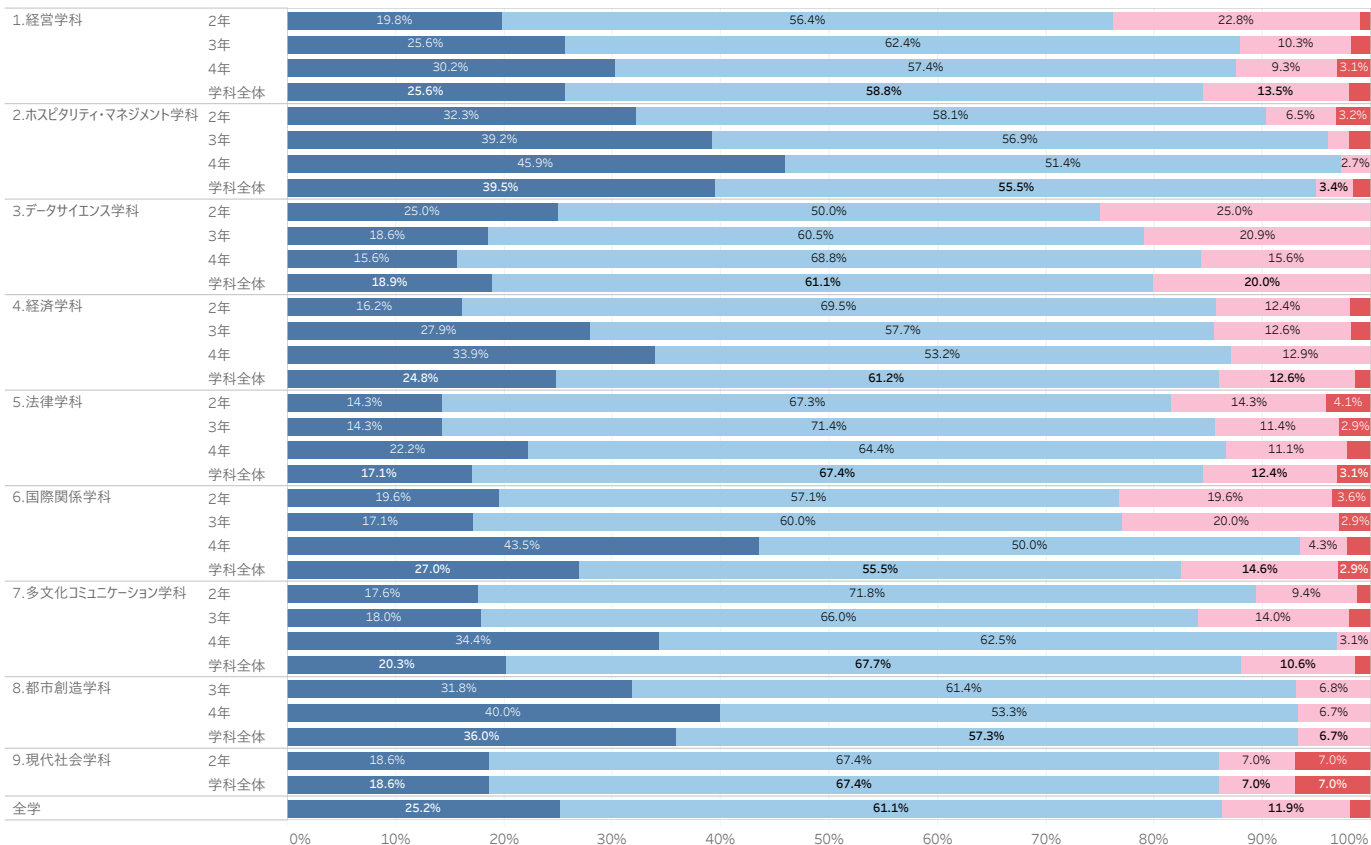
11. 異なる文化に関する知識・理解



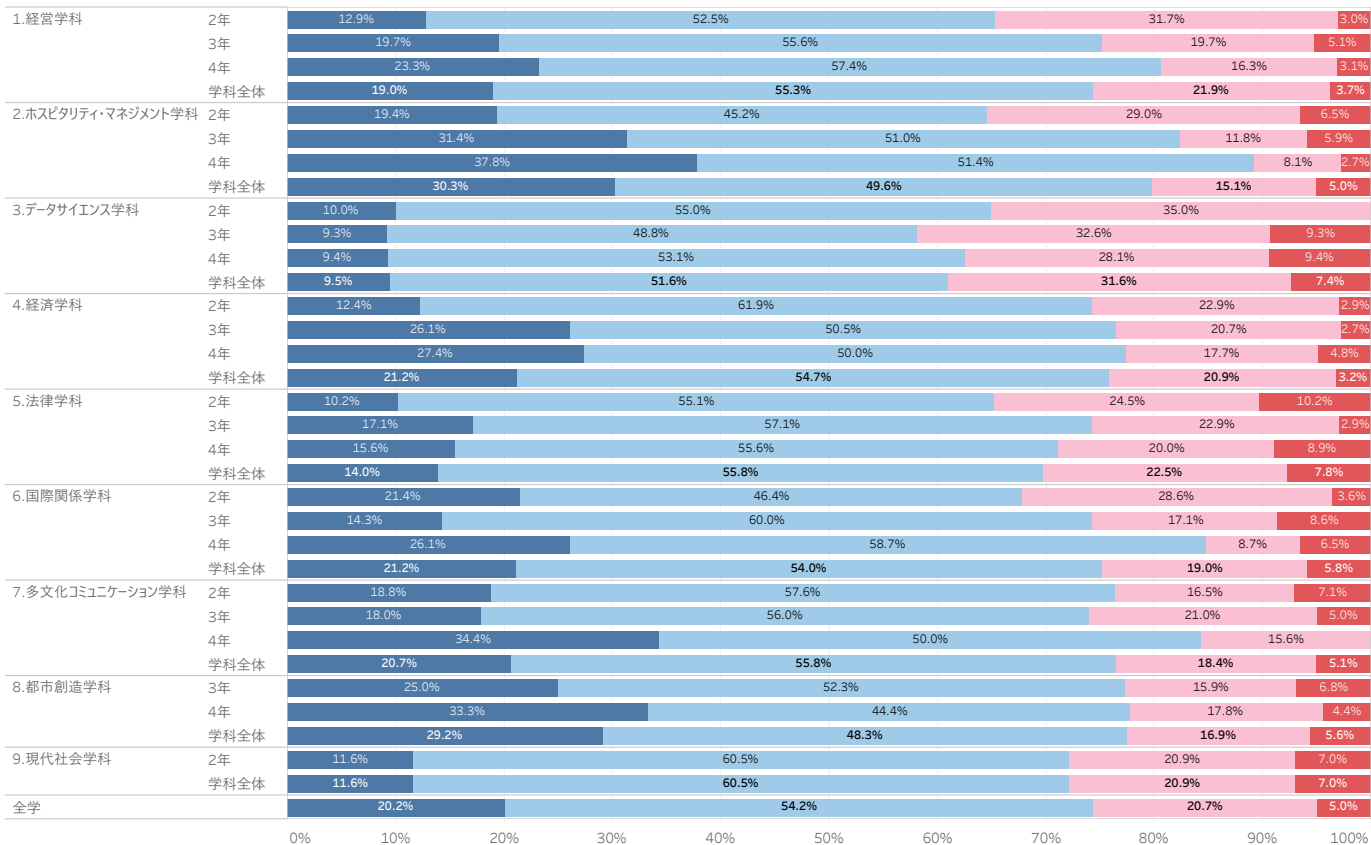
設問14. これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

選択肢 ■ 4: そう思う ■ 3: ある程度そう思う ■ 2: あまりそうは思わない ■ 1: そうは思わない

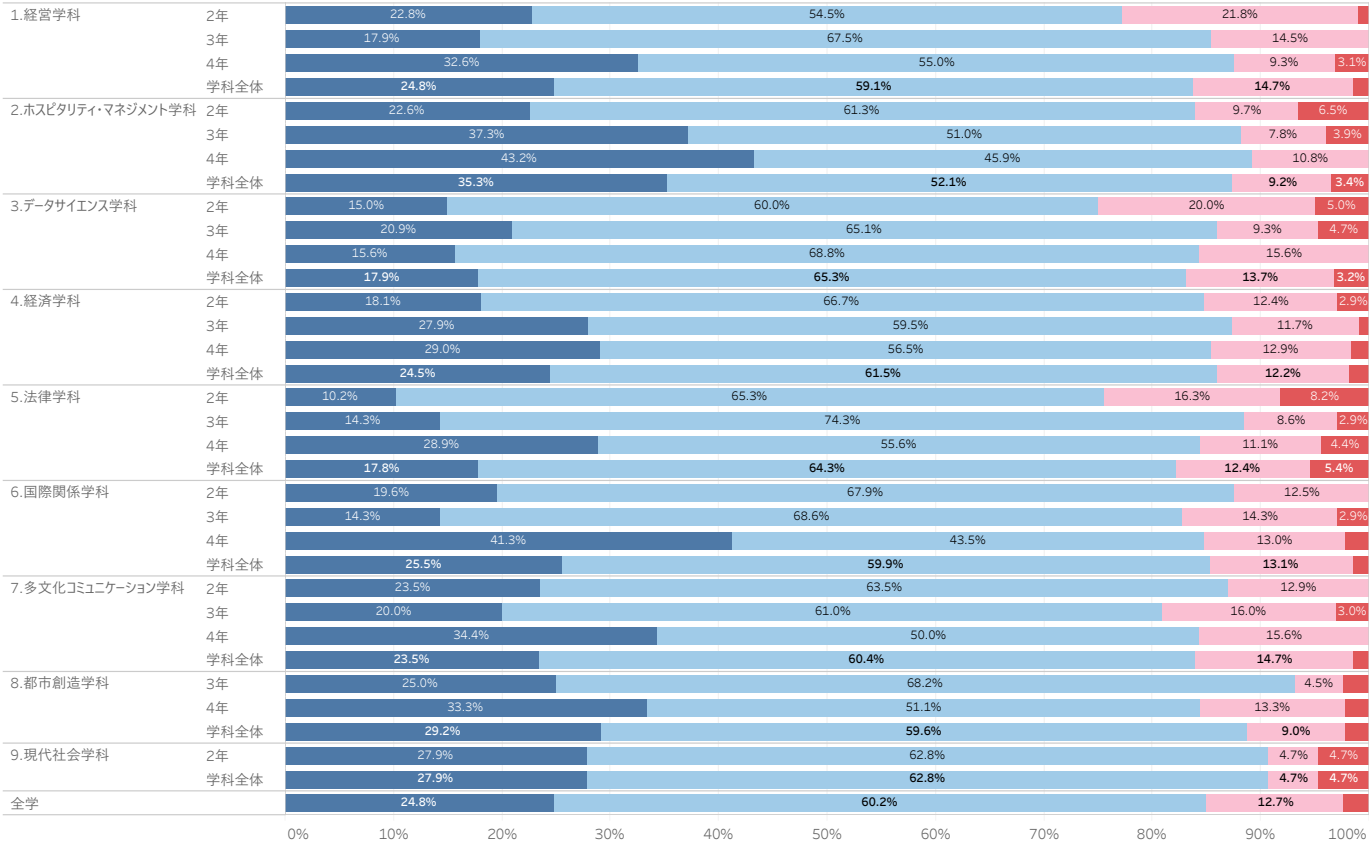
1. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。



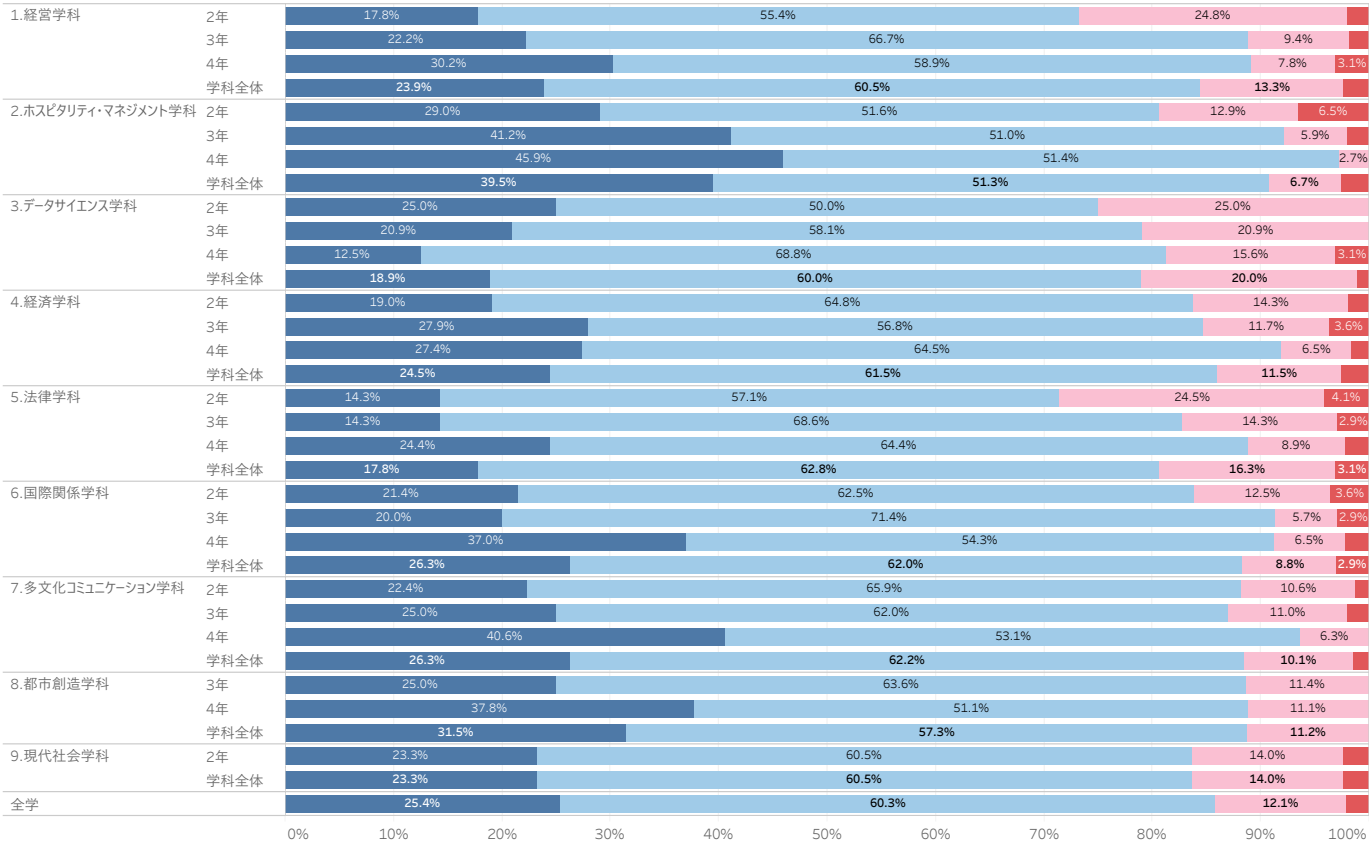
2. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。



3. 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。



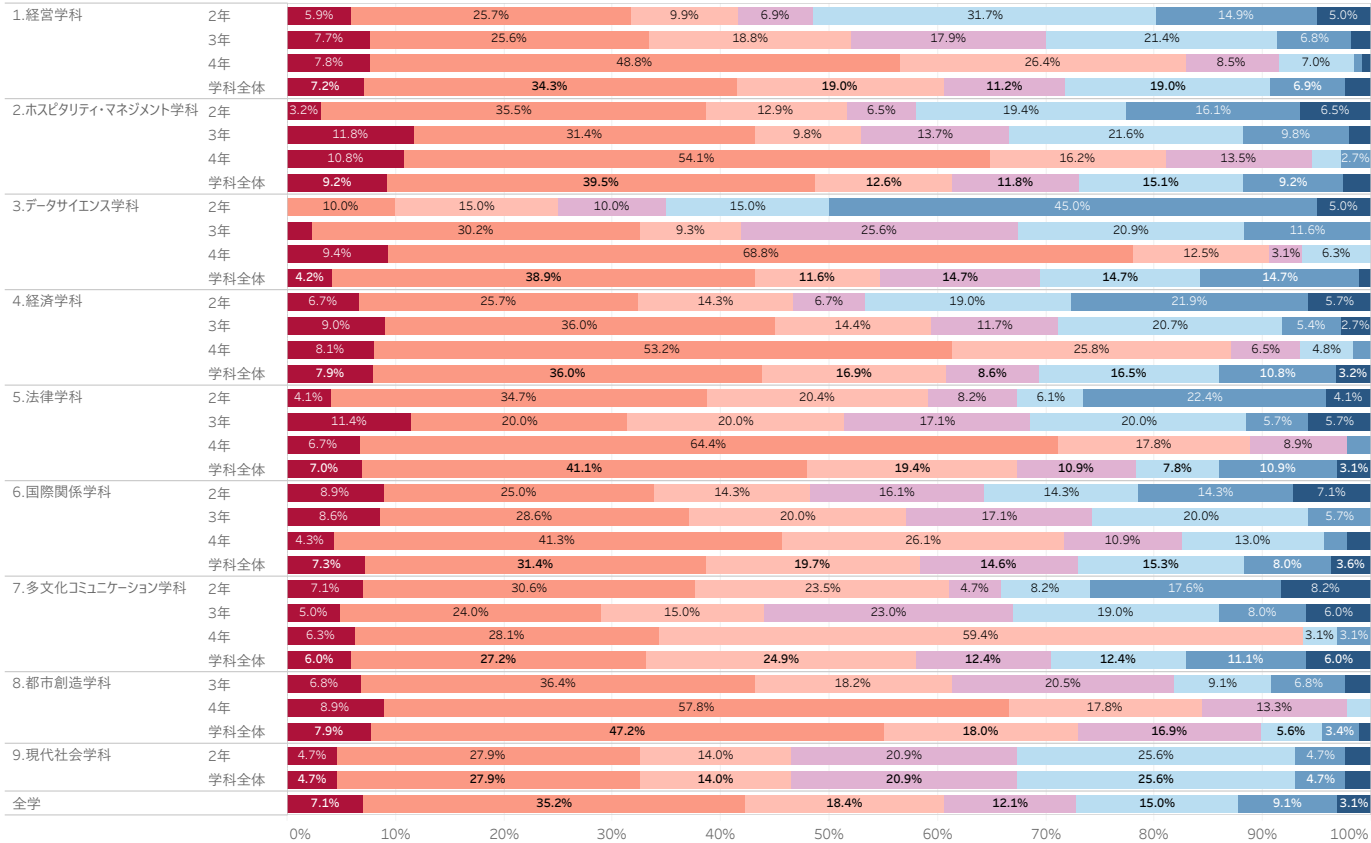
4. 大学の学びによって成長を実感している。



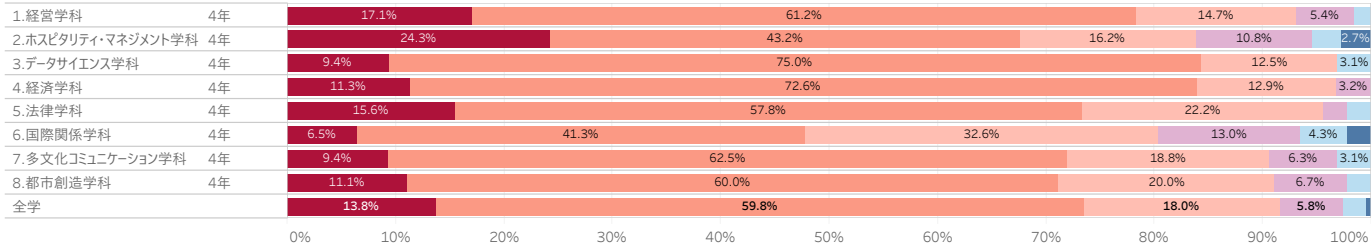
設問15. 今年度前期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれのくらいですか。

選択肢 1: 0時間 2: 1-5時間 3: 6-10時間 4: 11-15時間 5: 16-20時間 6: 21-30時間 7: 31時間以上

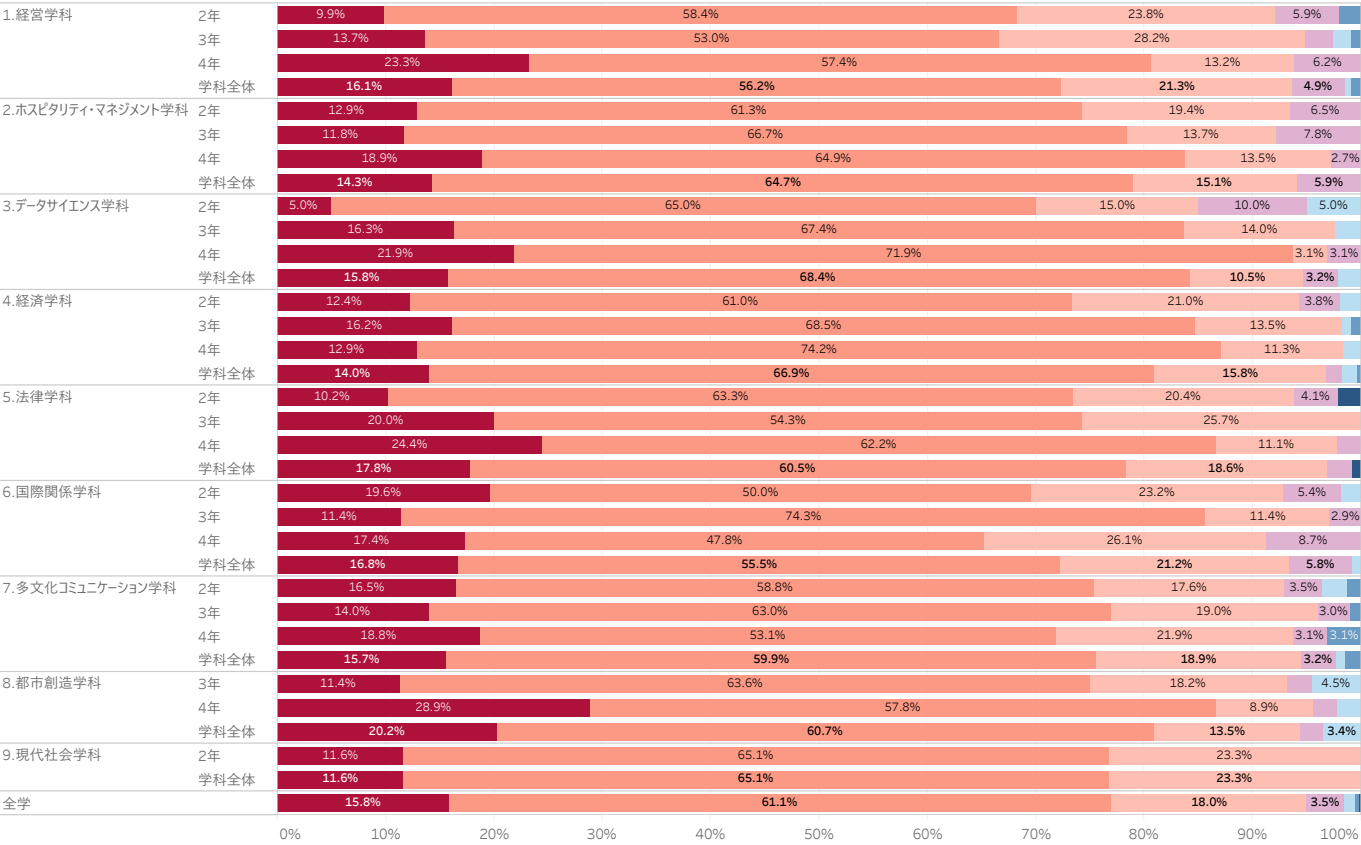
1. 授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）



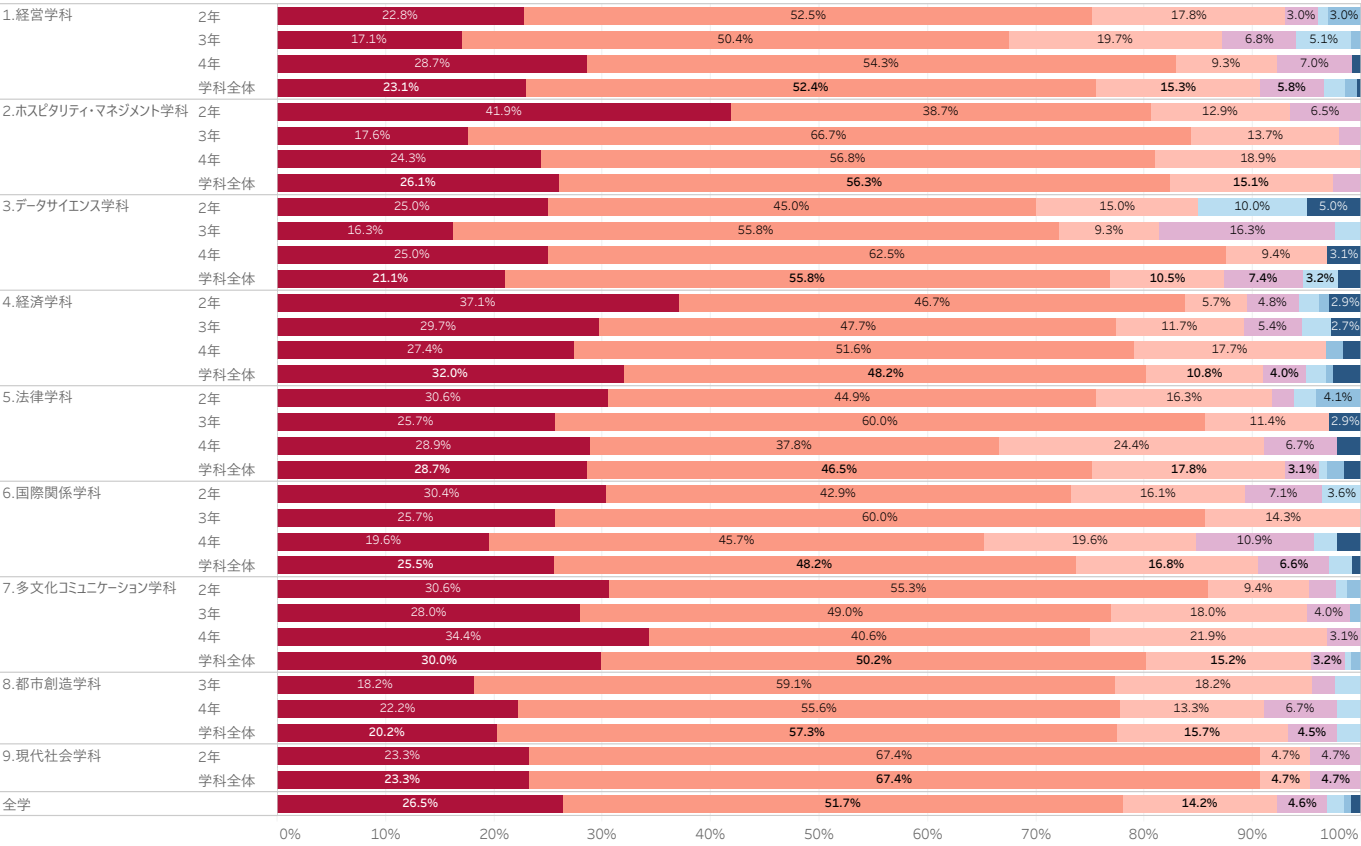
2. 卒業論文・卒業研究・卒業制作（4年生のみ）



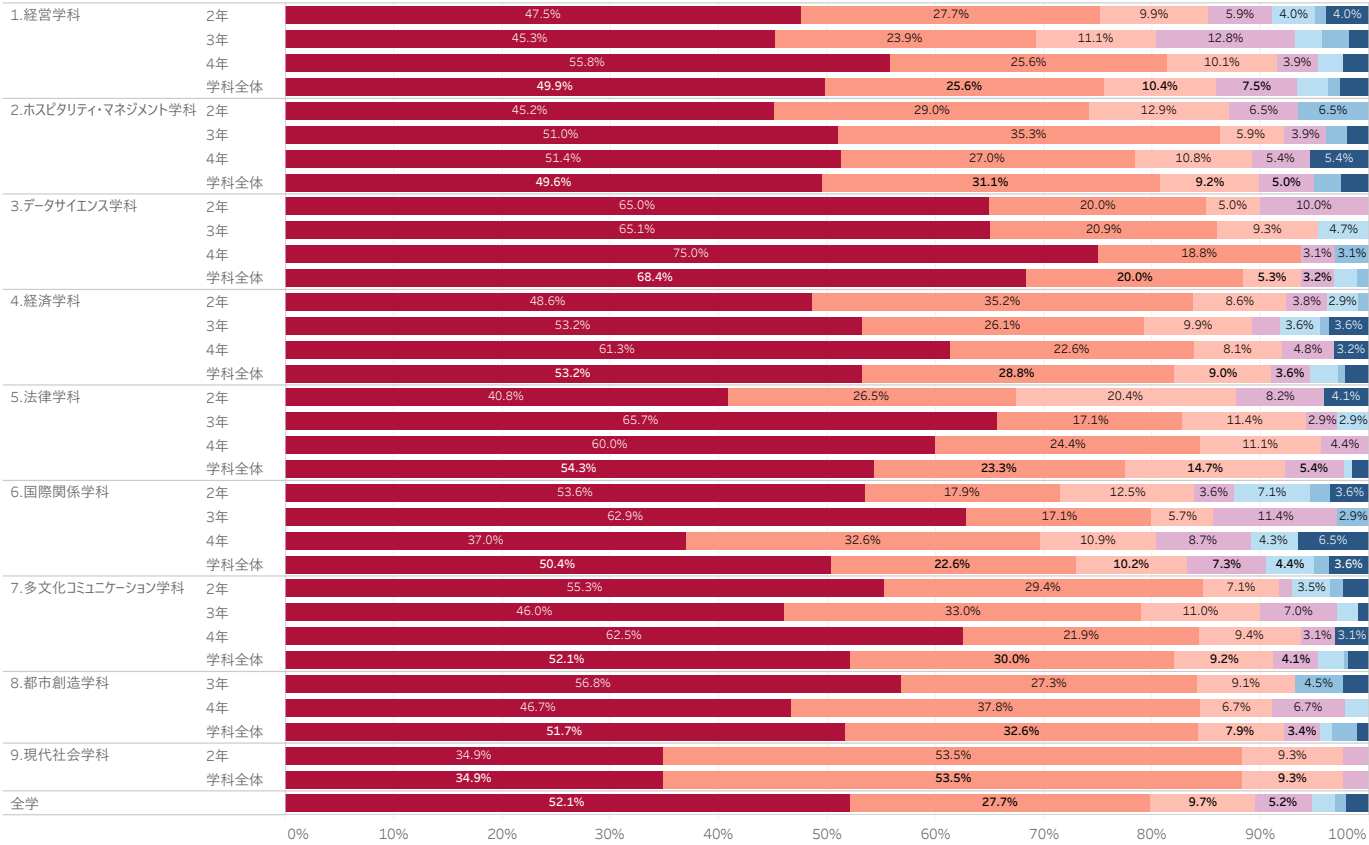
3. 予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）



4. 授業と直接関係しない自主的な学習（学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）



5. 部活動／サークル活動



6. アルバイト／定職

